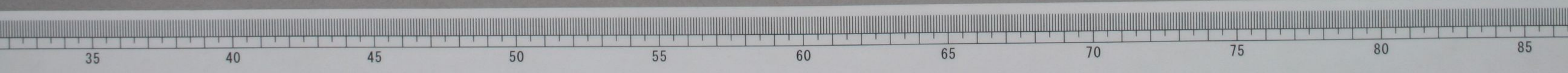


搨真魚譜
卷

二一五
936
1





沙園九爻
圖
需卿書

沉香分瑞
種第一玉
樓春
牡丹艷友

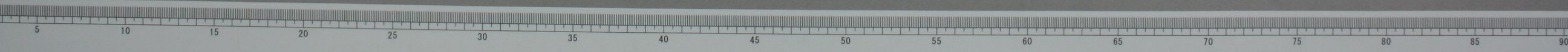


魚奇 棘鼠 奇鼠 吉鼠 赤鬃 平魚 地 意 和 名 太 比

崔高錫食性云鮪日冬貌似鯽而紅鮪者也
閩書南十志云棘鼠魚似鯽而大其鬃紅紫或曰奇曰赤皆以鬃異于余也
按俗謂扁者稱平鮪此者年
近世浙江寧波海中多有之
秋冬兩時此鮪附舶多
鮪似鯽而扁其鬃鬣淡
味美最為本朝魚品之上
低一二尺其小者一二寸名曰須
鮪泉之海所產者總稱前之
新海鮪之產有次者三
味不如捕鮪之鮪也
捕鮪之地皆大骨



日本此魚產於
之赤女者鮪也
蓋惟鮪
嘉儀
狀似鯽而
鮪而深赤鯽
魚寬之捕州明石浦之產亦佳也北國
四尺而海對馬之產而短眼大也並
俗傳云西海鮪春夏越阿波鳴戶入
生櫛焉然亦不
以是北國之捕鮪也取之元之冬也
出見尊失兒釣而後得赤女口而岸石象
鮪也以赤女魚所以不備供御者此緣也
自古供宗廟之祀蓋至尊之膳又為
之饈則赤女非鮪也

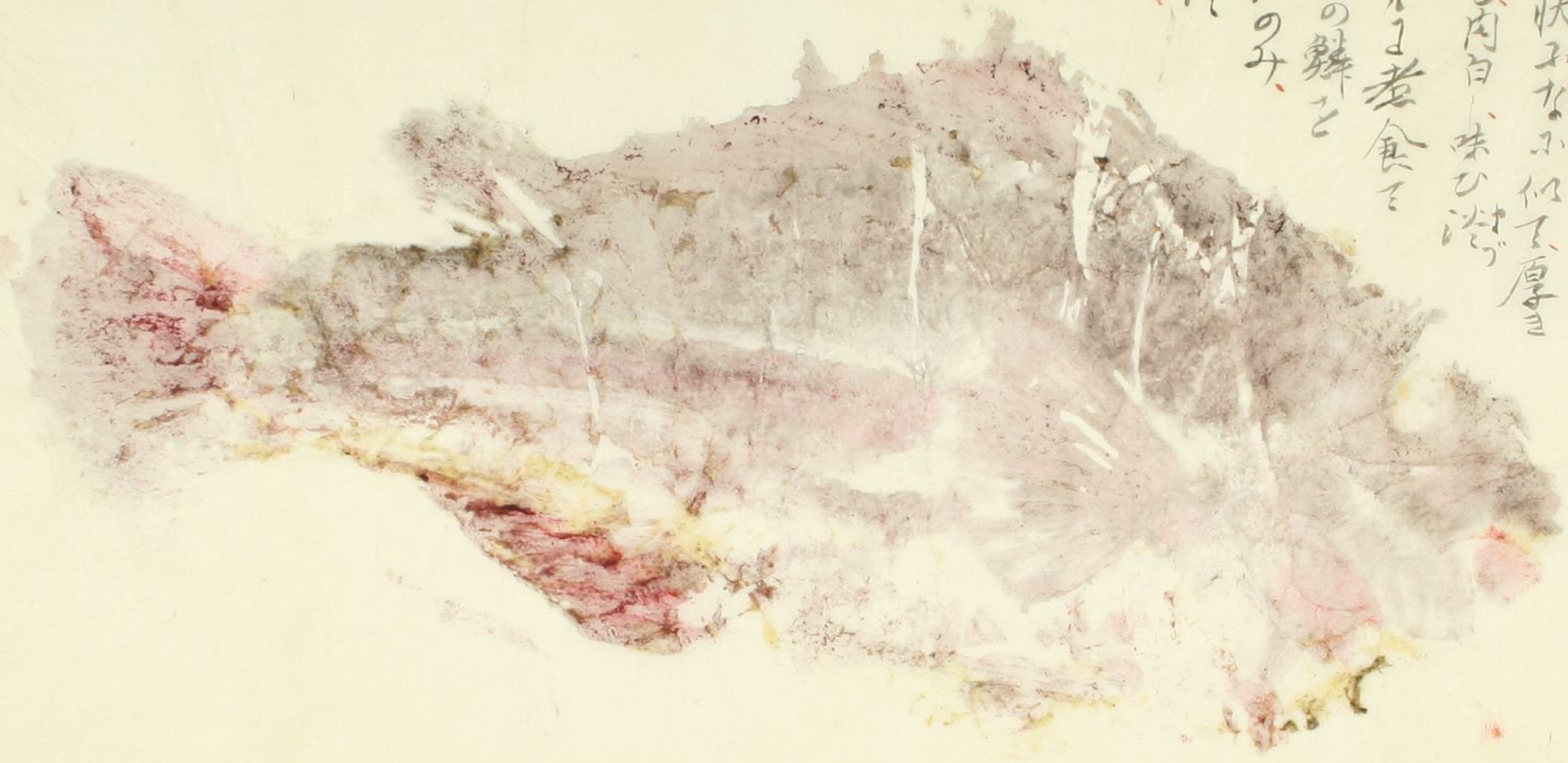


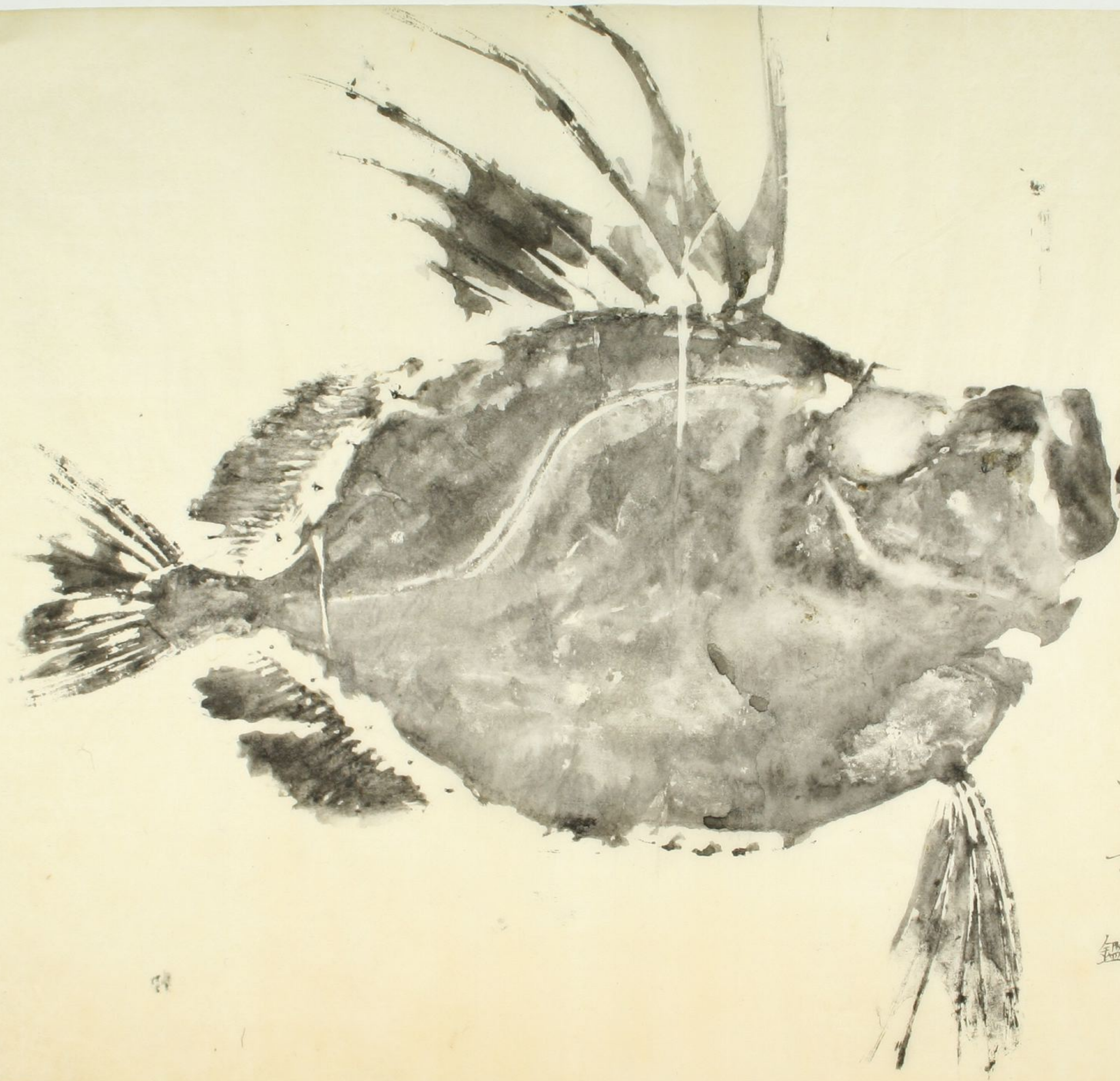


Vertical text on the right page, including a red seal impression at the top.

ぶたい

伊勢のさうらうことぶその
たて尺條状おなほ似て厚き
鱈も福も肉白味ひ淡
南鱈より煮食と
り海魚の鱈と
言ふ此魚のみ
氣味甘淡
平毒なり





かみたいたい 漢名 魴魚 綱目より出川状まながはさそ似て
 金銀二色あり 日んと補るの黄色をお味美一ざ
 ると称るの雲母紙のゆく味 けり 故のたふふ毒なり 鑑

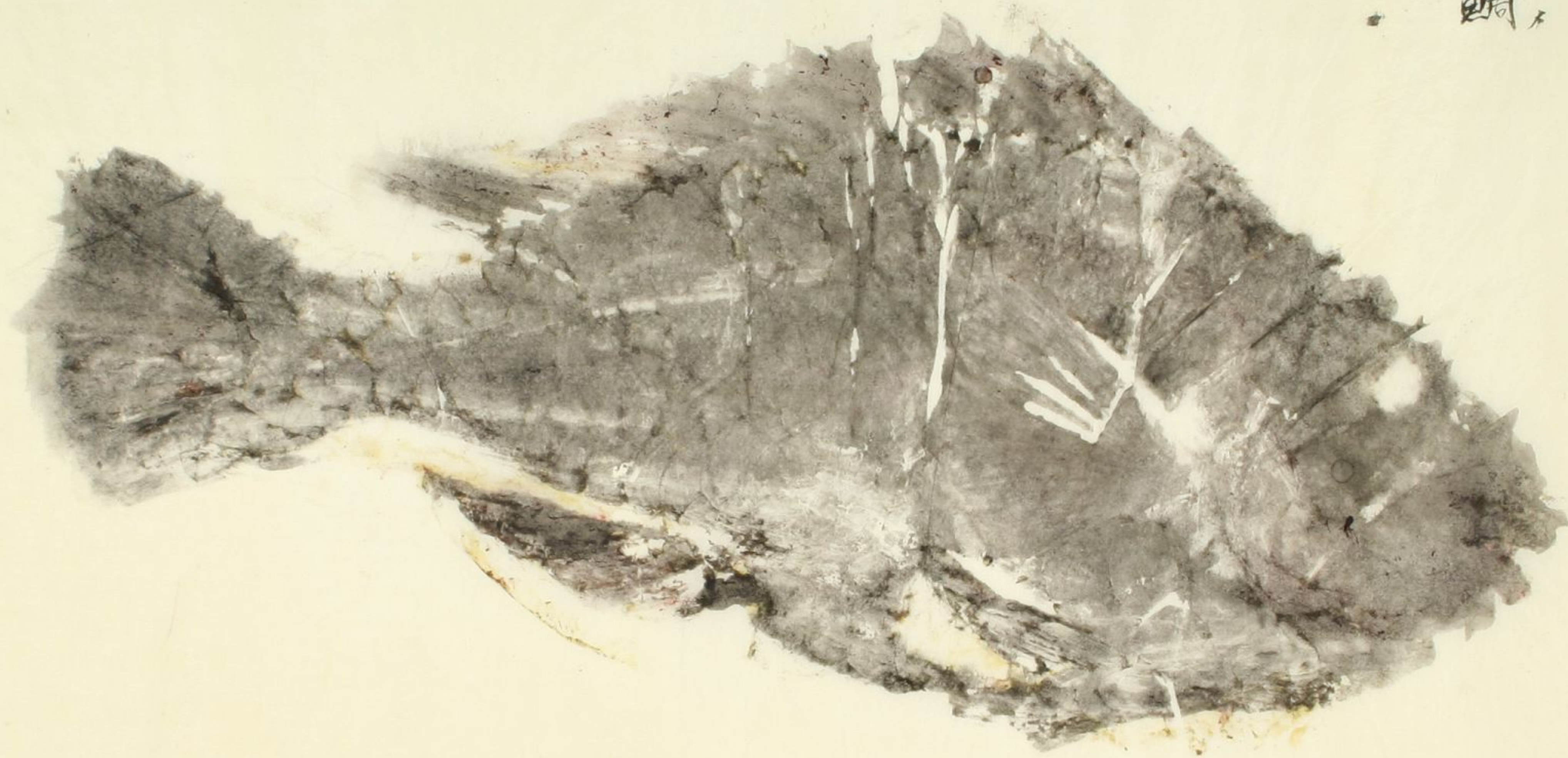
かみたいたい 漢名 魴魚 綱目より出川状まながはさそ似て
 金銀二色あり 日んと補るの黄色をお味美一ざ
 ると称るの雲母紙のゆく味 けり 故のたふふ毒なり 鑑

部
鯛



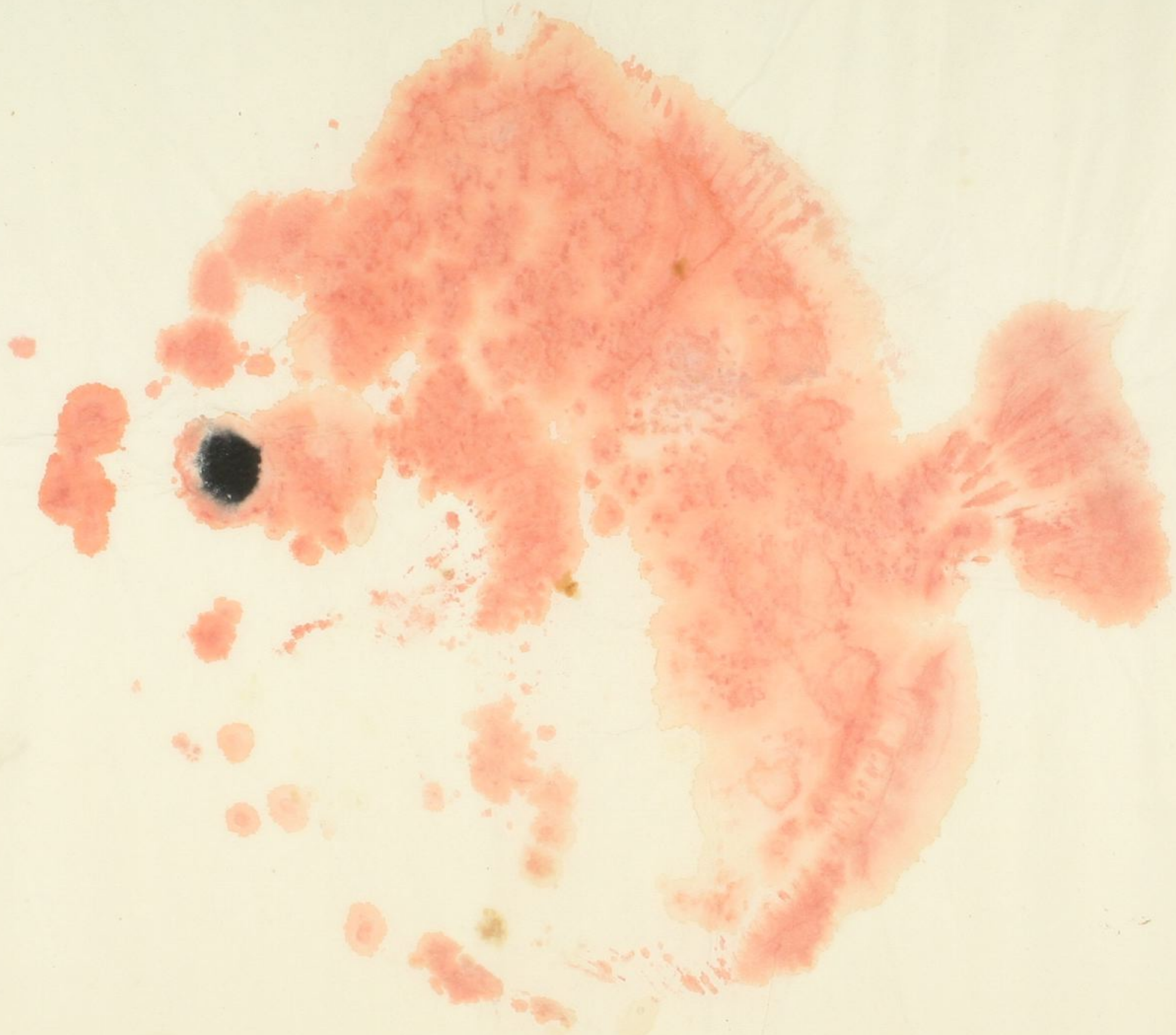
鯛の鱗は細かく、
背の骨は硬く、
肉は厚く、
味は甘く、
油分が多い。
鯛は、
日本、
中国、
韓国、
台湾、
香港、
マカオ、
フィリピン、
インドネシア、
タイ、
ベトナム、
カンボジア、
ラオス、
ミャンマー、
スリランカ、
インド、
パキスタン、
アフガニスタン、
イラン、
トルコ、
ギリシャ、
イタリア、
フランス、
スペイン、
ポルトガル、
ブラジル、
メキシコ、
アメリカ、
カナダ、
オーストラリア、
ニュージーランド、
南アフリカ、
インドネシア、
マレーシア、
シンガポール、
タイ、
ベトナム、
カンボジア、
ラオス、
ミャンマー、
スリランカ、
インド、
パキスタン、
アフガニスタン、
イラン、
トルコ、
ギリシャ、
イタリア、
フランス、
スペイン、
ポルトガル、
ブラジル、
メキシコ、
アメリカ、
カナダ、
オーストラリア、
ニュージーランド、
南アフリカ

部^ブ
鯛^{ダマ}



[Faint handwritten text on the adjacent page, including the characters '鯛' and '部']

鏡鯛之属



晴
風





金目鯛

海魚之類
ハミダシ

金目鯛



金目鯛



金目鯛



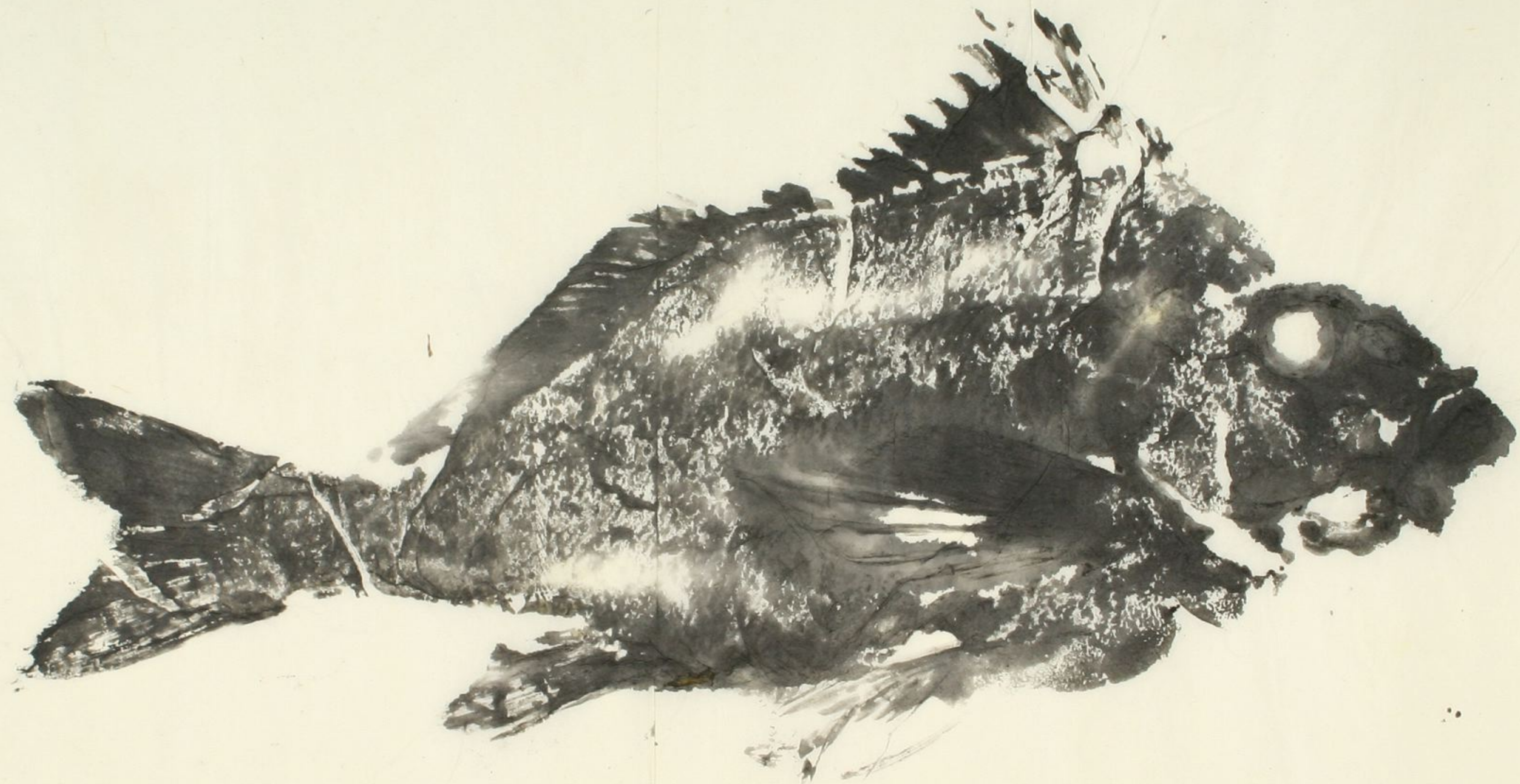
金目鯛



金目鯛



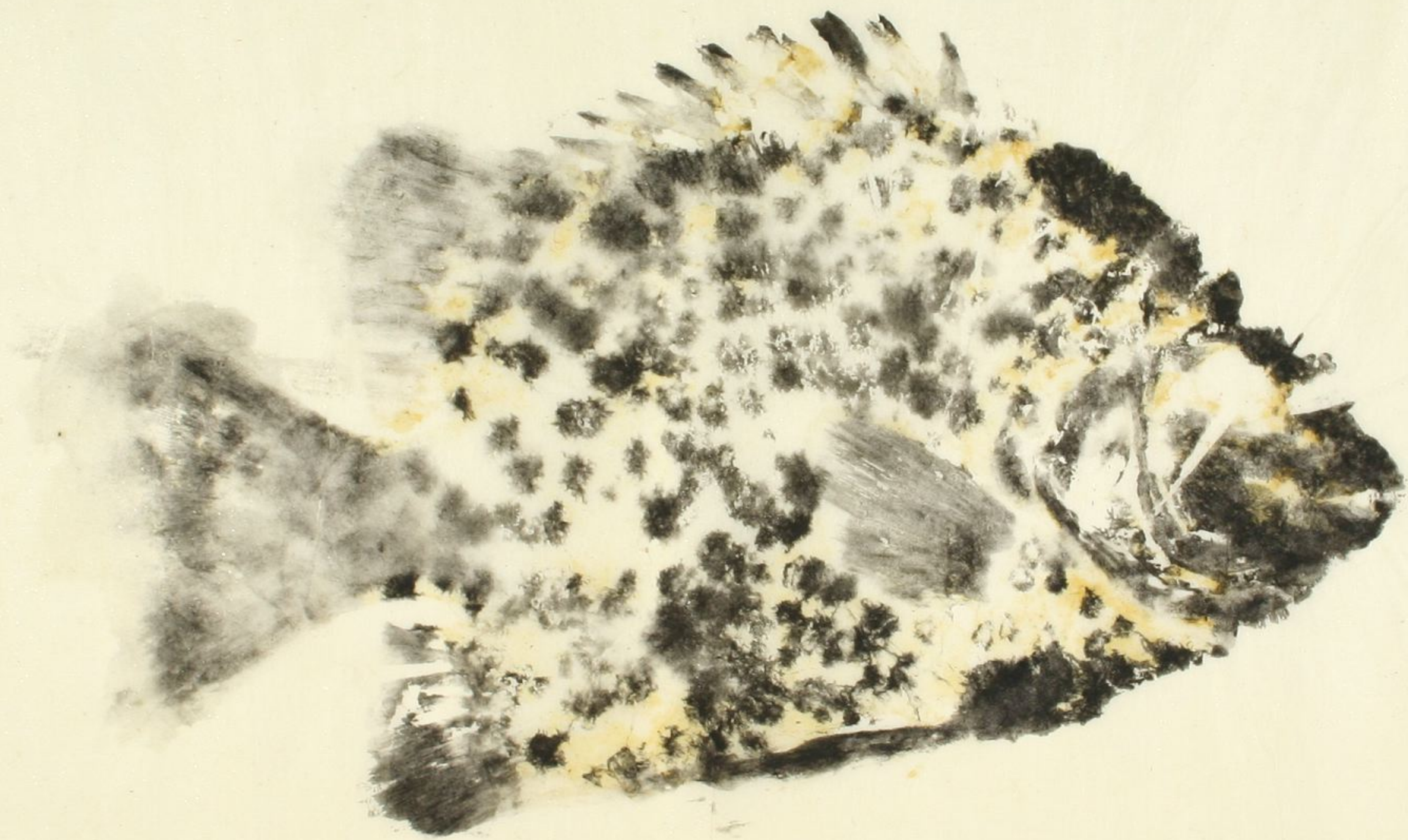
后
鯛



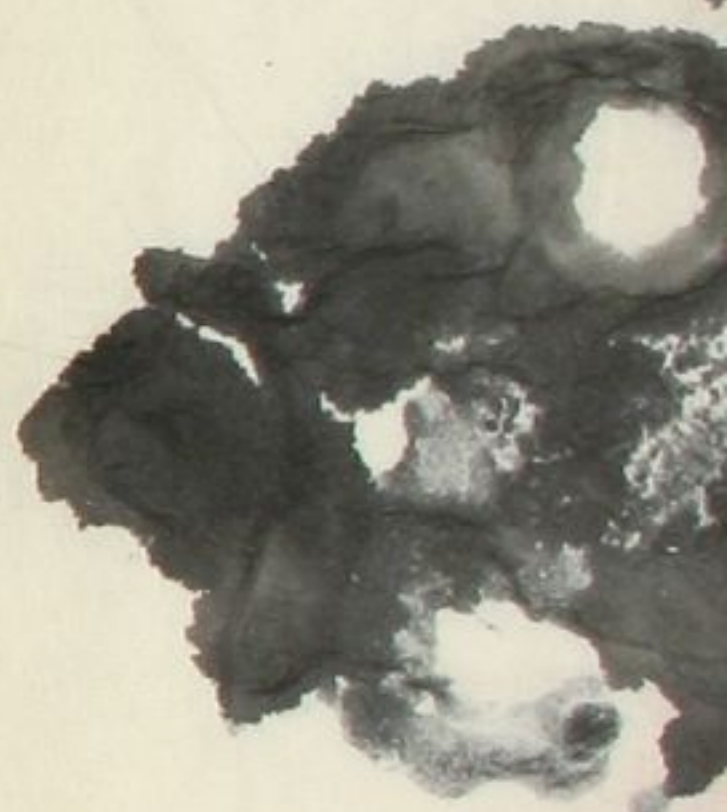
金
鯛



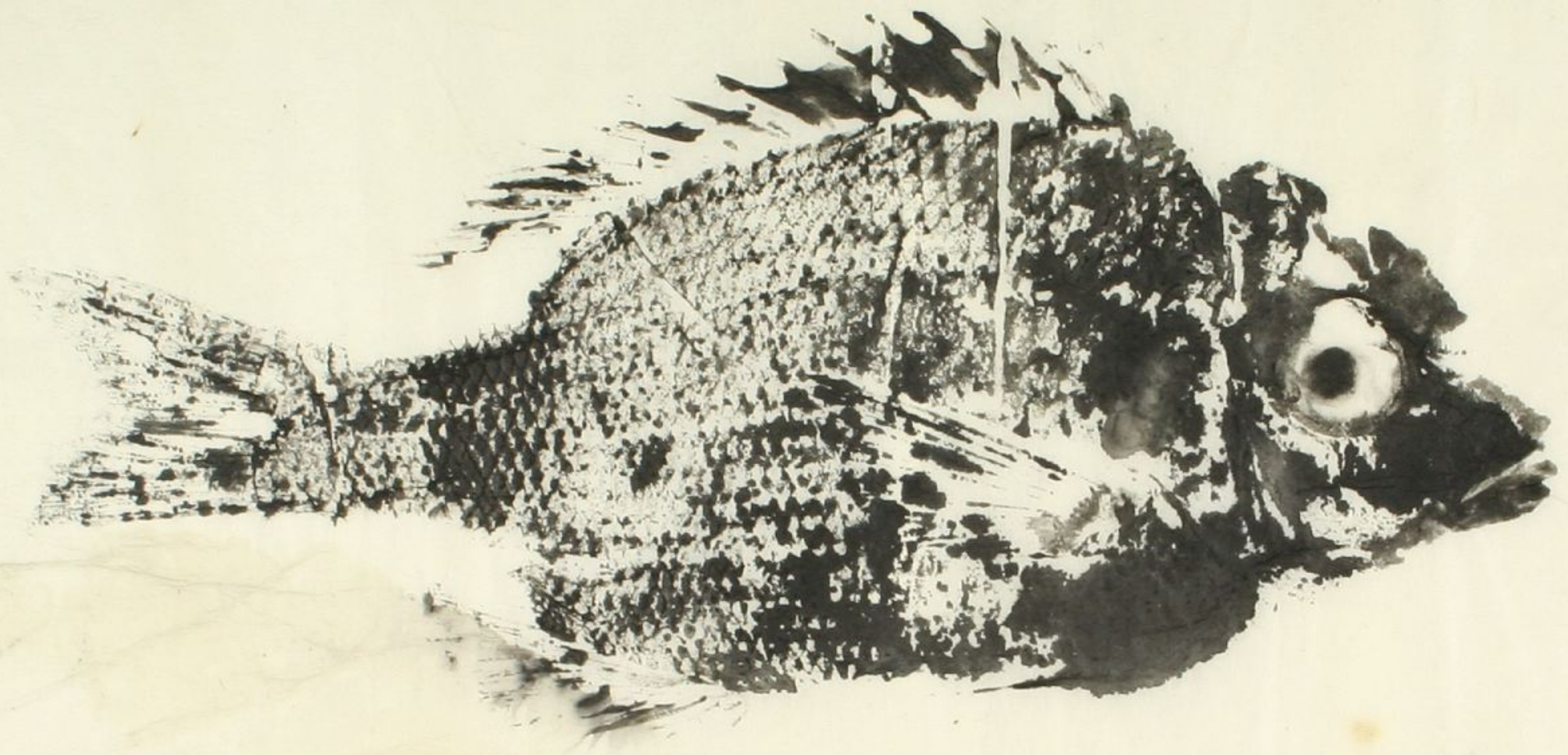
石鯛



石鯛



目赤鯛



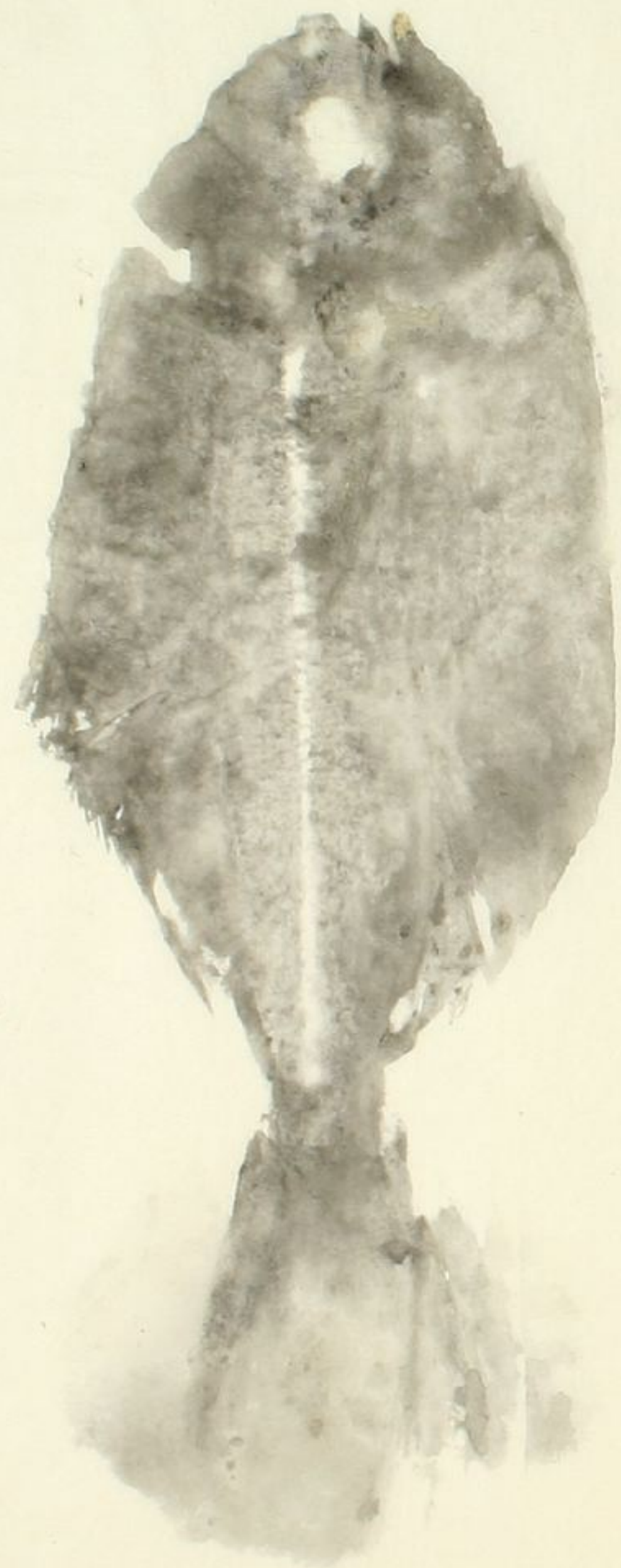
目赤鯛



鰯^ニ
魚^イ



赤鯛



明治三十七年
七月廿六日

同上



鯛



誤

腹眼

魚

音蝶

魚音比目魚。鯨音鞋底魚。鮐音奴僭魚。婢從魚。和名加良衣比。又云加凡比。

本網鱗狀如牛脾及女人鞋底。細鱗紫白色。兩片相合乃得行。其合處半片平而多鱗。近腹下各一目相並。而所以故名。比目魚。劉涓子以為王餘魚。蓋

不照。王餘魚。肉甘平。益氣力。

按和名抄亦用王餘魚。似

鮐。認也。鮐魚也。鮐形似

有細鱗。裏白滑。其兩腹相

去甚。近向上而相比。故名。比

目魚。予然亦草引。亦雅

云。鱗一目而水比不行。故兩

片相合乃得行之說

非也。不知別一物

耳。予否。大者

三五尺。其

種類

多可

鰓其

肉自柔甘美

味厚脾虛

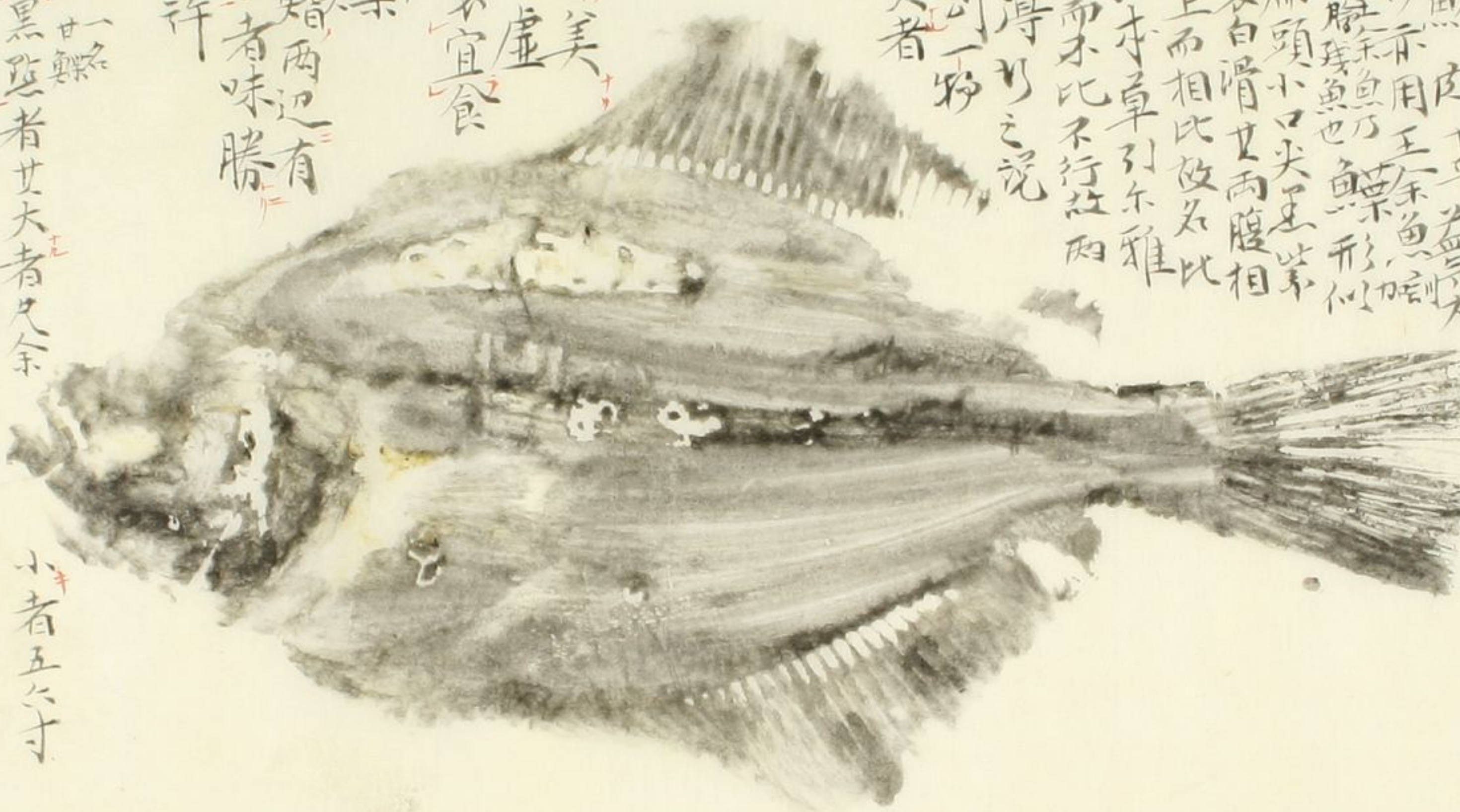
痞滿者不宜食

石鱗

表玉皮鱗。兩邊有

星。石。子者。味勝

大者尺許



小者五六寸

瓶子鱈。形圓大而背鱗。亦有孔。文秋。冬出。於播。嘉。明。石。大者尺許。其味美。為最上。

白水鱈。一名霜月鱈。仲冬多出。大者不逾六七寸。形狹小而肉薄。軟子。鱈。消。腹。味不佳。



カレイ
魚名マコ

Handwritten Japanese text in vertical columns on the right page, likely a commentary or list of fish names. The text is written in cursive and includes characters such as 魚名, 魚類, and 魚目. The first column starts with '魚名' and the second column starts with '魚類'. The text is partially obscured by the binding of the book.



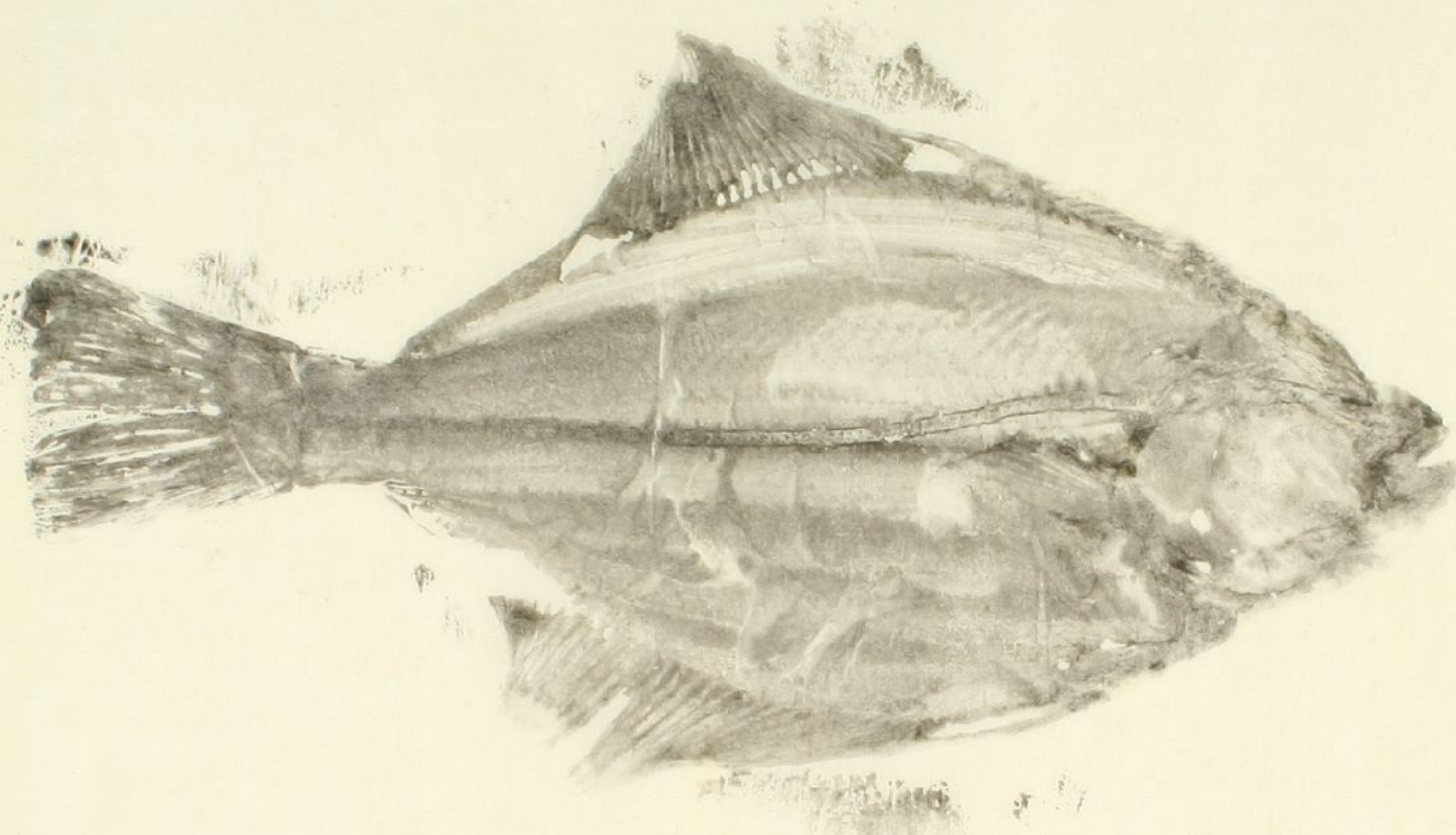
鰈

鰈
魚
ノ
コ



今
多
魚
類
ノ
科
目
ノ
大
小

鯨



鯨





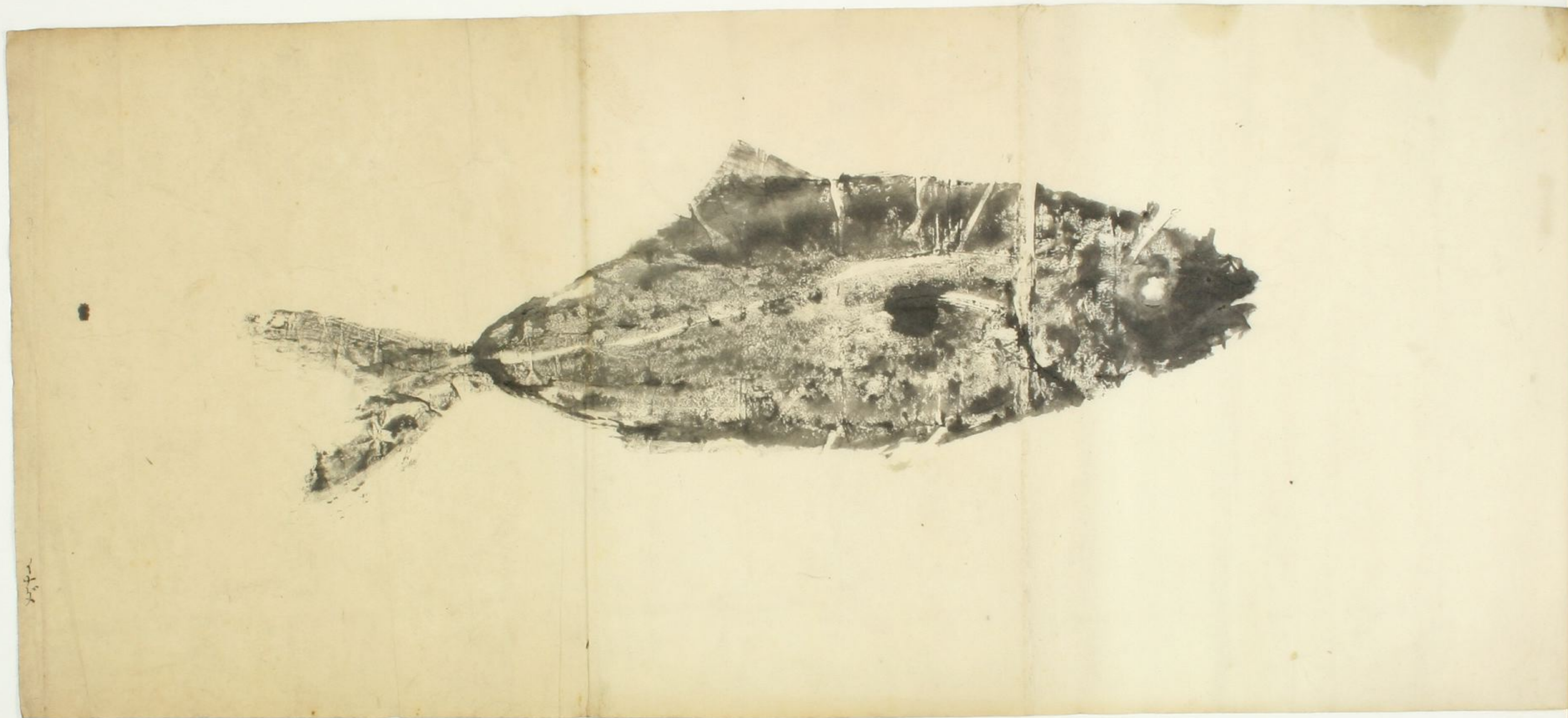
山水



無類

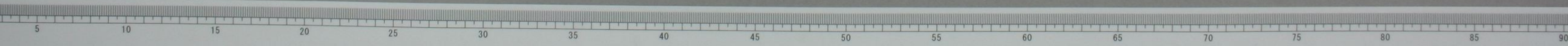


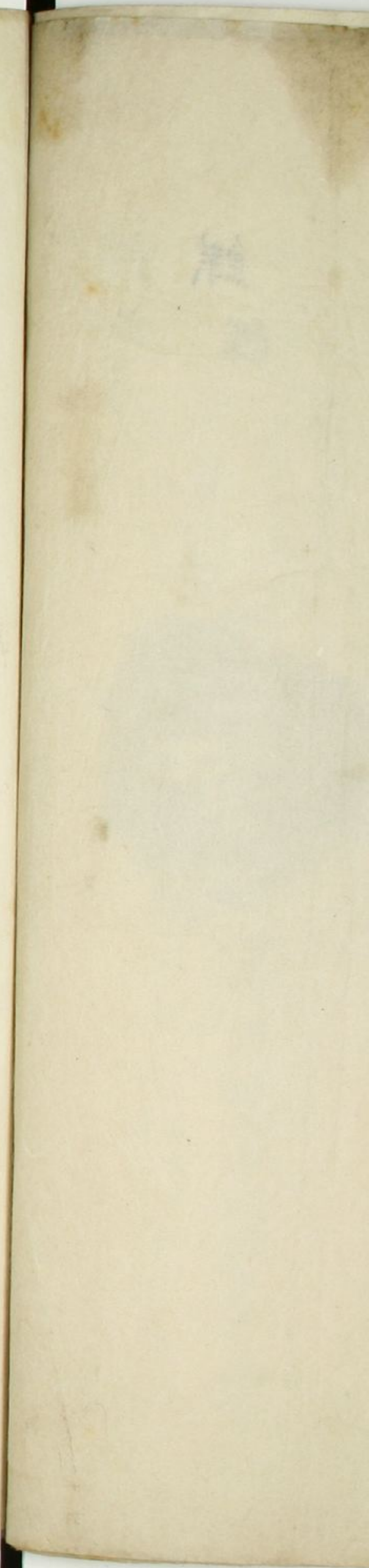
鱸
鱸



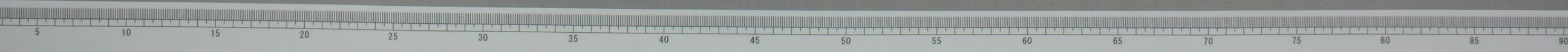
魚

魚



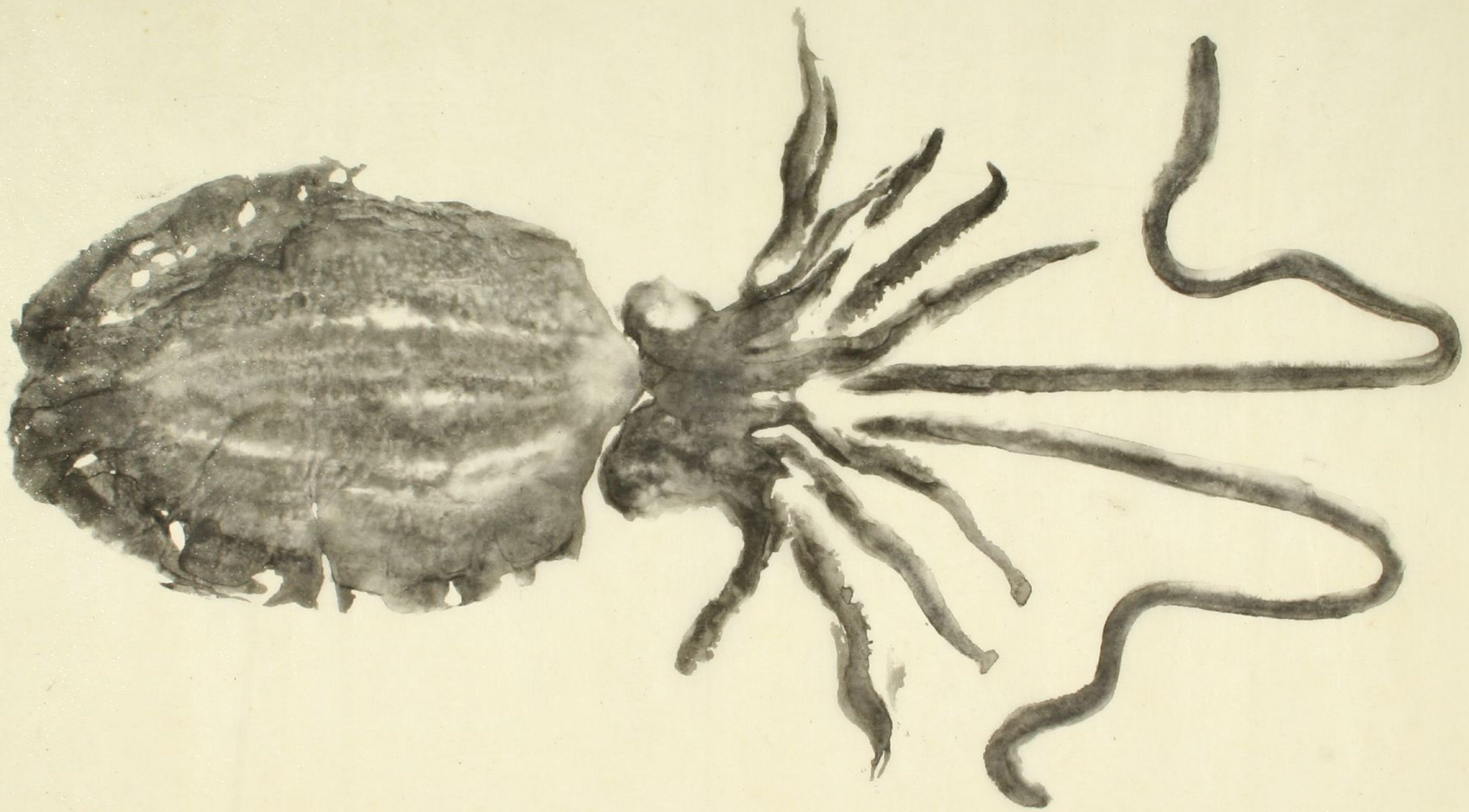


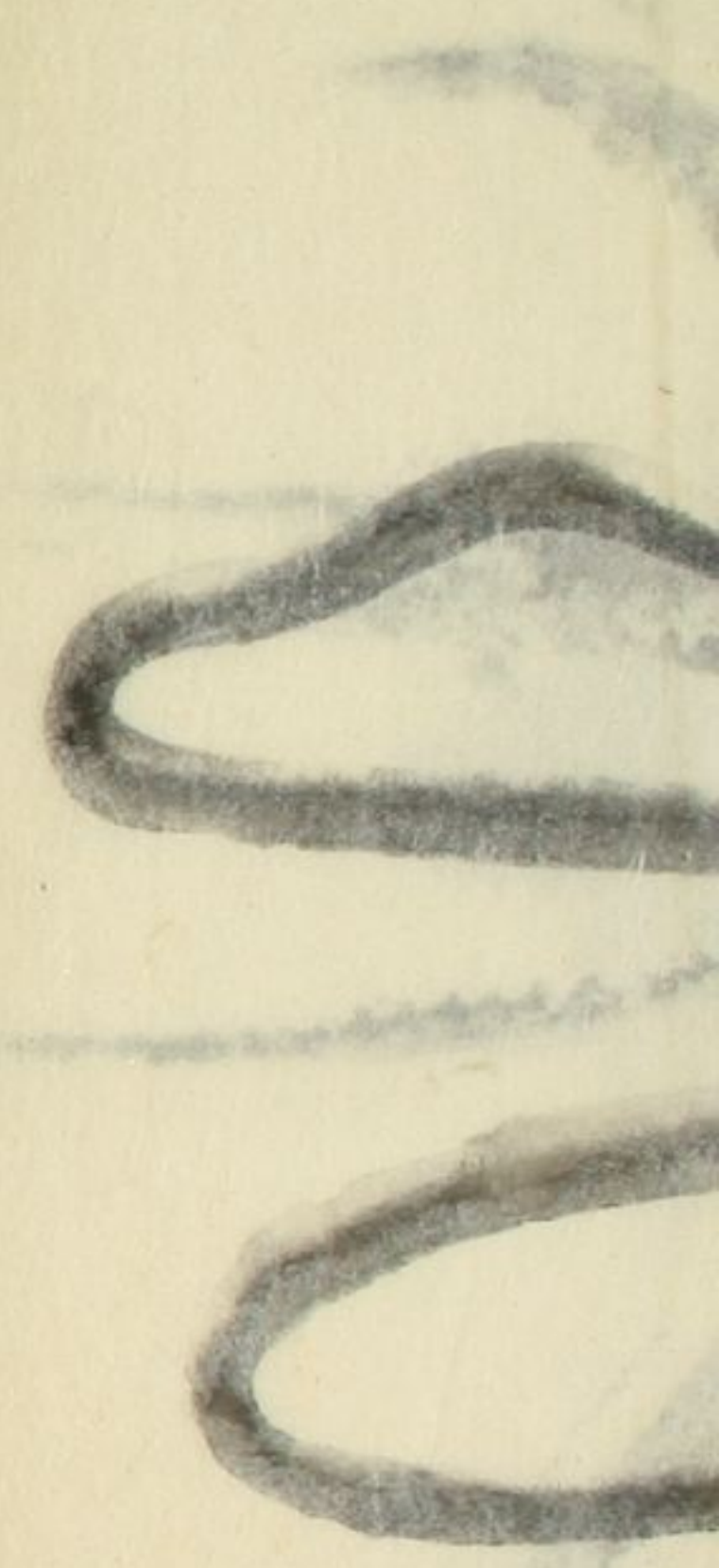
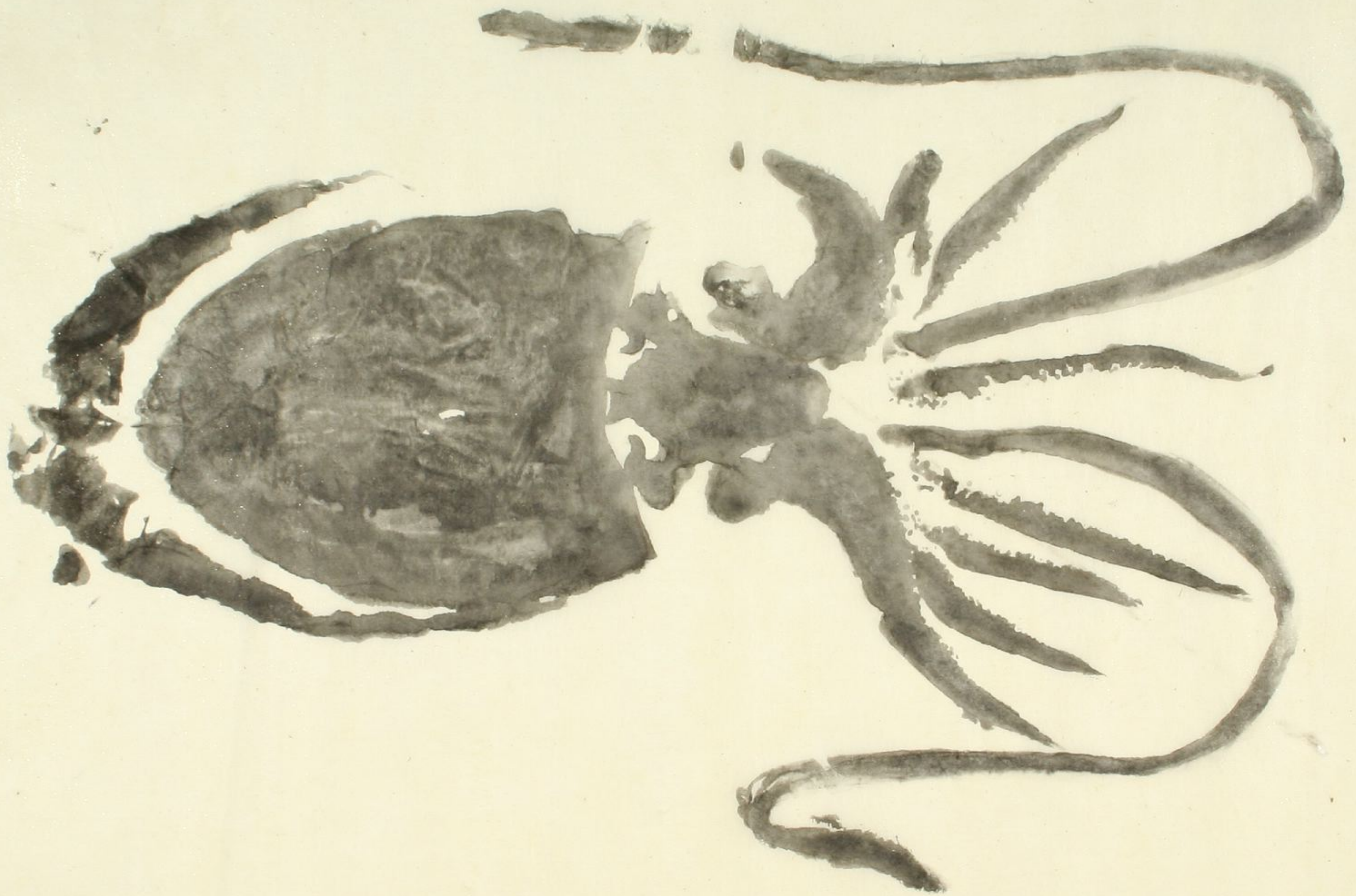


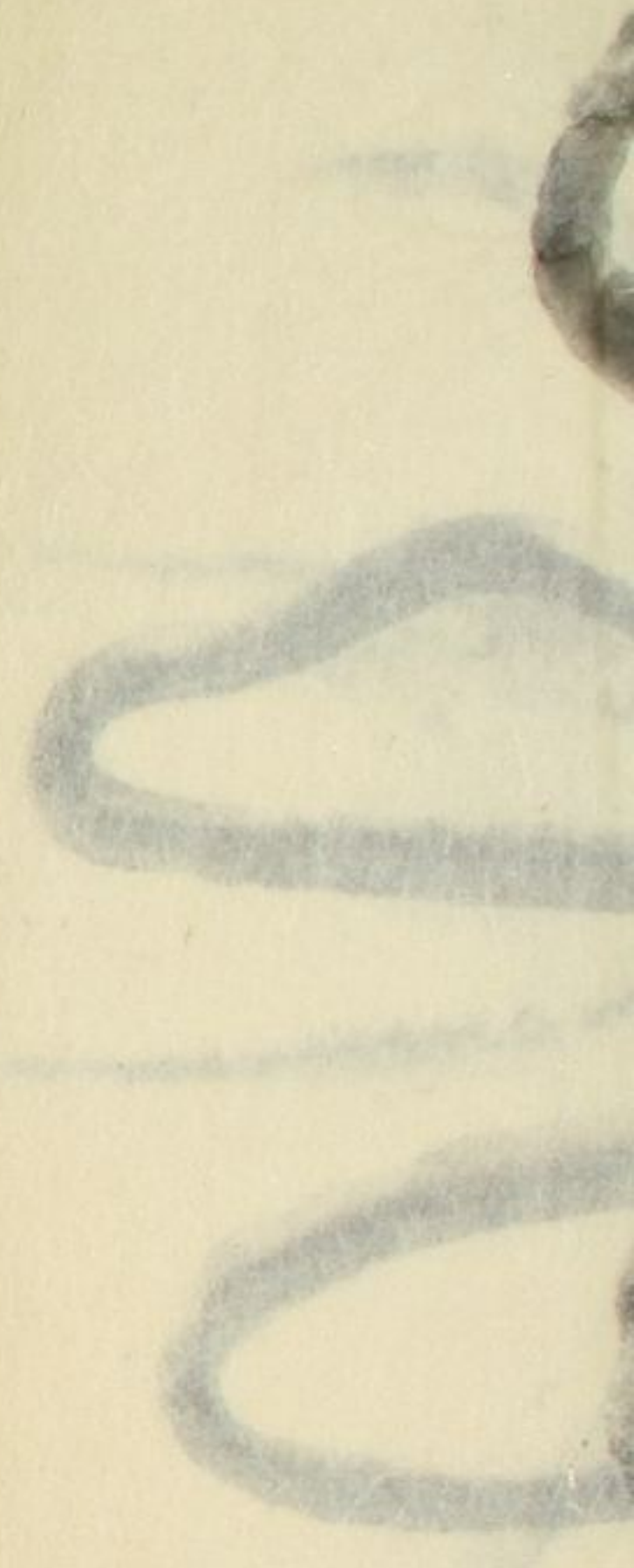
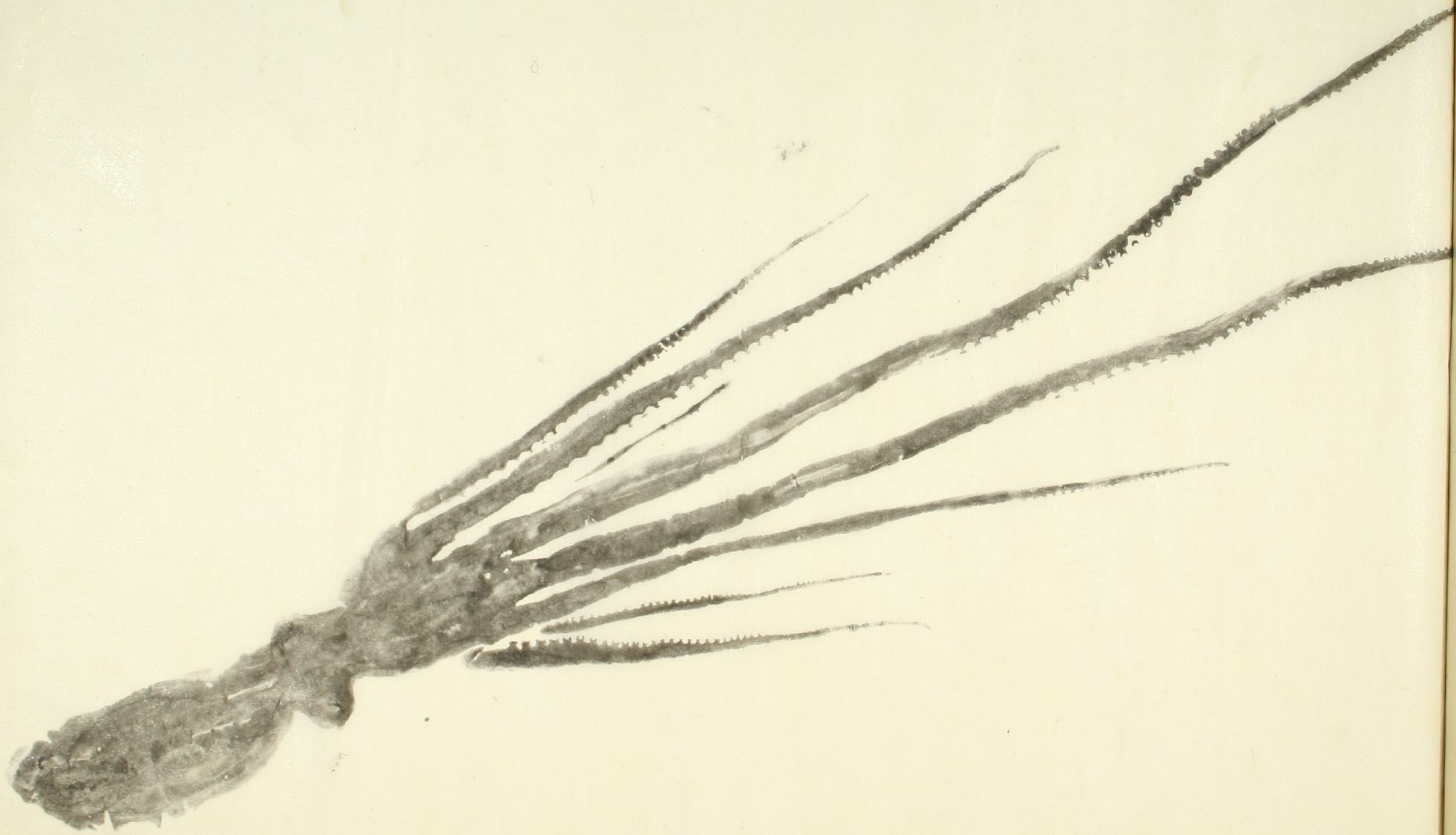


明治十年一月五日 搦真

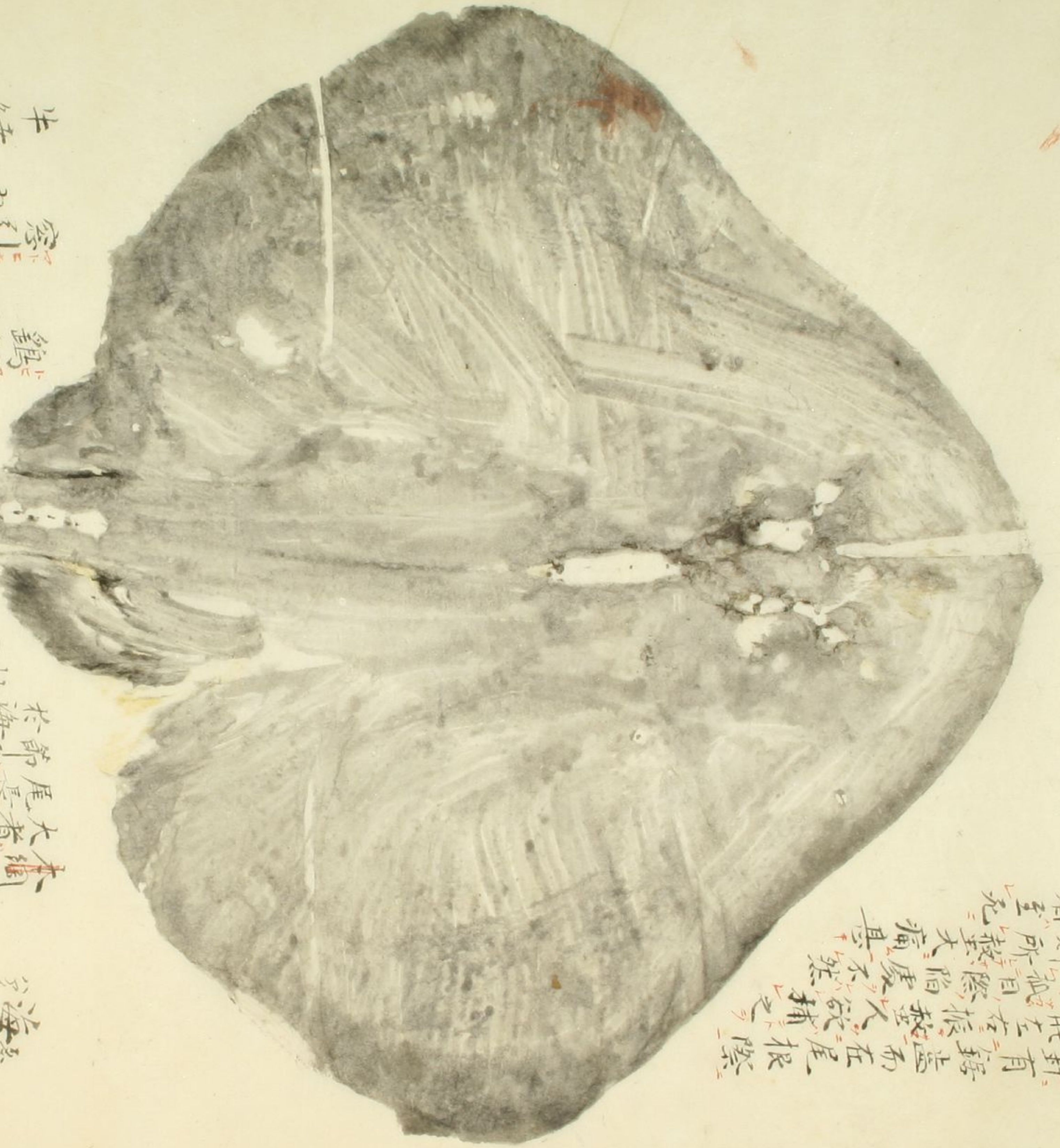








針有鋸齒而在尾根際
能左右振盪人欲捕之
可視自際陷處不然
則所殺大痛甚
者至死



海鰨魚 海鰨魚 和名古米
鰨音 荷魚 即陽魚 鮓鮓
鰨訓 衣比鰨也 鰨乃鰨也

本國海鰨魚海中頗多江湖亦時有之狀如鰨及齊葉
大者圍七八尺無足無鱗背脊腹白口在腹下自在額上
尾長有節故又甚毒皮名肉味甘鹹年常有風壽則東風起
於海干逢物則以尾撥而食之鰨掉尾曰

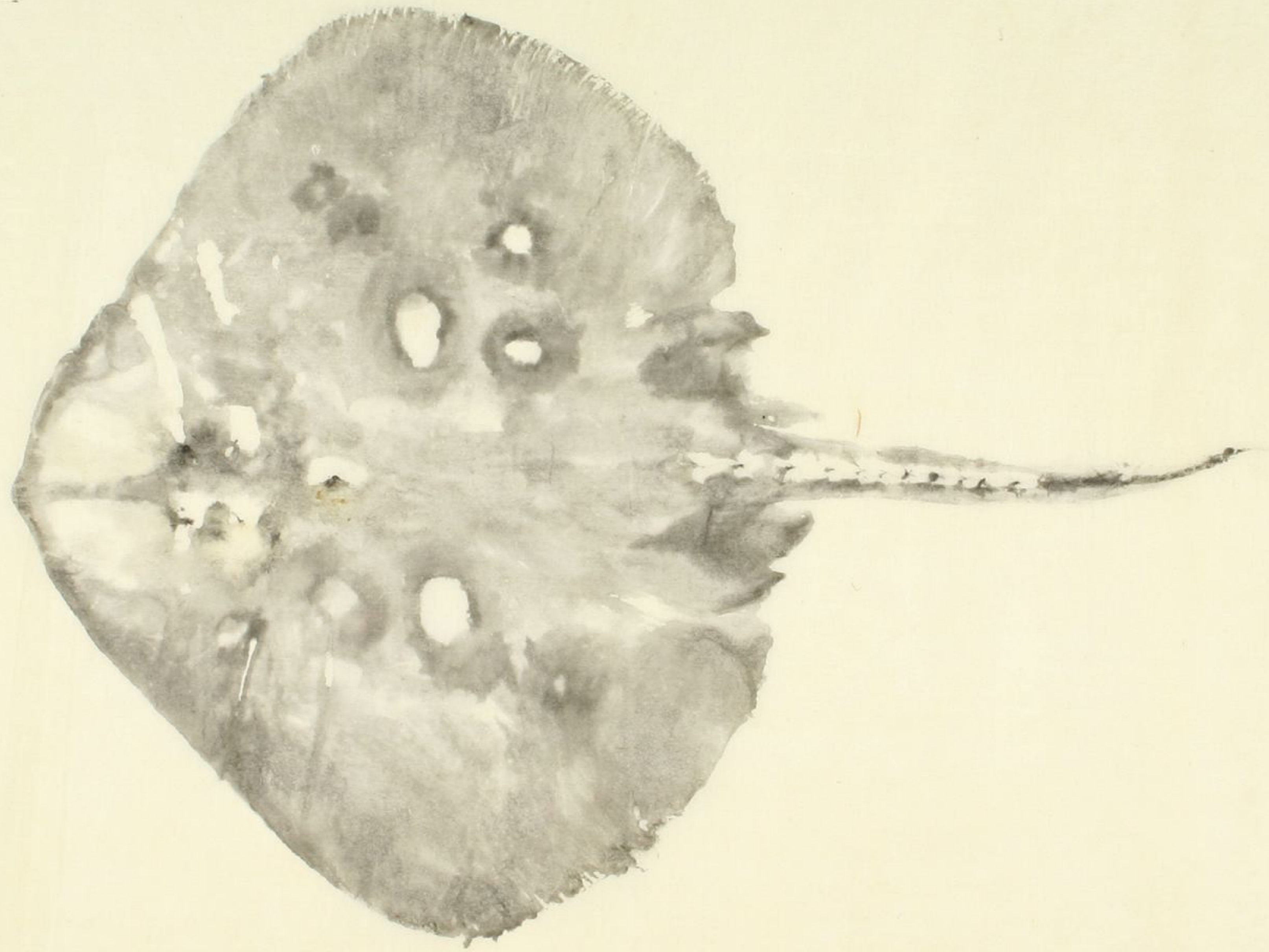
披鰨之狀上統大者皮有沙鰨以可飾刀鞘其
星下鰨鰨下者鰨鰨大者文余煎肝取燈油
即真鰨也其肉赤俗傳云煮食止渴刺其膽

治小兒雀目屢試有效未言於本草但不多食
可矣
鰨 鰨喙尖色黑有肉翅似鳶鰨之形故名鰨
鰨本名海鰨魚亦據此字其肉脆味美

容引鰨 狀薄扁而尾頗長如挽塞戶漚故名之其
肉骨甚硬味劣

牛鰨 黑色肉白肥味最不美

海鰩魚 俗赤早



海鰩魚
俗名赤早
其肉可食
其骨可藥
其尾有毒

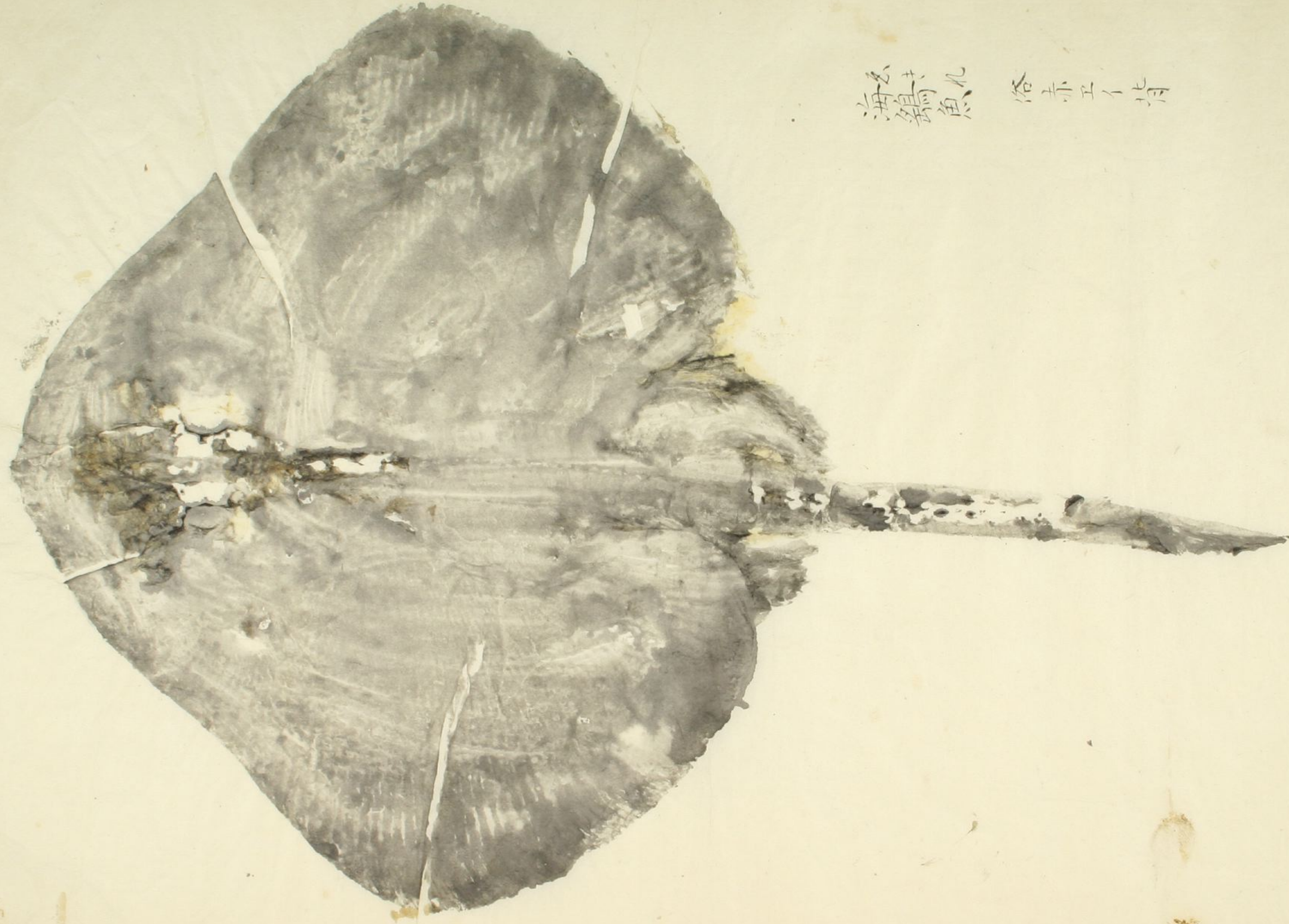
海鰩魚 俗赤平



海鰩魚
俗名赤平
其肉可食
其骨可藥
其尾有毒

海鷄魚 俗赤牙裏





海鷄魚 俗赤五才背



書
去
富
亦
源

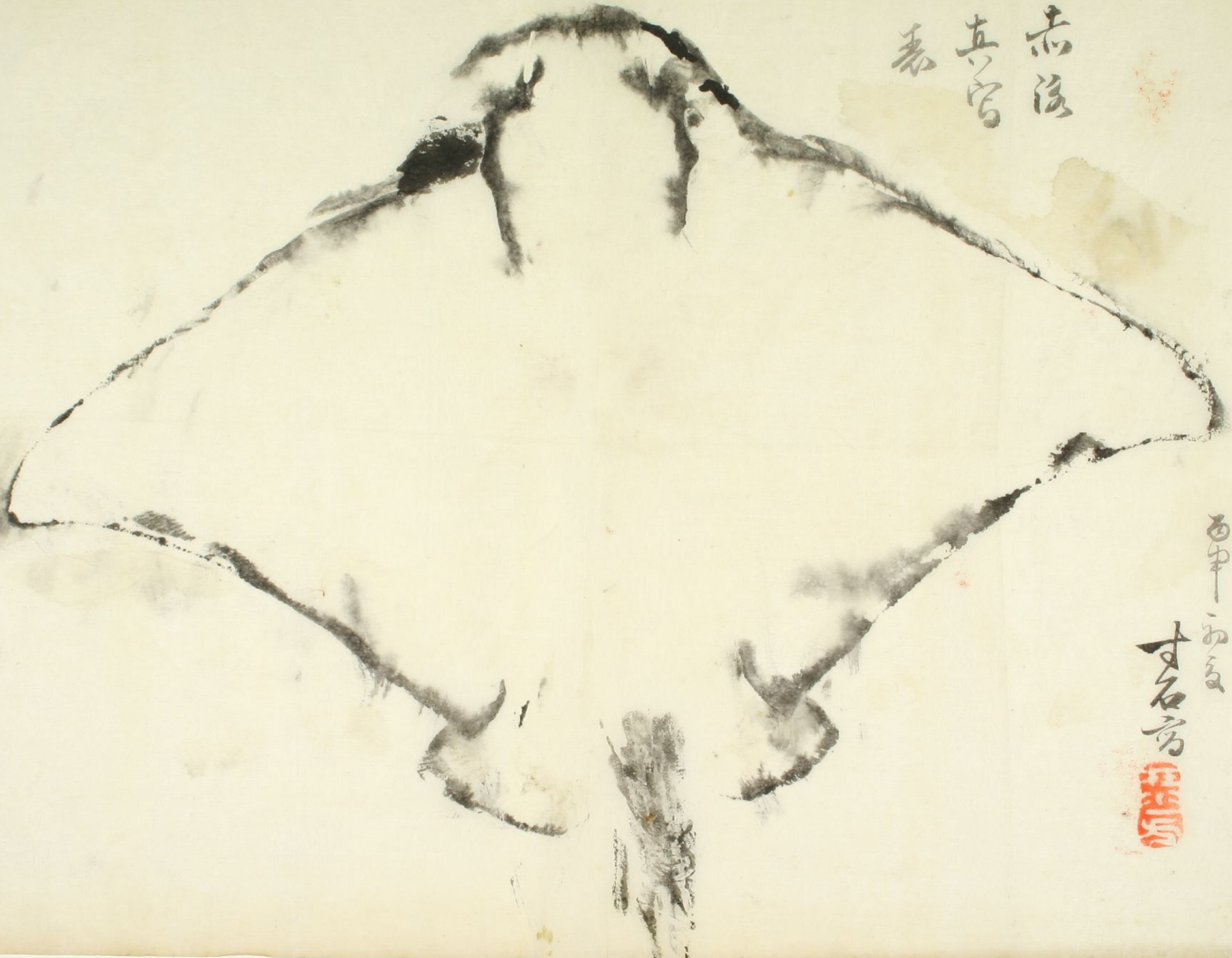


明

丙申初夏

寸石印





赤後
其宮
春

明治
十一年
春
赤後
其宮



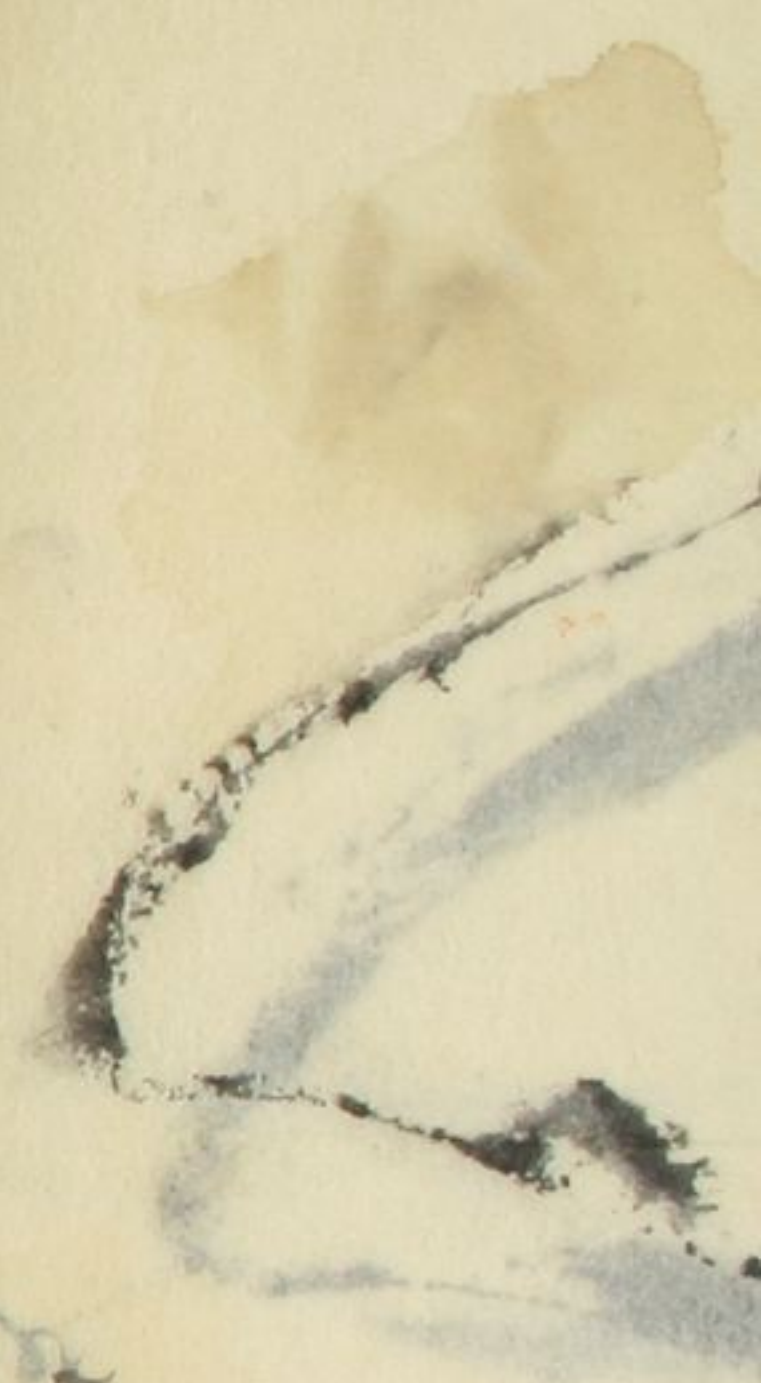
明治
十一年
春
赤後
其宮

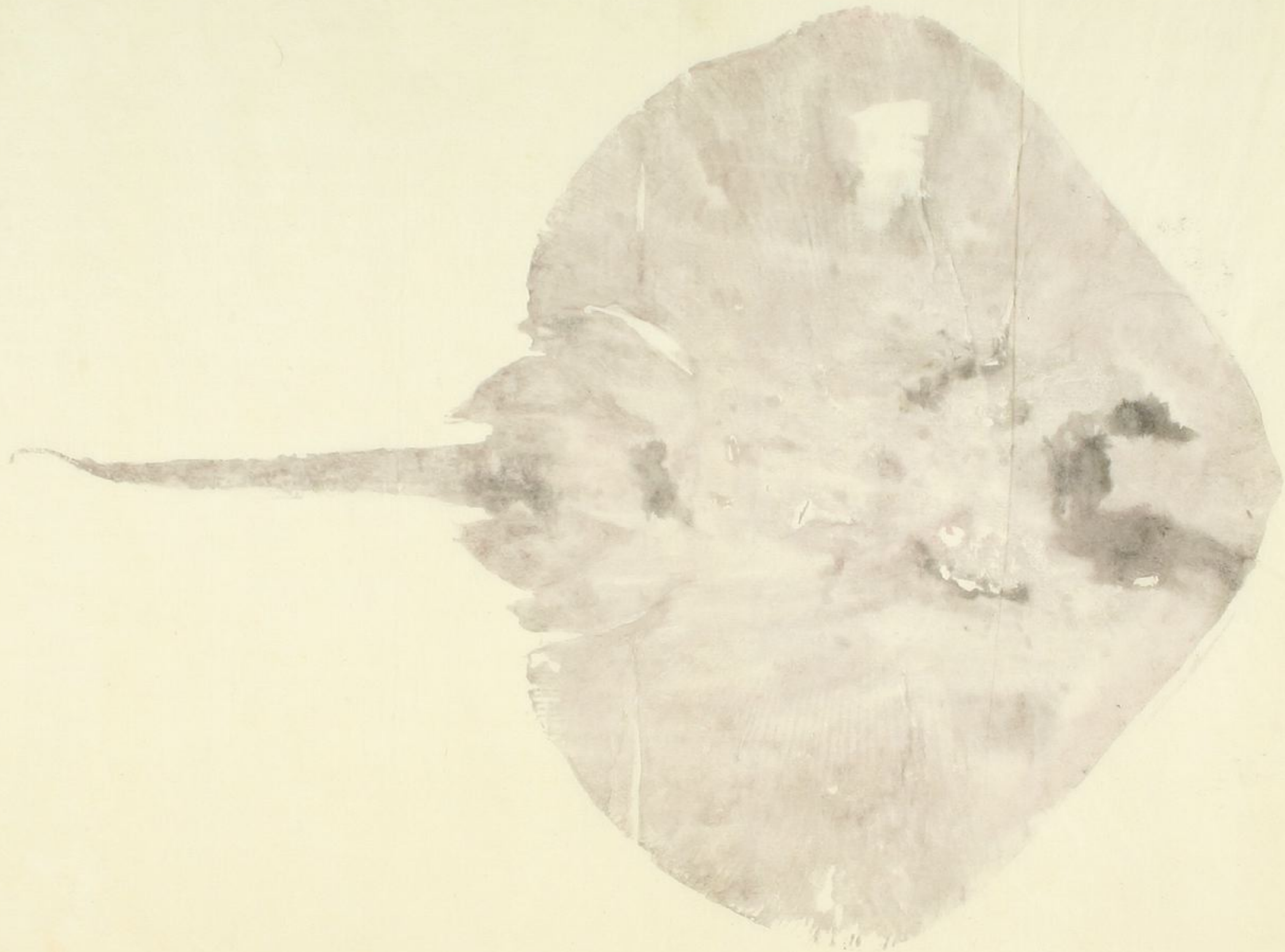


海鰨魚 俗名三才魚



海鰨魚
俗名三才魚
[Red seal]





海^上
鰐^下
魚
俗赤^上
イ^下
表

海^上
鰐^下
魚
俗赤^上
イ^下
表

Handwritten notes in a cursive script, possibly including a date or collection information, with a red seal below.



海鰨魚 俗赤牙 裏

海鰨魚 俗赤牙 裏



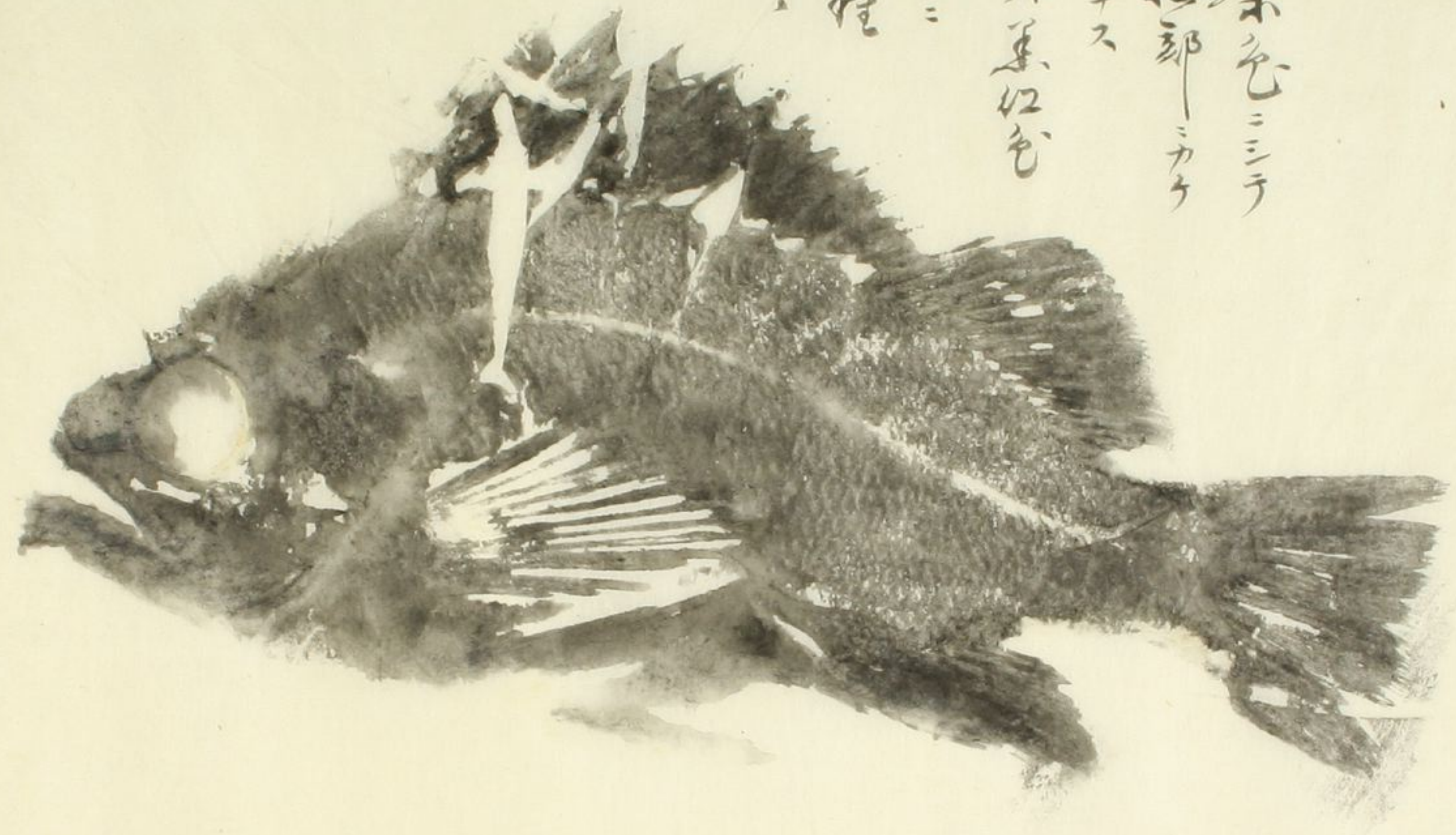
海玄 魚丸 俗赤子表



眼張魚 変生



全身黒色ニシテ
 小魚ヨリ極部ニカク
 黒金をシラス
 普通ノモハ黒色
 シラス因テ此ニ
 混ルニテ二種
 アルトシ種
 也



目張
 大ハル



目張魚 變毛

眼張魚

正字未詳
俗云水波留

按眼張魚狀類赤魚而眼大
似緋魚春月五寸夏秋
之緋魚共得名

黑眼張魚

形同而色不赤
微黑其大者一
尺餘赤黑
二種共蟾
蜍所化也



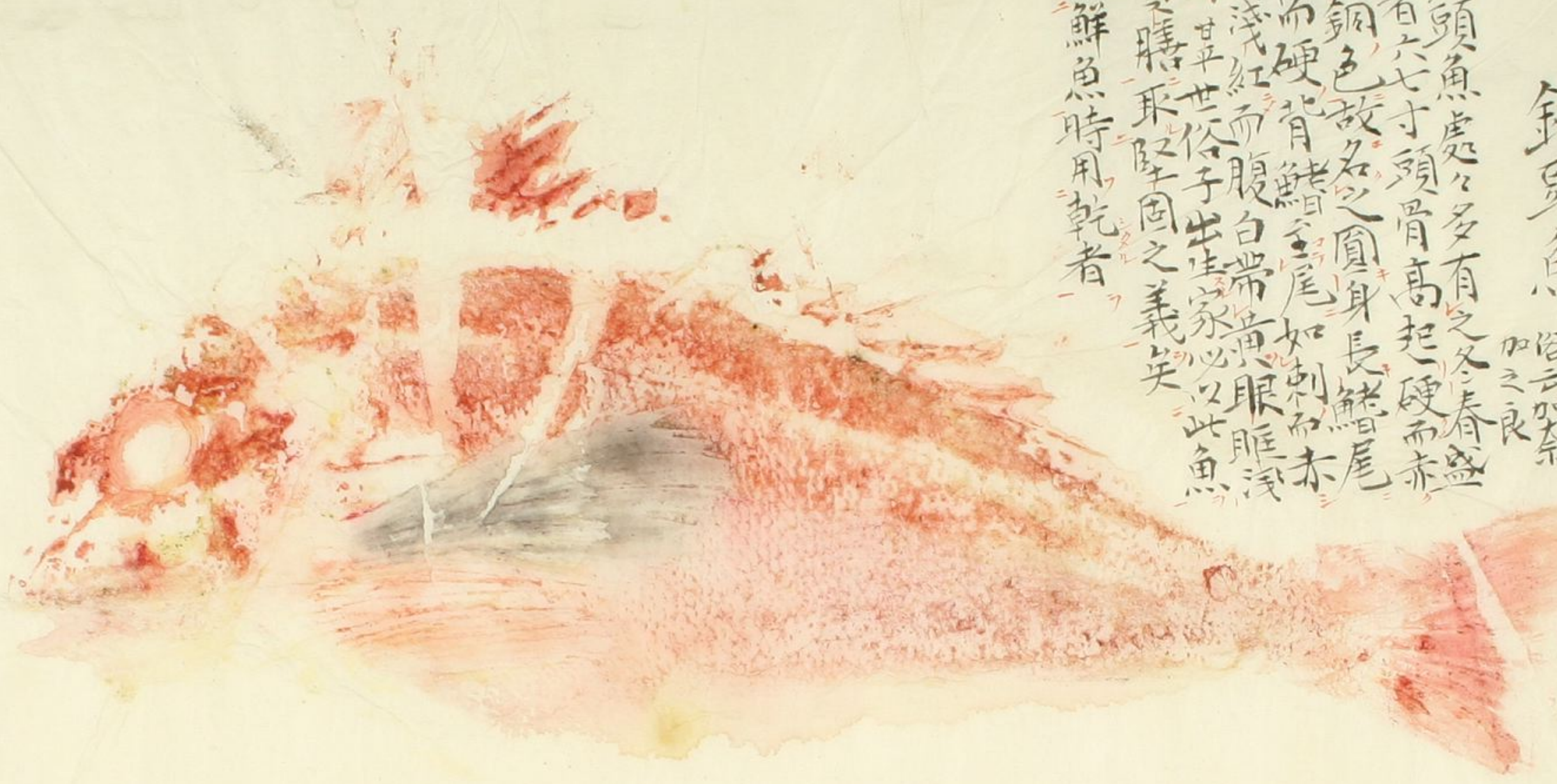
大腹張故名之惟口不潤大味甘赤
一尺許播州赤石之赤眼張江戸

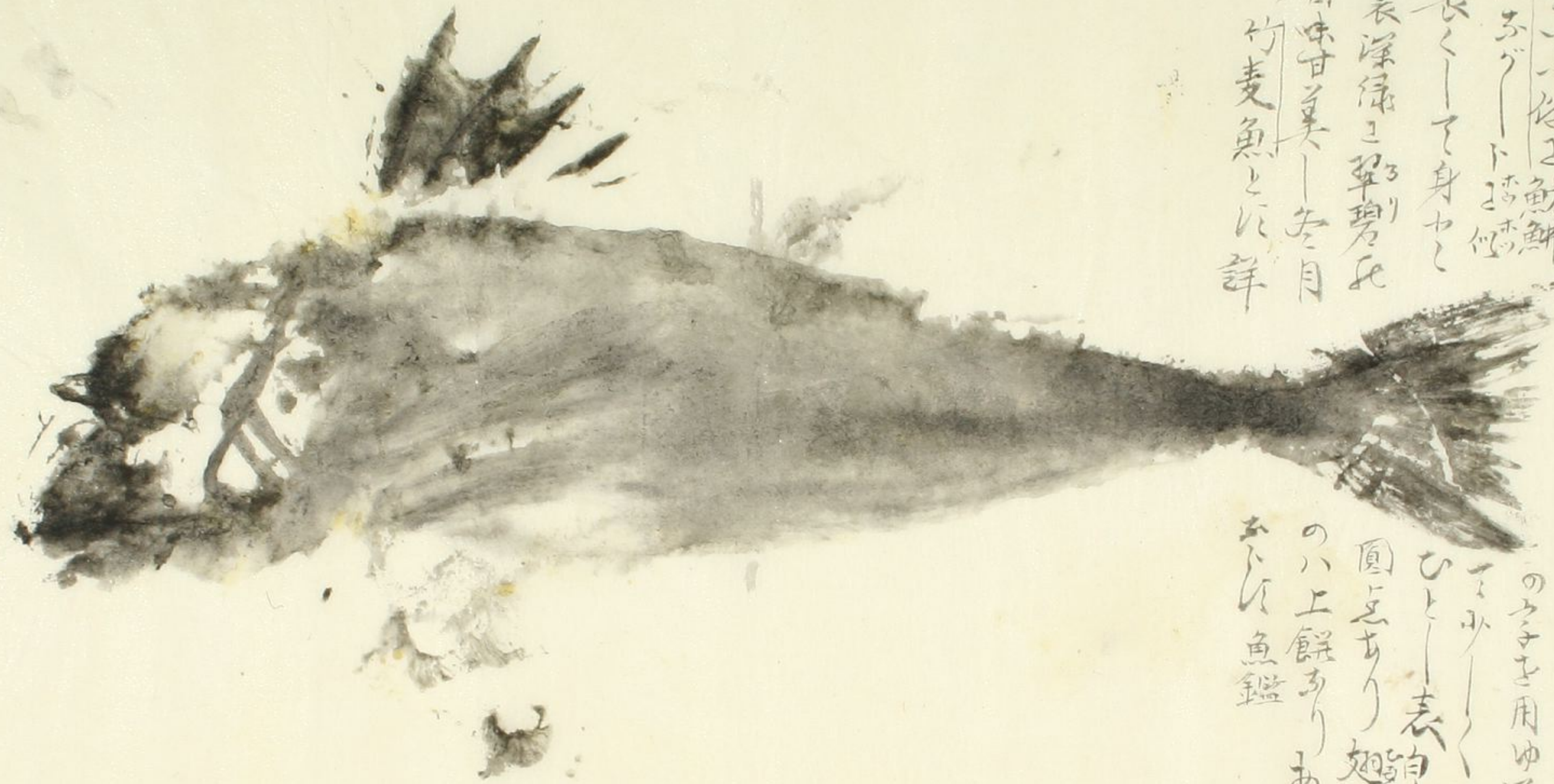
以鱈魚春月五六十月夏時
 此類魚外鱈赤魚而頭大與
 一尺指斷世赤之赤頭魚
 頭魚 俗云赤頭
 俗云赤頭

銅頭魚

俗字未詳
 俗云赤魚
 加之良

按銅頭魚處々多有之冬春盛
 出大者六七寸頭骨高起硬而赤
 頗似銅色故名之圓身長鱈尾
 有皮而硬背鱈至尾如刺而赤
 細鱈淺紅而腹白帶黃眼眶淺
 黃內其世俗子出生家必以此魚
 供賀時取堅固之義矣
 如無鮮魚時用乾者





ほうほう 佐渡まきみうを
 とふ俗に魴鮓
 かぶぐーとほほ
 長くして身や
 裏深緑に翠碧に
 白味甘美に冬月
 の竹麦魚とに詳

西國ふことひき又は六のうを
 のうをを用ゆ漢名未詳その状
 ひと一表 翅下は刺あり肉雪
 の上餅ありあるひ孟波府志
 なる魚鑑

魴鮓魚
 西國ふことひき
 なる魚鑑

西國ふことひき
 なる魚鑑





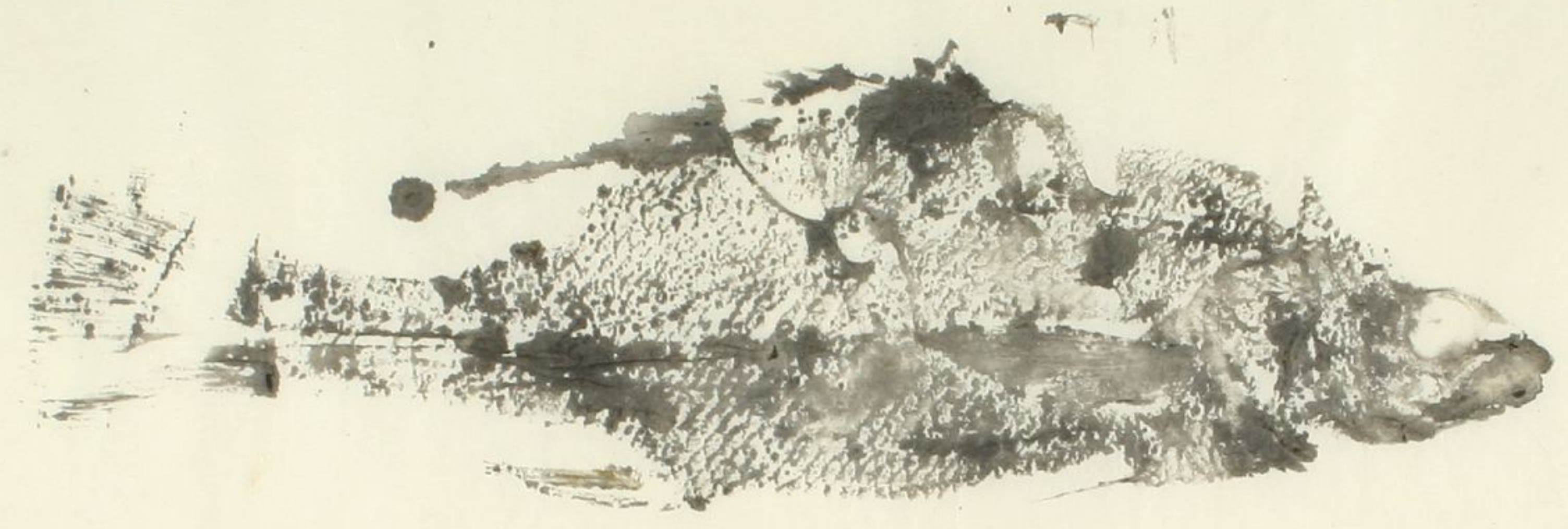
按保字婆字魚林色氣味共似銅頭魚而大其吻有硬鬚而尾鰭
 有五彩色其鱗細於銅頭魚大者尺餘炙食甚甘美肉厚自冬春
 以賞之

保字^不婆字^正字未詳

海川

魚名保字婆字魚... 西國... 魚名保字婆字魚... 西國... 魚名保字婆字魚... 西國...

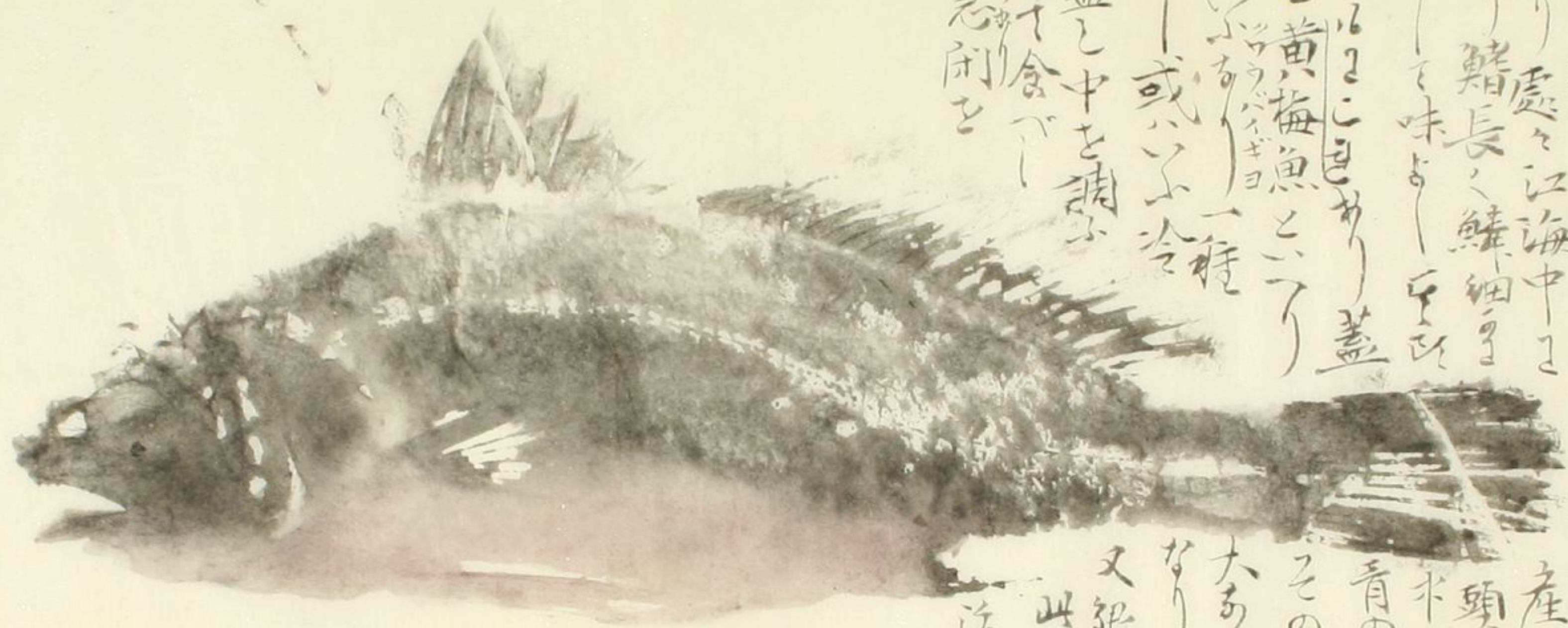
鯪
イシ
モテ
石首魚



鯪
イシ
モテ
石首魚
五字本義
...

イシモチ
石首魚





いーもち

和名抄に鰺の字を用ひ漢名
 これあり處々江海中に
 冷白り鱗長く鱗細き
 く脂少し味も一平
 諸魚とらるこきり蓋
 老是と黄梅魚と云
 平毒や或いふ冷
 氣を益し中を調ふ
 ひ去りて食べし
 不便急用を

石首魚 本草綱目云く四時とらる
 産す状ふなり類して長狭色
 頭小くして尾不岐なり肉脆
 赤く二石ありゆき名はく此石
 膏の石質をなれり福州府
 その黄梅の節に在りて盛
 大なるものに産す味甘
 なり去汚胃をひらき食を消し
 又銀色に光る脂ありよく洗
 此頭石を粉りて張すと
 治り 魚鑑

三十九年二月廿四

嘉礼表

海山人



Handwritten notes in vertical columns on the right page, including characters like 海山人 and 嘉礼表, likely providing additional context or a detailed description of the fish depicted on the left page.

三十一卷 四十八

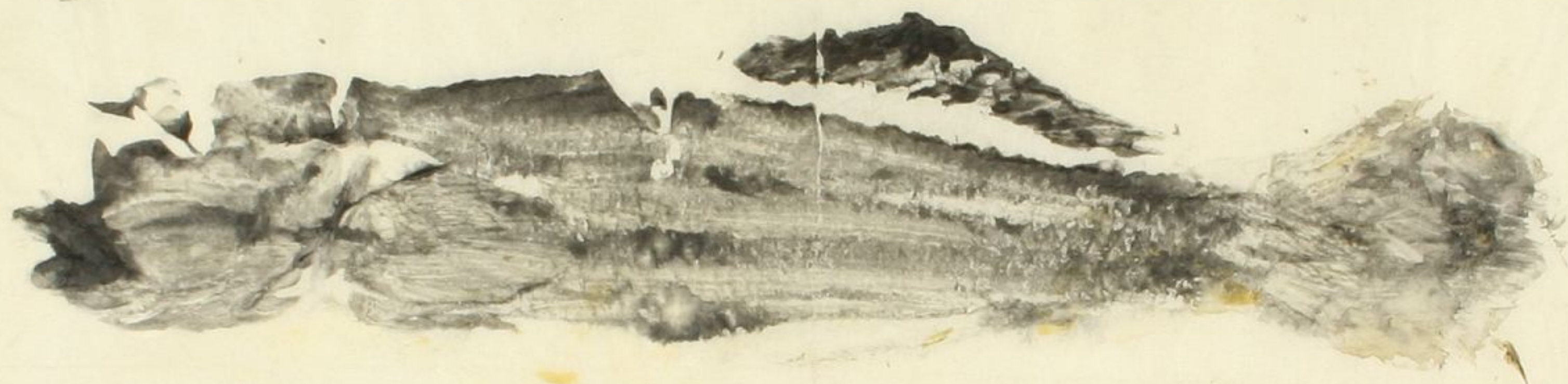
廿九年丁丑月廿四日

嘉礼表

海定



三十八年十一月
竹芝浦 於了漁
獲 在 所 沙 魚
總長 七寸



三十八年十一月
竹芝浦 於了漁
獲 在 所 沙 魚
總長 七寸

コルタ



同上



沙魚



同上



魚類学
沙魚
コルタ
二十八日

五五〇〇

鯊



同上



同上



同タネ



メコチ



同上



アイナメ



明治三十七年十月十六日大森八幡
海濱に於て釣獲スルニ皆丁年
孫月西風小波起ル

大正二年一月



沙魚

明治三十七年十月六日



沙魚、魚中、不、可、少、の

水神魚



新刀魚

明治三十年

一月五日

招真



同治十年

九月魚

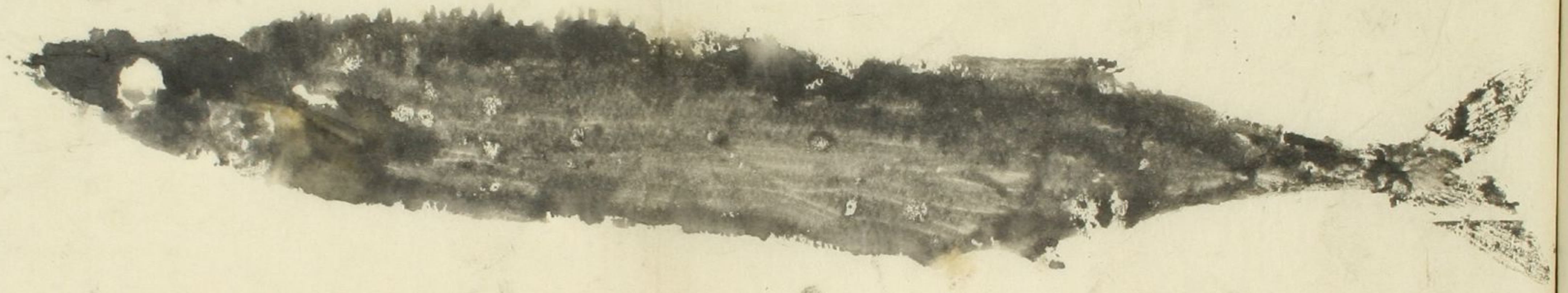


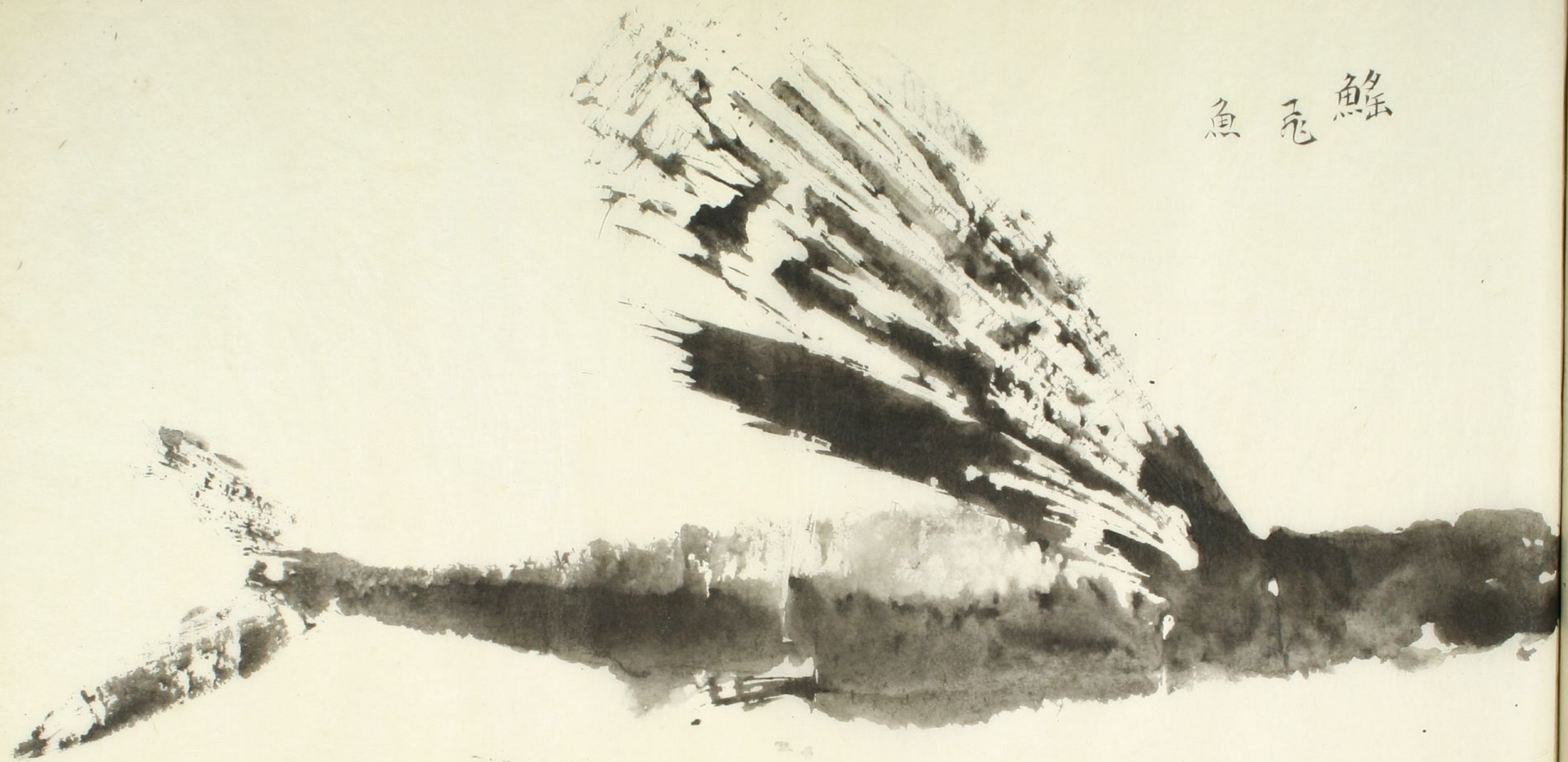
秋刀魚

明治三年九月

十二月末日

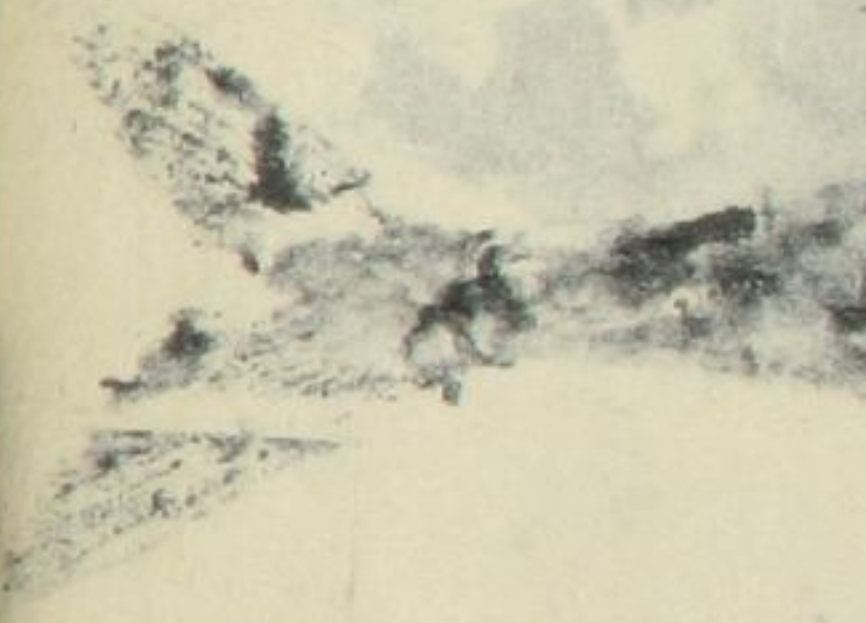
柳屋





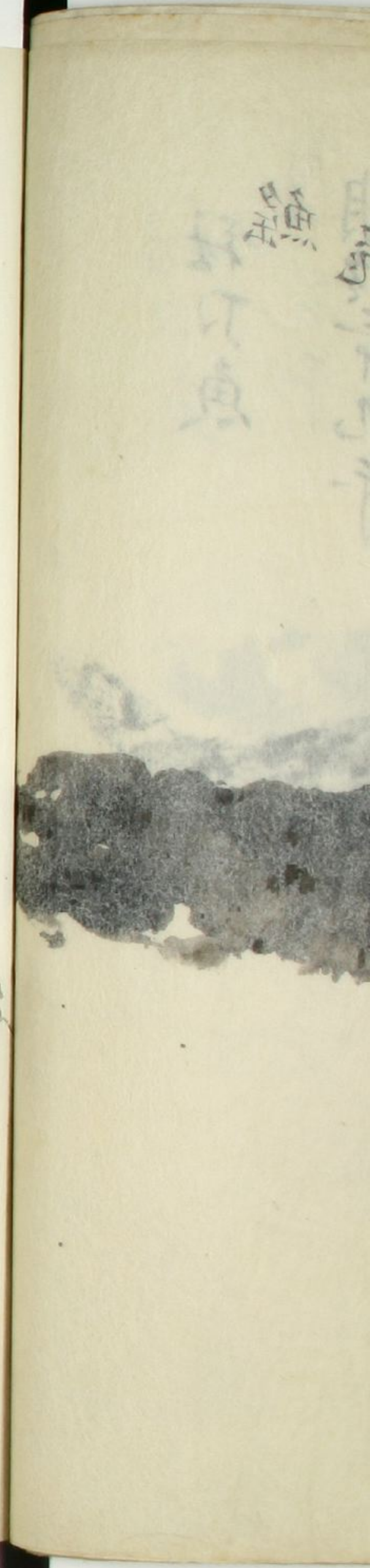
魚 尾 鯨

魚 尾 鯨





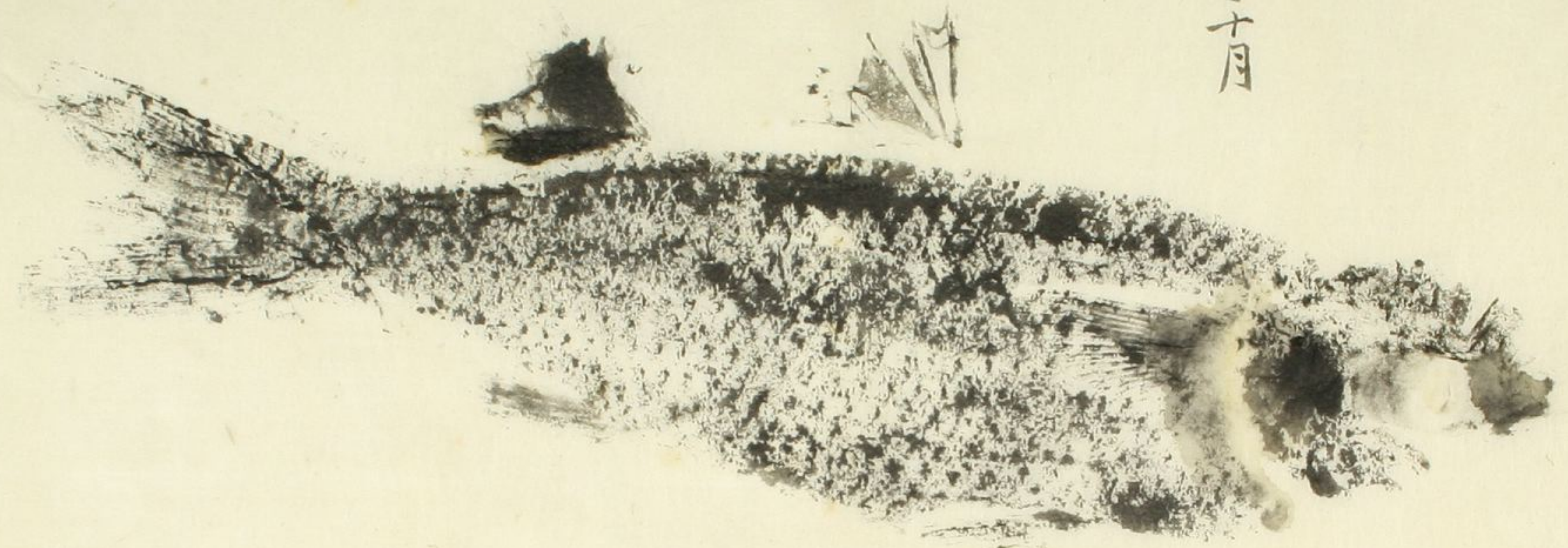
トビワ
魚



魚
トビワ

いな

明治三十七年十月
印志



いな
十月



伊奈

明治三十九年
十二月三日

聖上

御誕辰

奉祝

魚





本國朝在日主東武水沙青魚身者八余其子衛朝有黃龍者美
鱸魚 味或奈與之必云料身小皆或云鱸又云鱸魚
子魚黑也曰鱸水魚黑好也鱸其可鱸曰子魚

明治三十九年

十月十七日季治

ヲ随伴袖浦繩

釣シ為ス此日天象

晴曇々不定之暖如

暮晚時々驟雨来

苦ラ茸キ之シ凌ク

晚頃断虹ヲ見

此日釣魚鱒

二百數十尾

鱒三枚

マルタ

一尾

穴

子三

本流尾

數本セイ

ゴ一尾及此

榻形ノコチ一

尾ナリ此コチ

首尾端ニテ

曲尺一尺七寸

此コチヲ釣上ル時

糸細キカ故急劇ニ

引ハ糸ヲ切リ恐アリ故ニ

三再魚游泳ニ任セサ

機合ニ測テ玉綱ヲ用テ之

ヲ上ク凡テ大魚ハ皆此所



古知の子
俗に
磯子



海老の
頭半
十日
卯
三月
二十
八



鱈

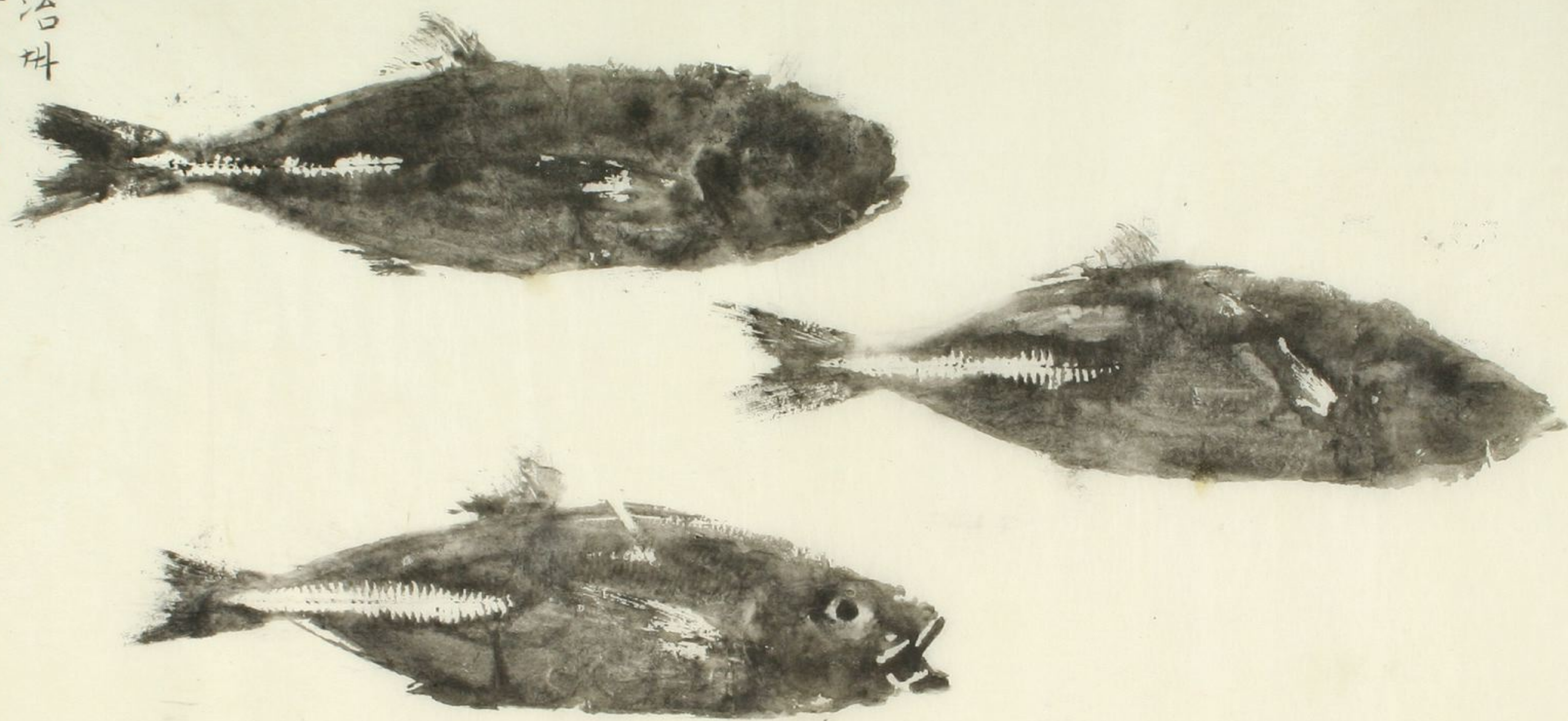
明治三十八年七月三十日
價肆泉下里此月北
遣軍正隆捷唐太
島強掃我有



明治三十八年七月三十日
價肆泉下里此月北
遣軍正隆捷唐太
島強掃我有



鮫 三尾 搦寫



明治卅
七年十月初二日水石山人自搦

丸
鯨



鯨
三
角
鯨

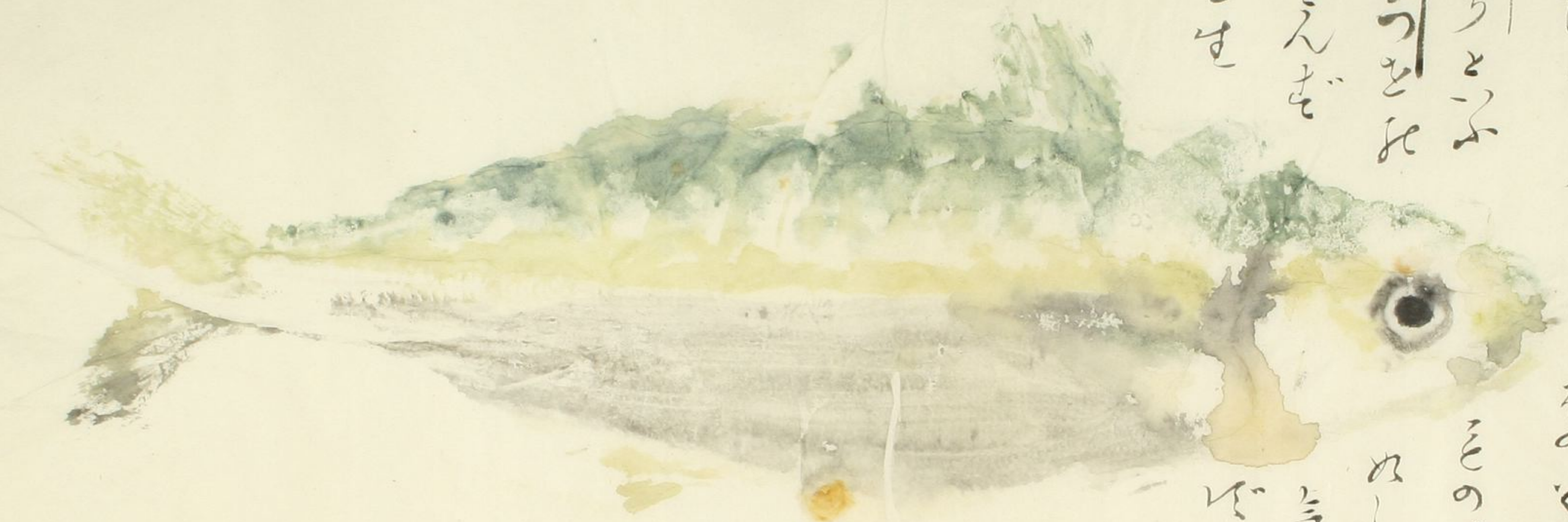
むろあぢ 明治三十八年十月廿日 招刷 價九泉

播磨室の海に多くし 故ふふかふ 状圓く肉あつし 指^ヒ造^ロ
べし 唐州布良^ウより

その^{ナマ}乾^ビれ^タる^ノを^必以^テ上^ニす

一^ツ種^ノ志^マあ^チと^ふ
全^クが^まな^のつ^をれ
唐^ノ家^ノ尤^モ重^んむ
赤^く熱^を生

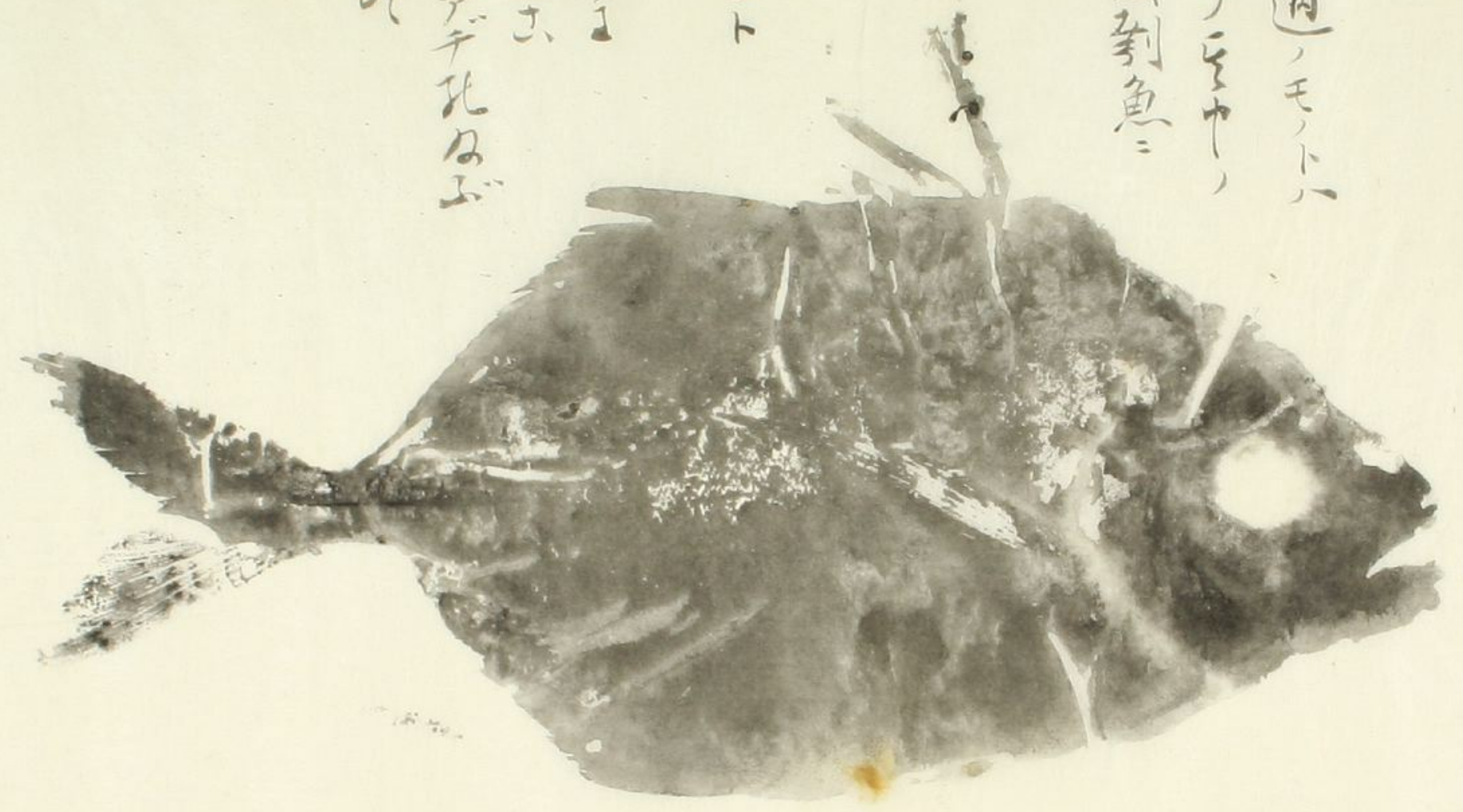
この^ツり^ノ状^はあ^ぢと^似て^る
ぬ^しし^小あ^まを^夏の^はと^ふ
気^味甘^温小^毒あり^血を
以^テ瘡^毒と^忌む



一ノ海産魚類ニ
 猪俣海産魚類ノ一ノ海産魚類ニ
 河見也丸 天保三十八年十月廿五日 猪俣海産魚類
 河見也丸 天保三十八年十月廿五日 猪俣海産魚類

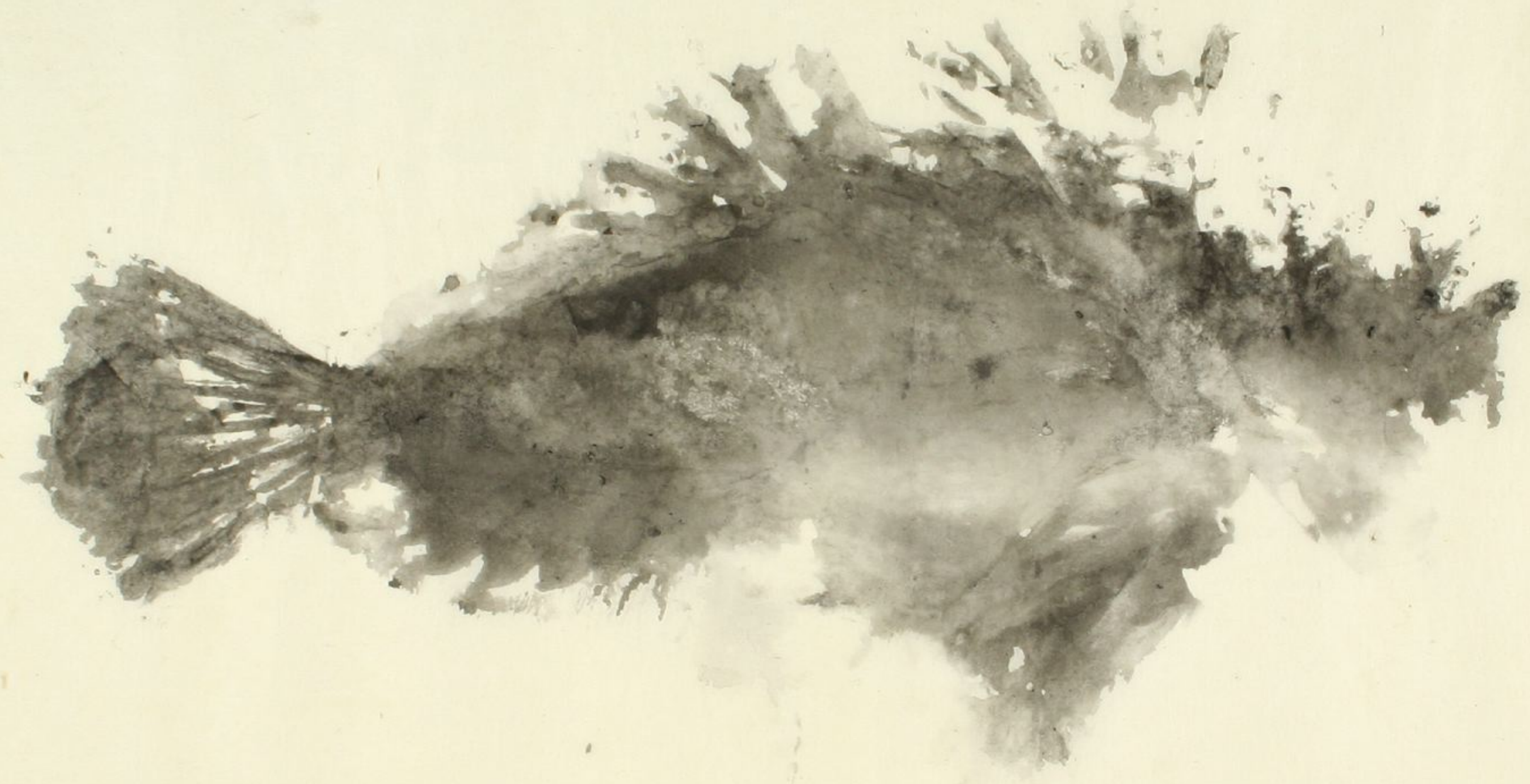
鯨干

此アチ善通ノモノトハ
 大ニ其ニモテニヤノ
 産キコト皮剥魚ニ
 似タリ



魚高ワ
 ミシアデカ
 曰ト魚モ
 他ノモノナラント
 思惟レ
 之ヲ食レタ
 活物ノ多ク
 也善通ノアチ此
 魚ニ似タリ

明治三十七年七月十一日印
鬼才コチ



鬼才コチ
明治三十七年七月十一日印
鬼才コチ

田家川十六卷之四十一日記

オコチ

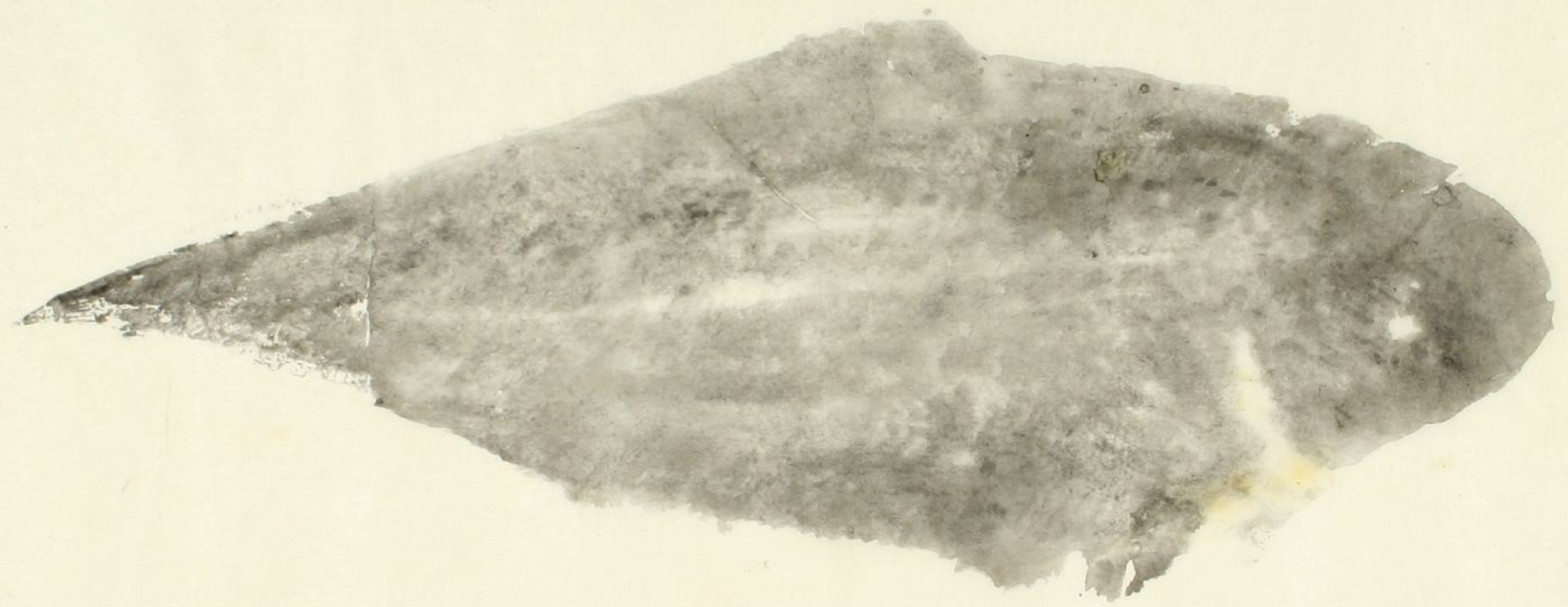
全身藍黒
混交色ノ鱗
ニ白モ不規多
数ニ点シテ其
奇麗ナルヲ
他ノ江魚
トハ別ニ
ナリ
魚高々
稱シテ
霜降
オコチ也
曰フ
余嘗クニ此魚ハ
オコチ不規トモ
シテカサコノ種
類ナルトモ其際
以



明治三十七年七月某月
本山下宮近野飯元町軒
市ニ於テ産降海魚オコチ
類
之ヲ食ハシテ脂肪甚
多ク細糸ノ煮汁其
病治ル為ニ効結シテ
煮瀝トナル

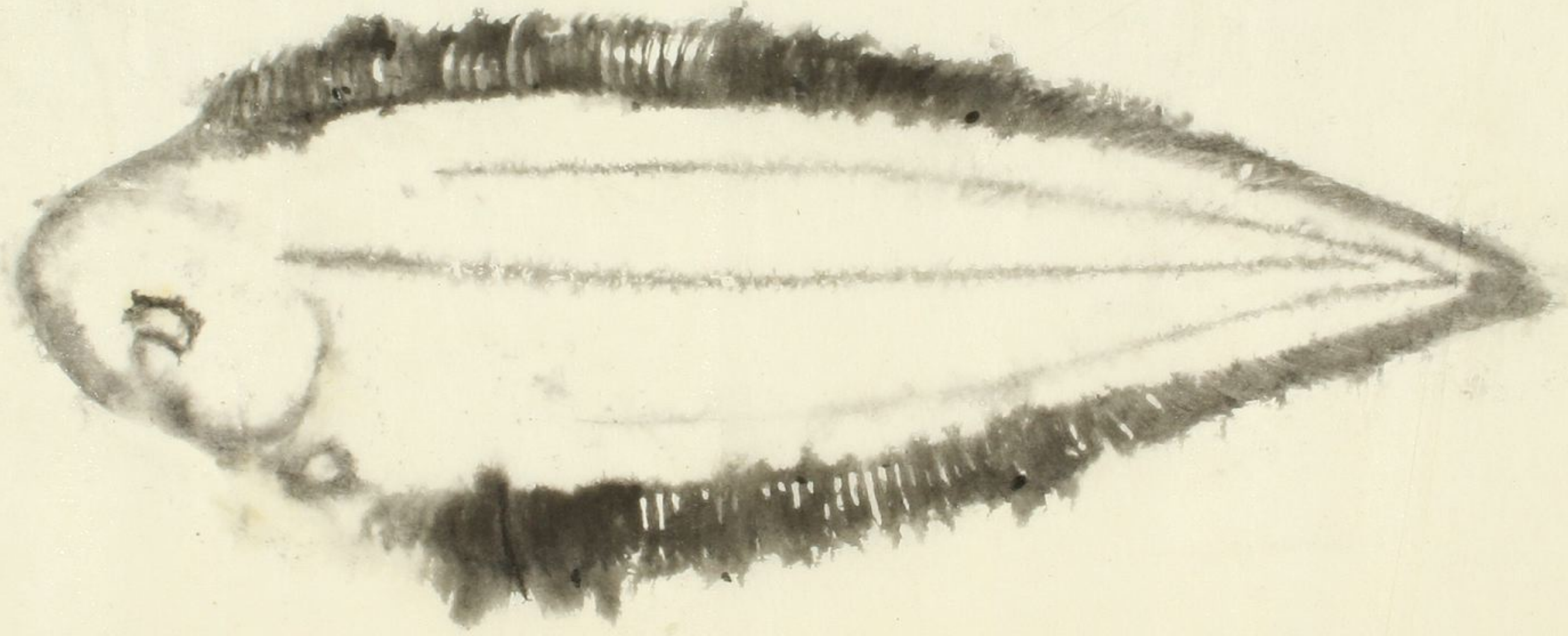
明治三十七年二月十日印真

舌平目



明治三十七年二月十日印真

舌平目



舌平目

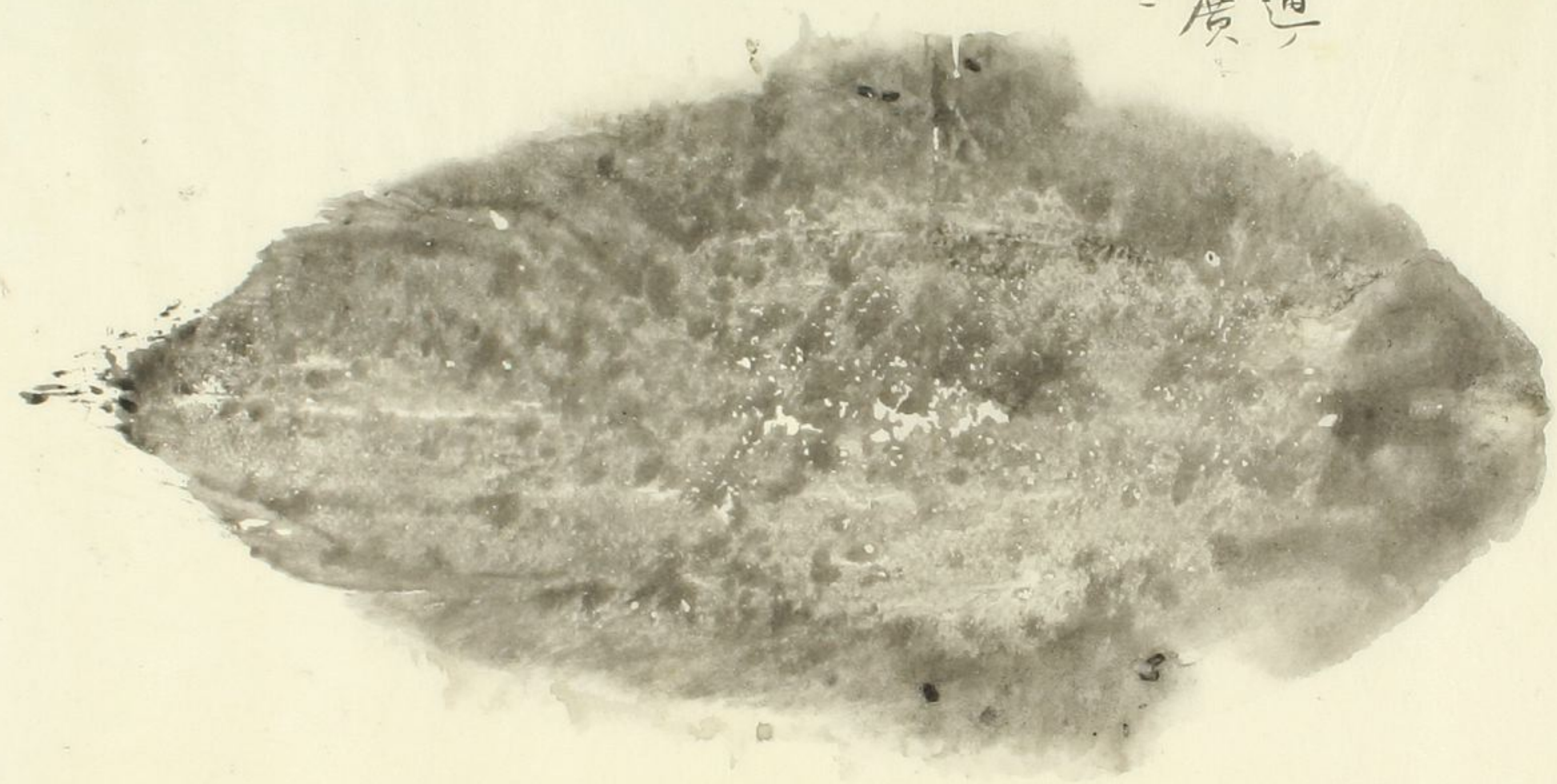
國志三十七卷上頁十目印真

舌平目
明治三十七年二月十日卯真

明治廿七年二月十日卯真

舌平目

此舌平目ハ普通ノ
モノト云ミシテ中廣
ク長サ短クシテ横ニ
白毛ノ斑アリ



ダツ

三浦三平近海

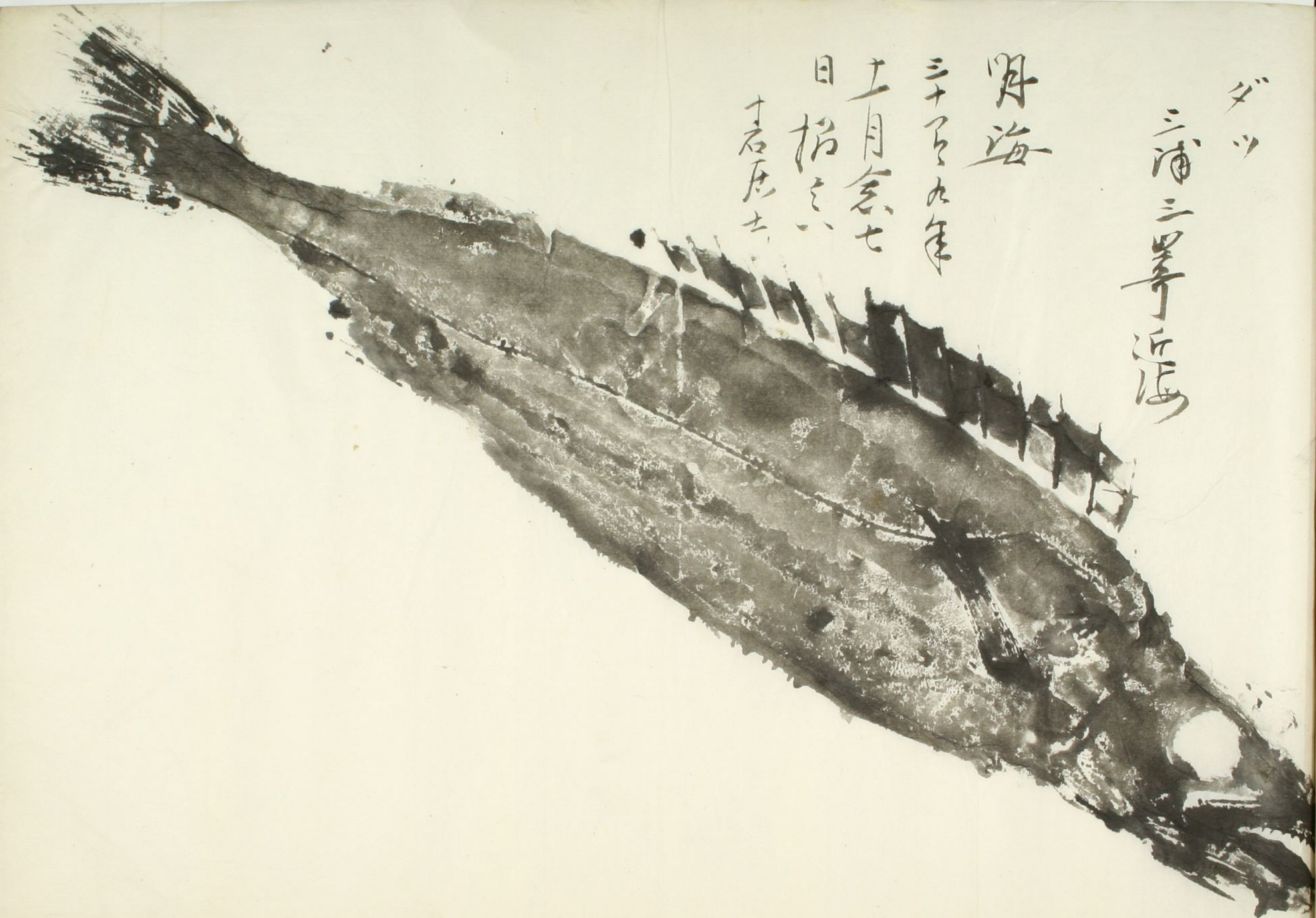
丹海

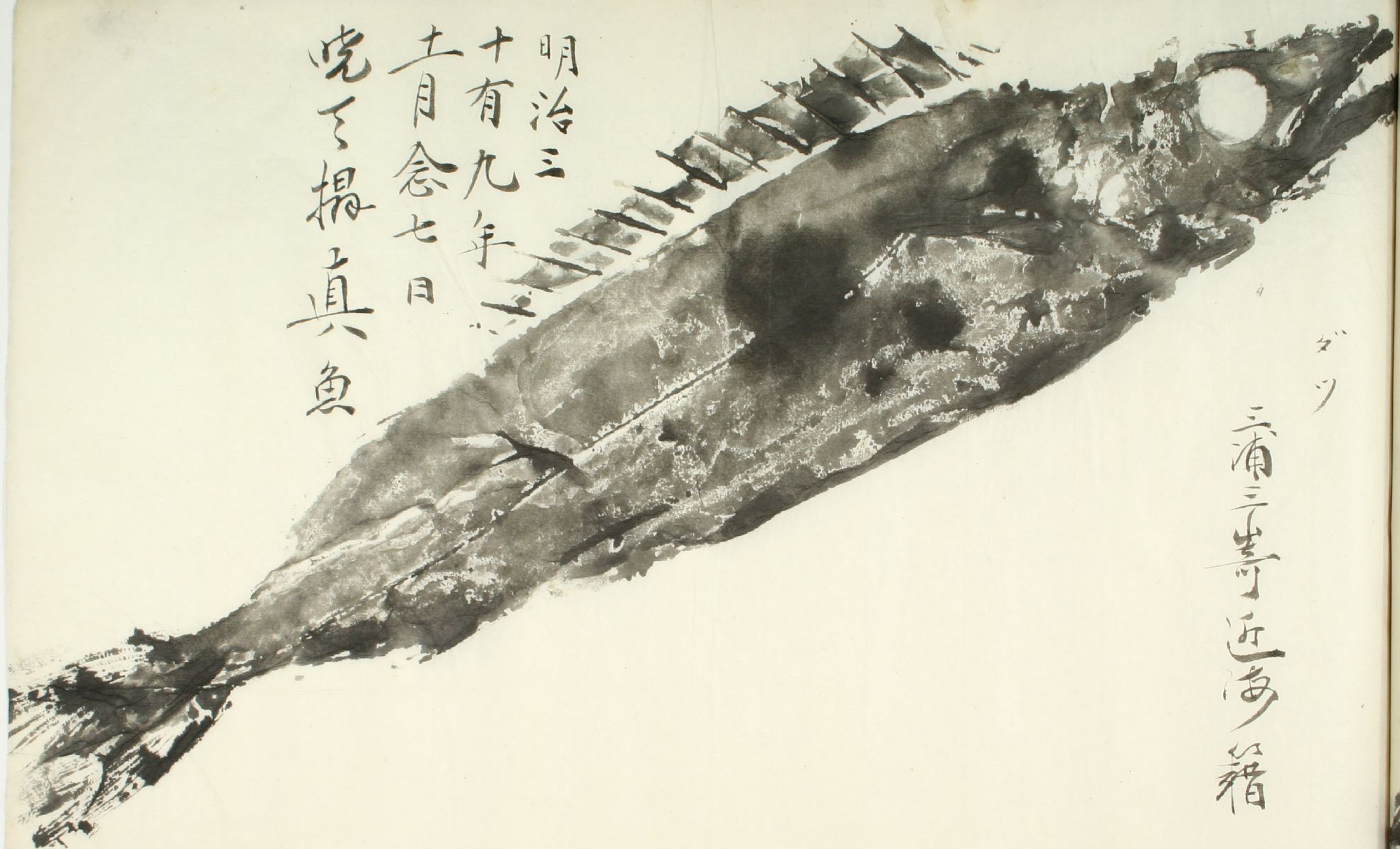
三十三年

上月念七

日招

十右兵衛





明治三十有九年
土月念七日
虎ノ搦真魚

三浦三喜近海籍

ガツ

三浦三喜近海籍





かさね

海川類記 魚

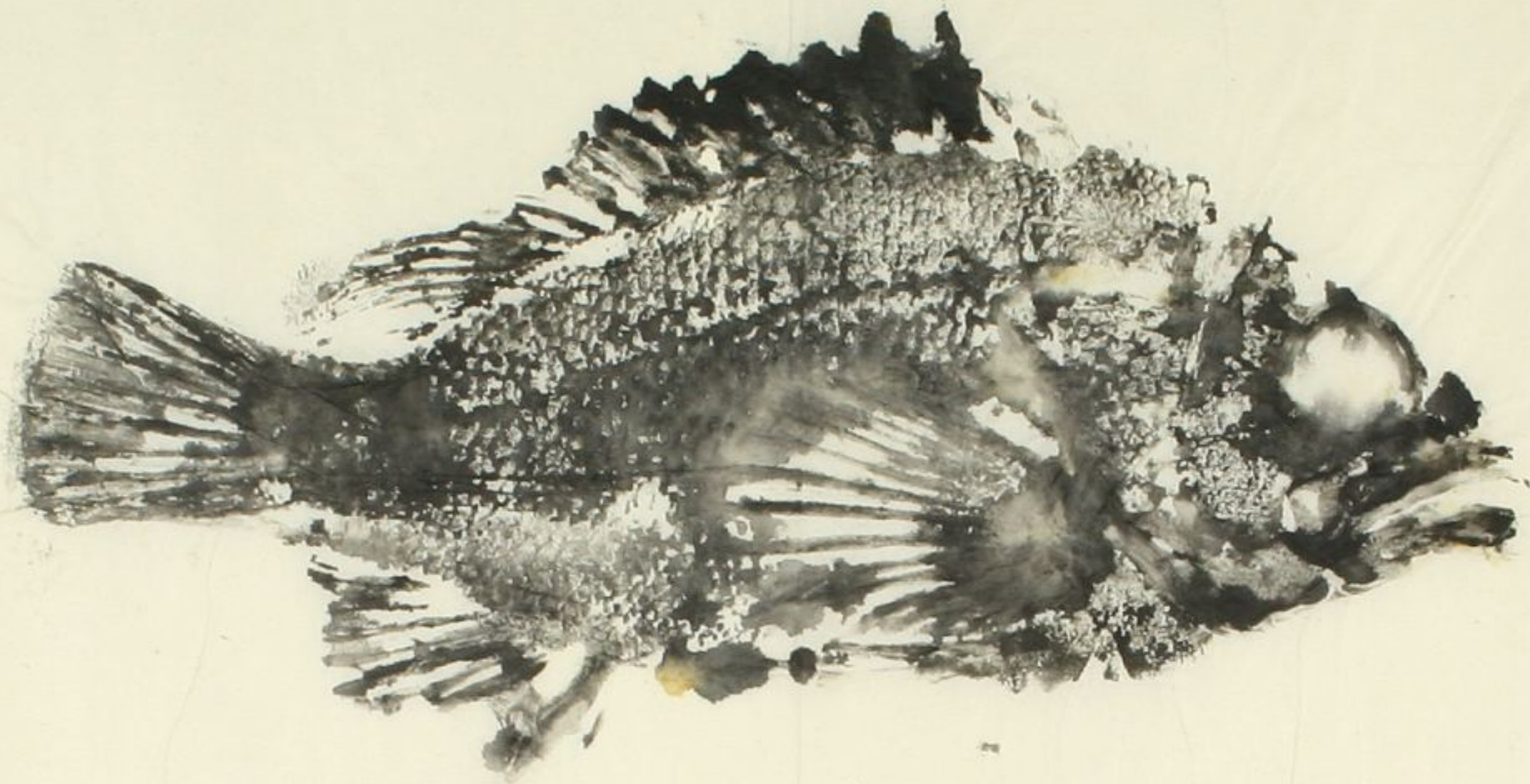


カサコ
佐古
変生

カサコ

カサコ

カサゴ



同上



カサゴ
カサゴ
カサゴ
カサゴ
カサゴ





か
し
ぶ
族

系之利



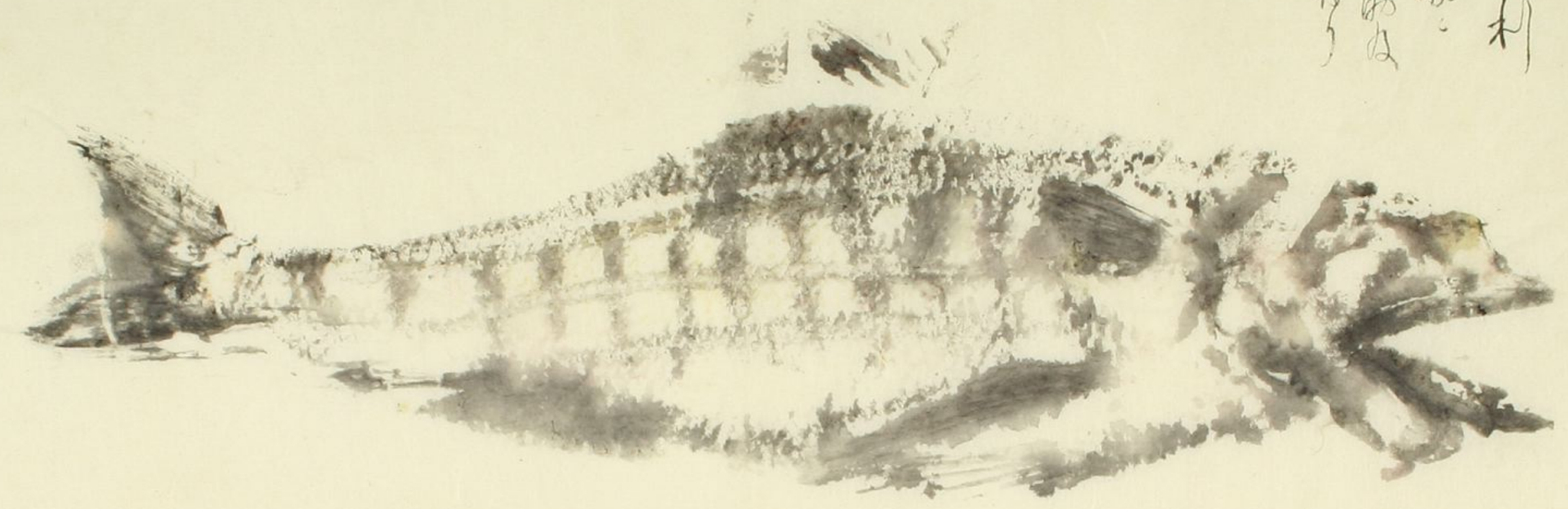
八十八卷

魚子利

魚子利

背筋

全銀、筋、
赤、色、有、り



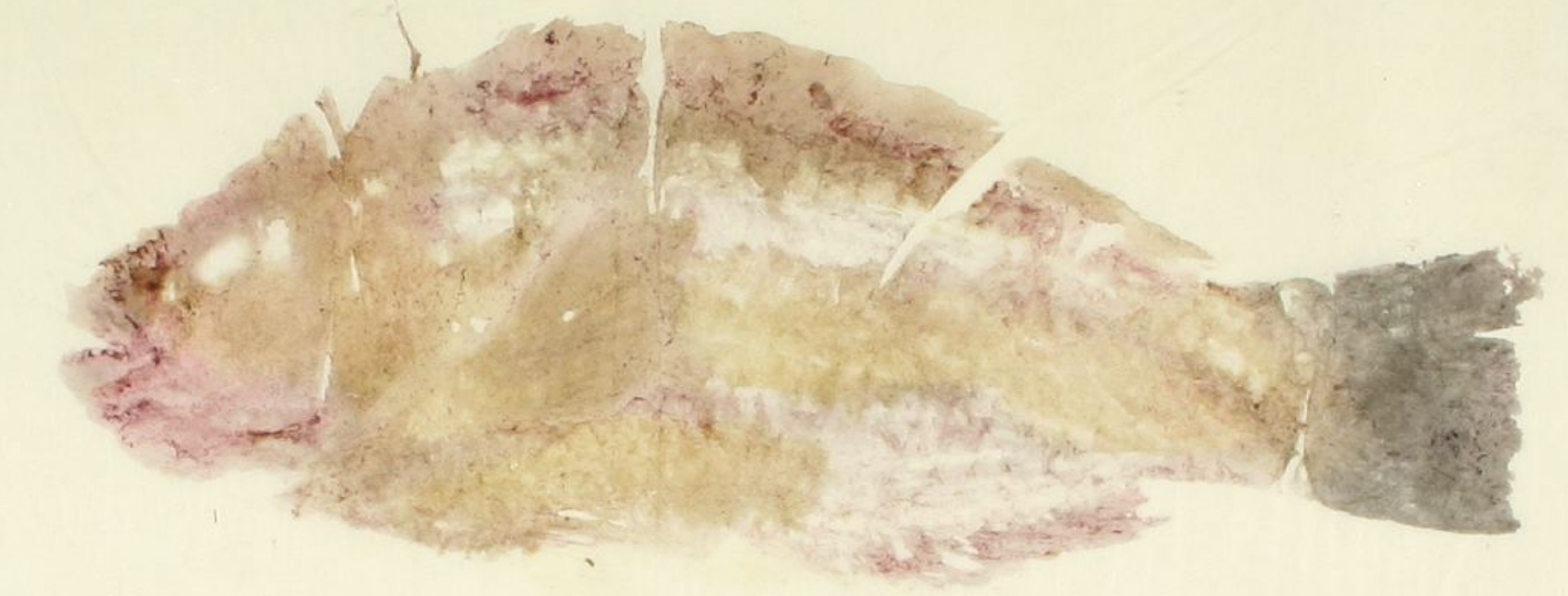
邊^べ
良^ら



魚子
林



倍良
未本
詳名



邊
身

邊
良



赤身
本
成



明治三十八年
八月廿六日購
於麻布谷街
小魚店五泉

メチ鰹

俗ニ魚南味ヲスマト云伊豆海ニ多ク産スト云

鯉又堅魚鉛錘魚
夏子魚
勝男

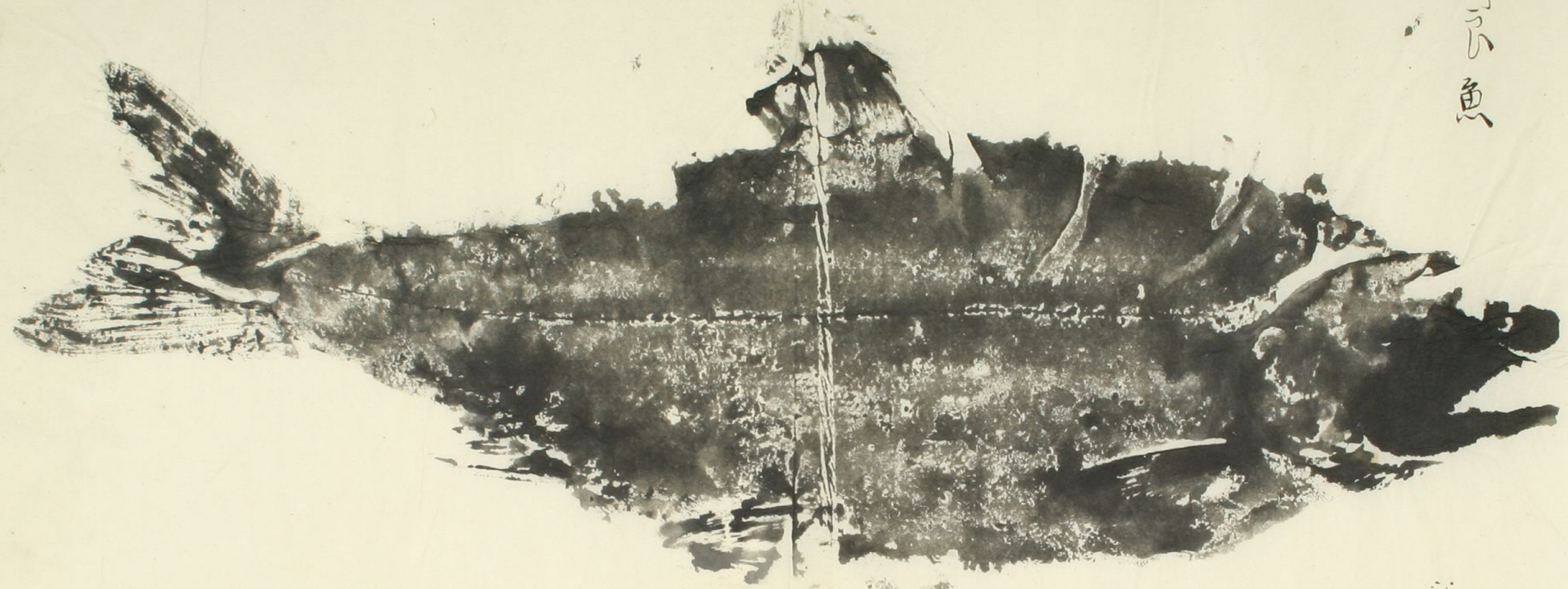


魚中不類
...

阿良^下
ラ



阿
魚

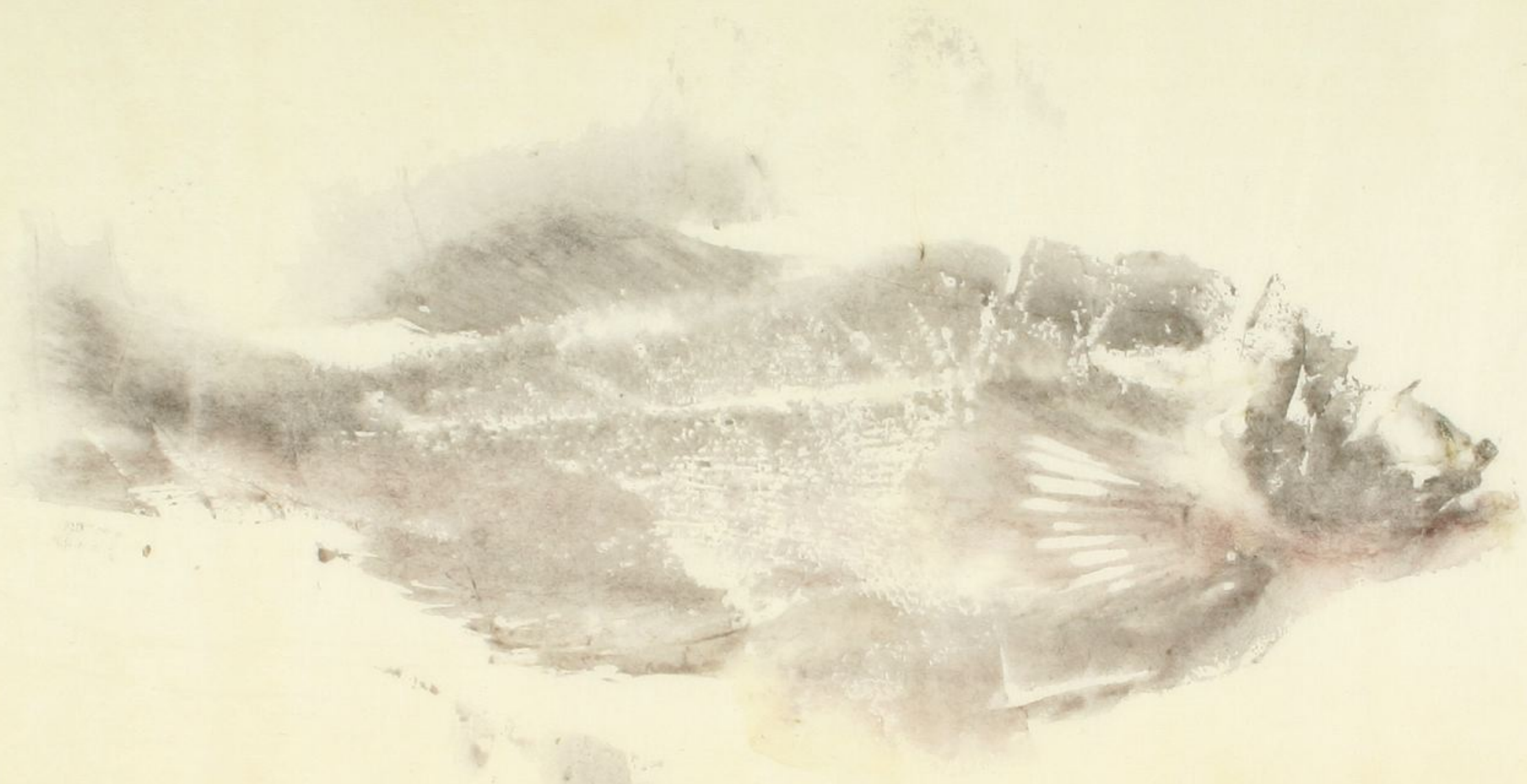


阿羅魚

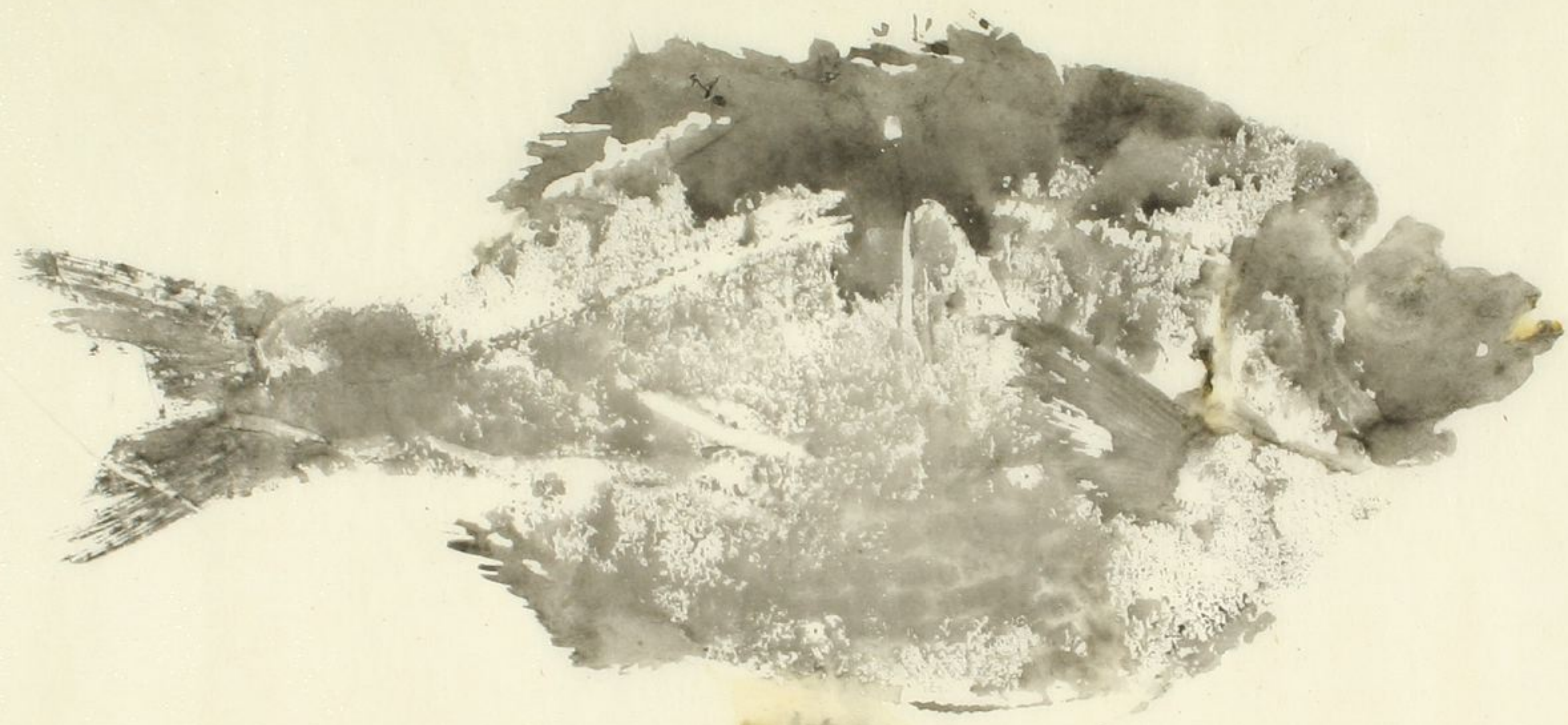


阿羅魚 俗用鰻字未詳
又云伊加奴ハシ

按阿羅魚形色略類鱈而大其口類鱸但頭骨堅鱗鱗自硬味淡不美為品
三月淺多米之根泉紀播亦有而不多凡者細末入產後全瘡之藥能有
止涼血之功



梅
九十九のぶ



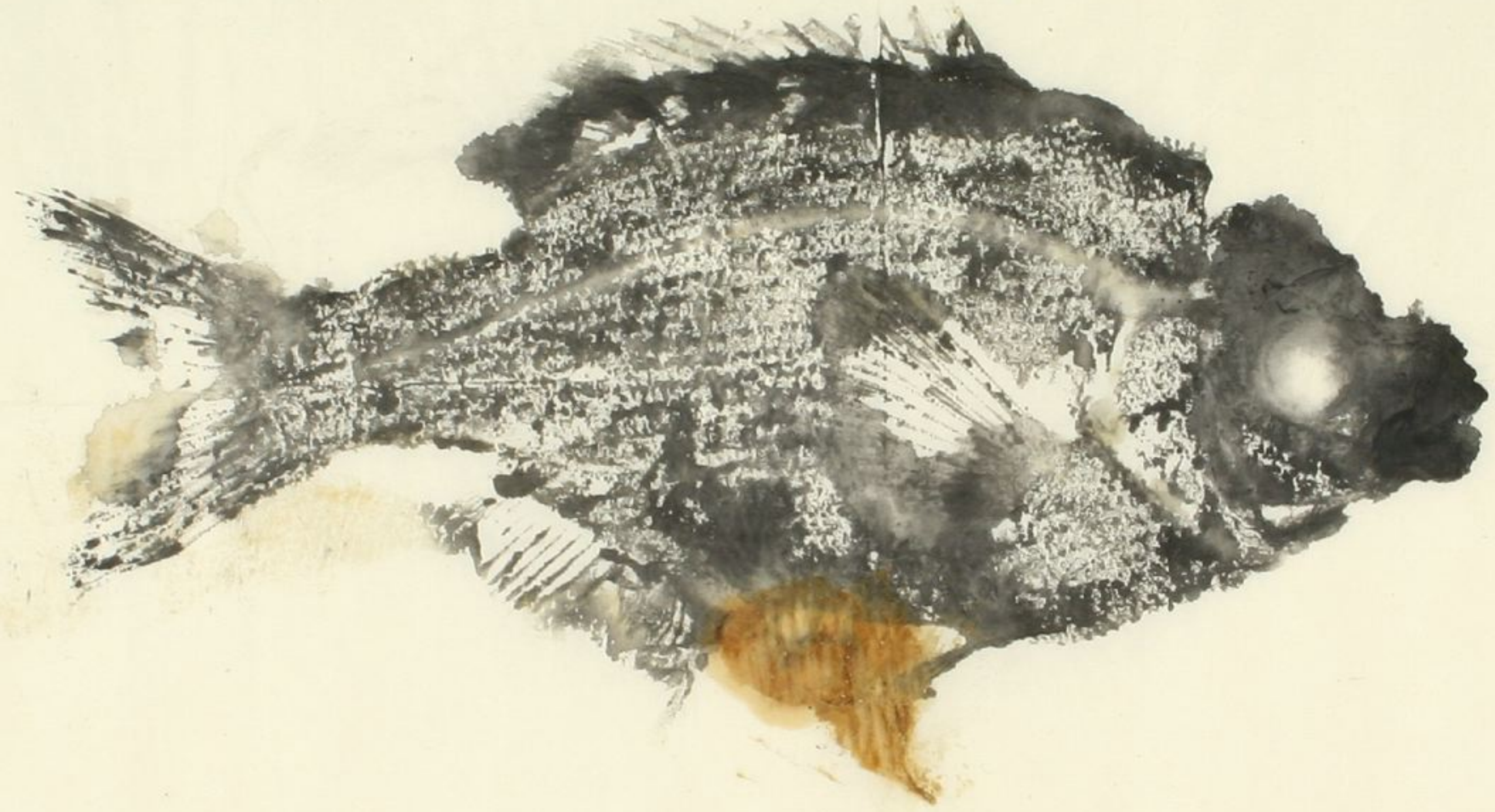
夕ナコ 腹中
生じ子
此魚六地ノ魚ト
呈ナリ 移下
不ト 柳 死川

一葉五頁上...
此魚六地ノ魚ト
呈ナリ 移下
不ト 柳 死川
何羅魚 又云...
九月

明治三十七年

海

タナゴ



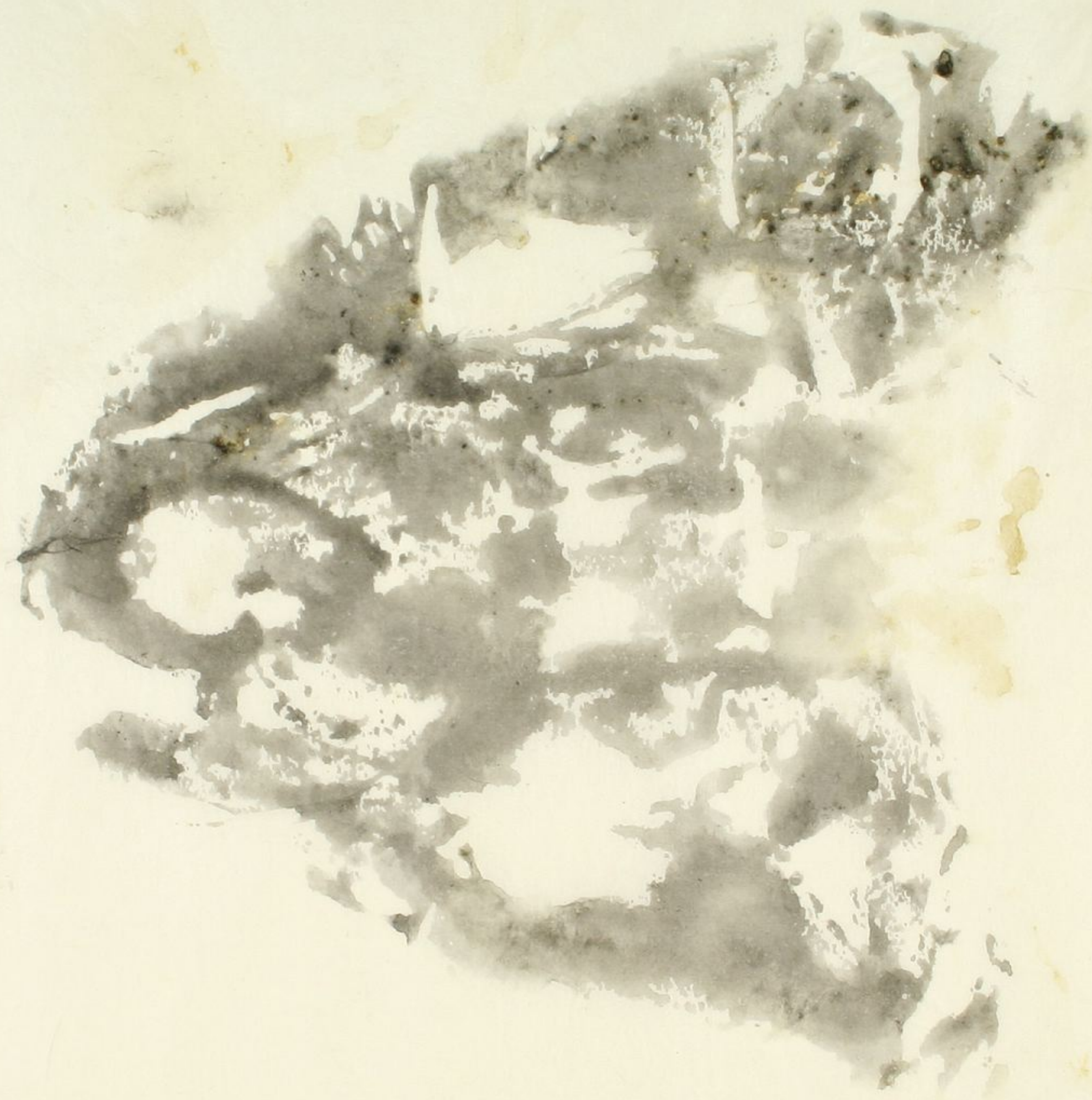
[Faint, illegible text visible on the reverse side of the page, likely bleed-through from the other side of the book.]



鮫^サ
の
首
裏

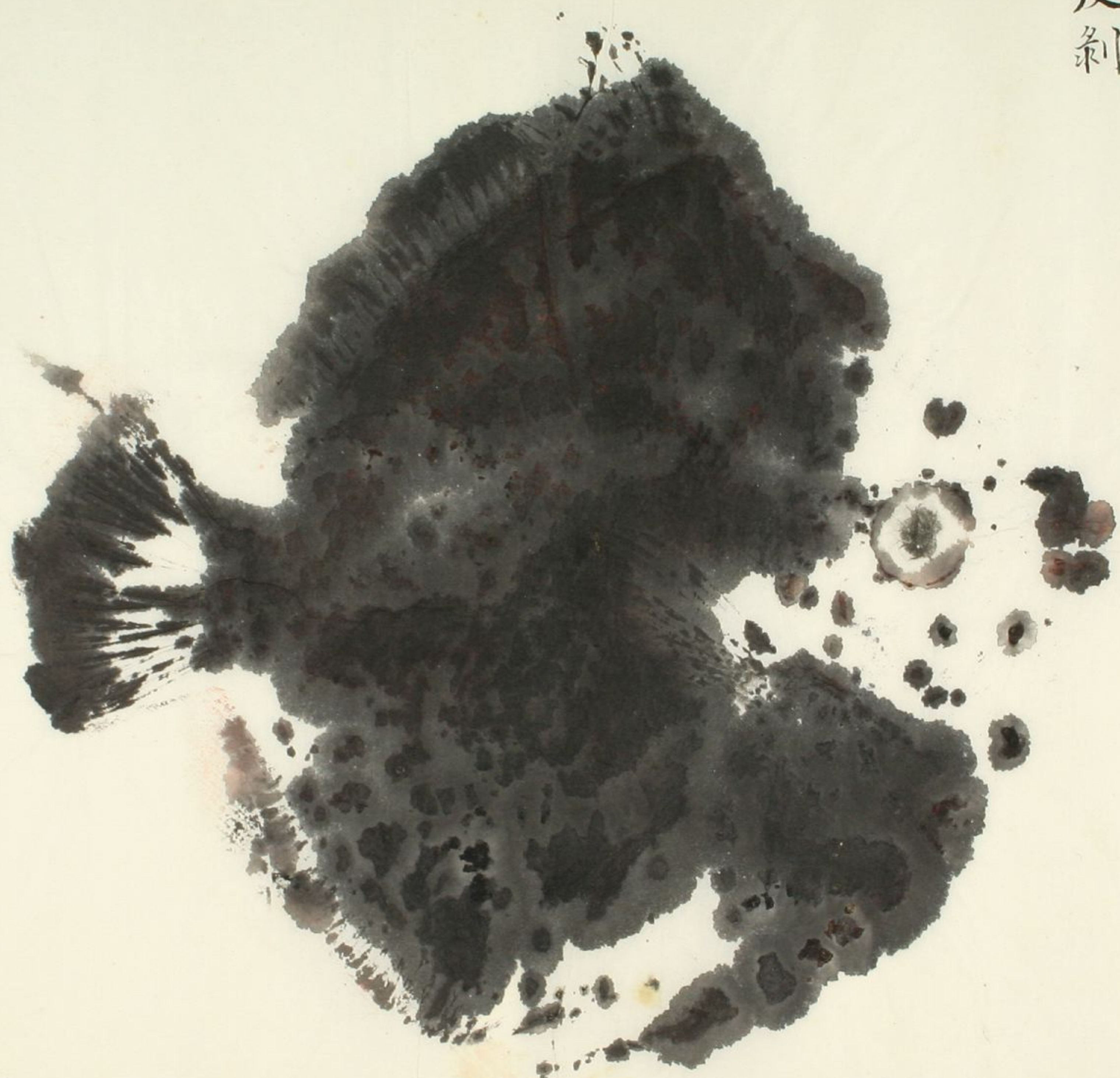
月
三
十
七
日

鮫
の
首
表



鮫
の
首
身

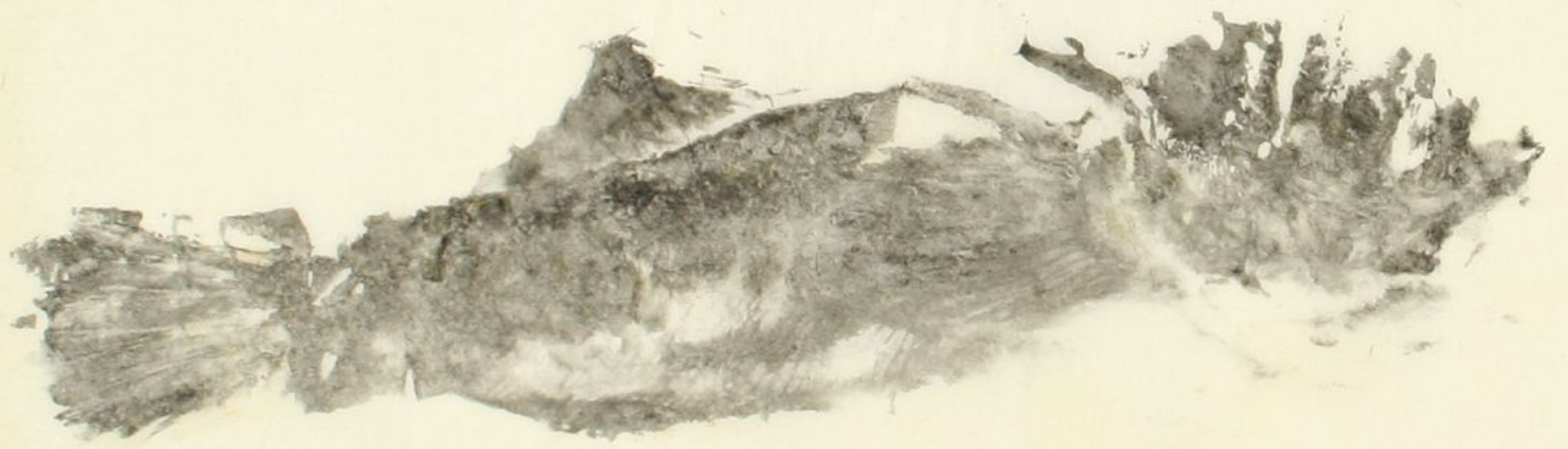
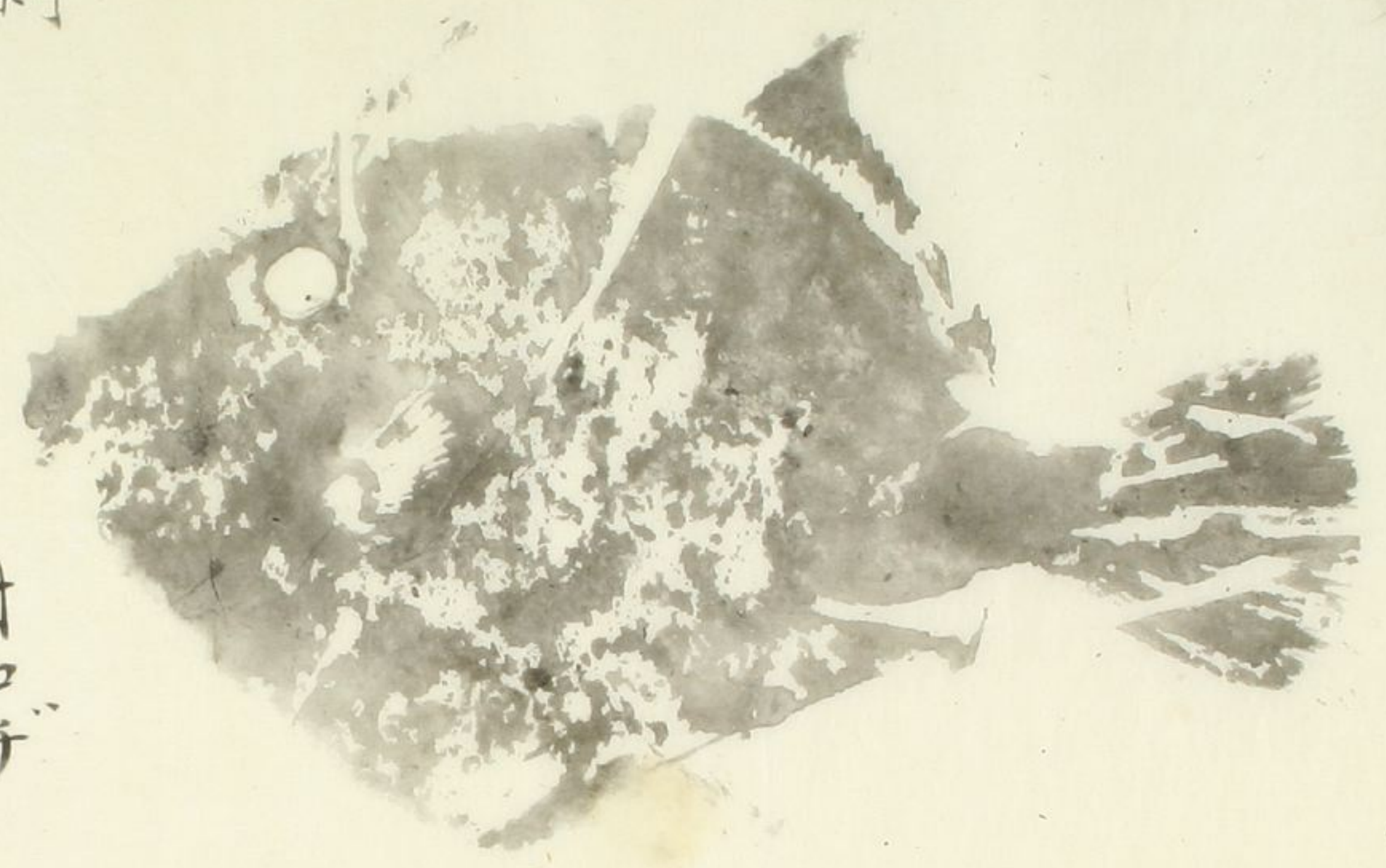
皮剝



鱸の首素

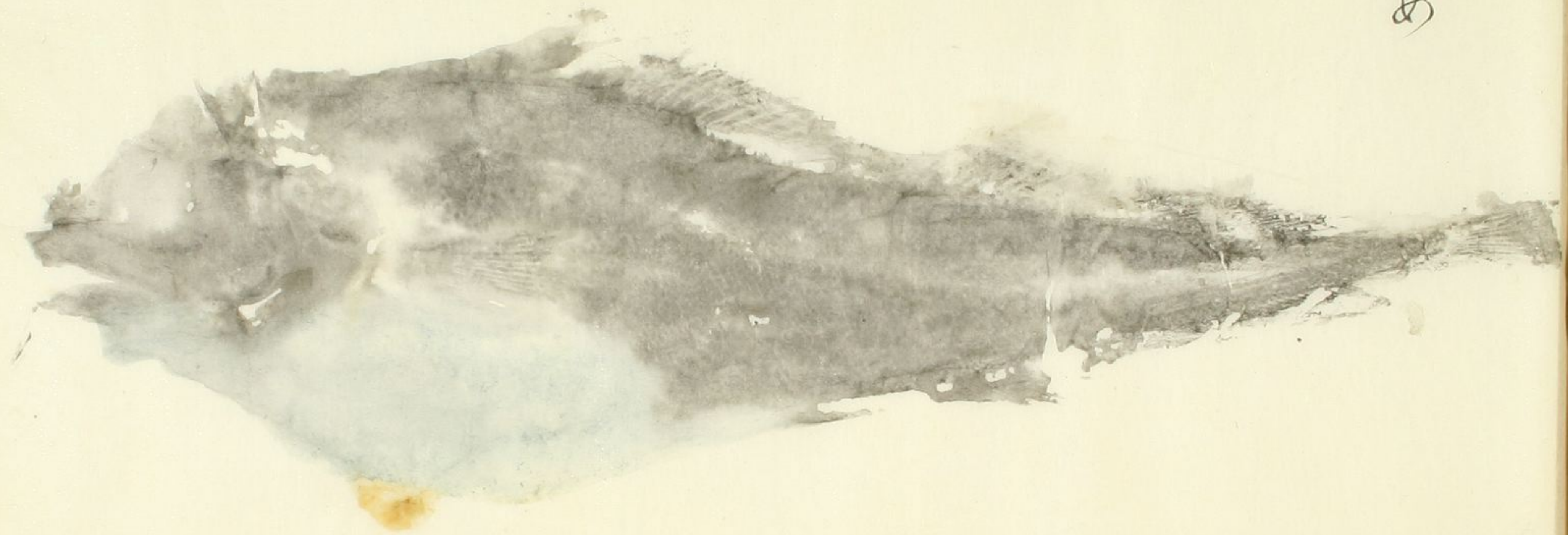
皮剥

オコチ



明治廿七年二月十日印真

久呂宗女





久呂奈女

久呂奈女

未詳



入子魚





未詳

喜壽ニ似たり

未詳

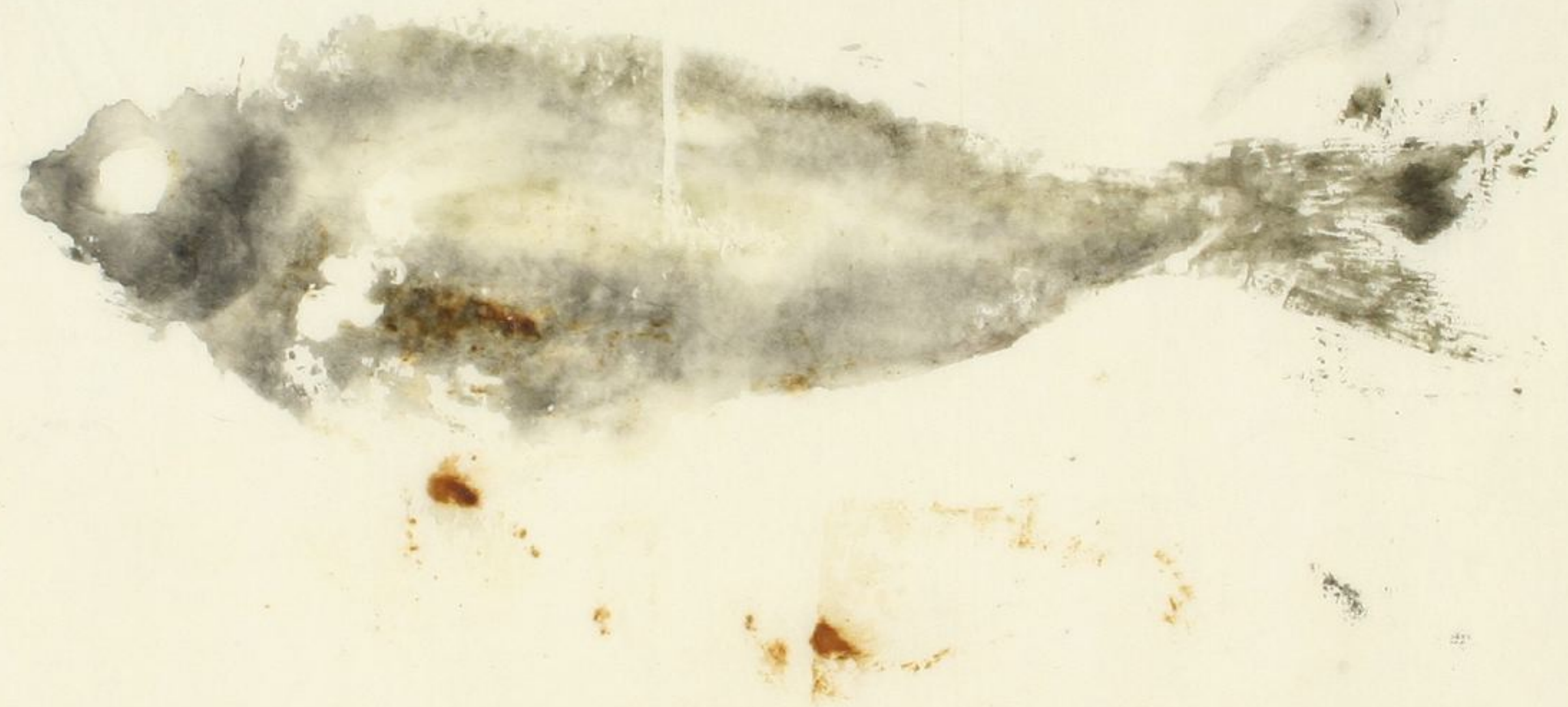


未詳

未詳

未詳
魚類
卷之
三

未詳



未詳

カマス

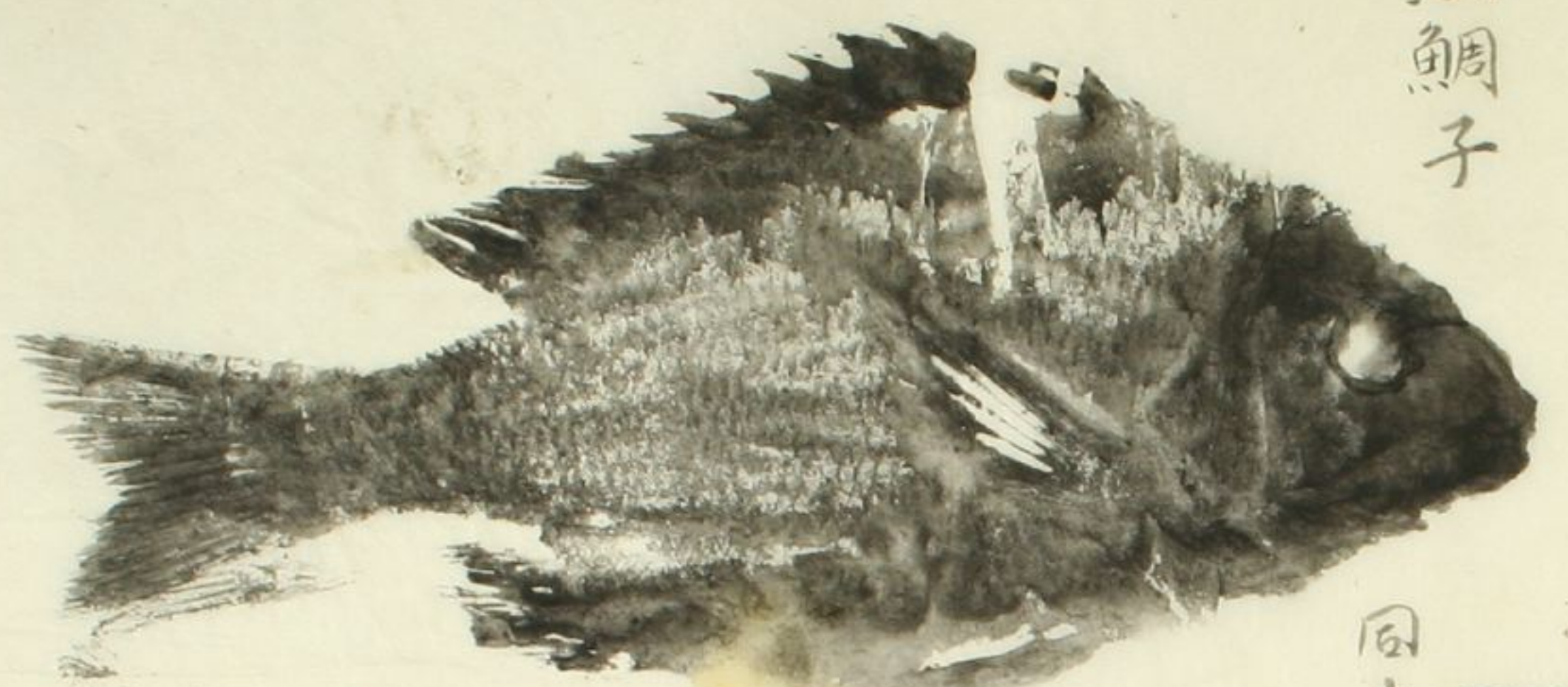


表
巻

明治廿七年十月廿日
大森松海濱釣
魚之澤遠下鱒子

鱒子

アサゴ
穴子



同上



同上

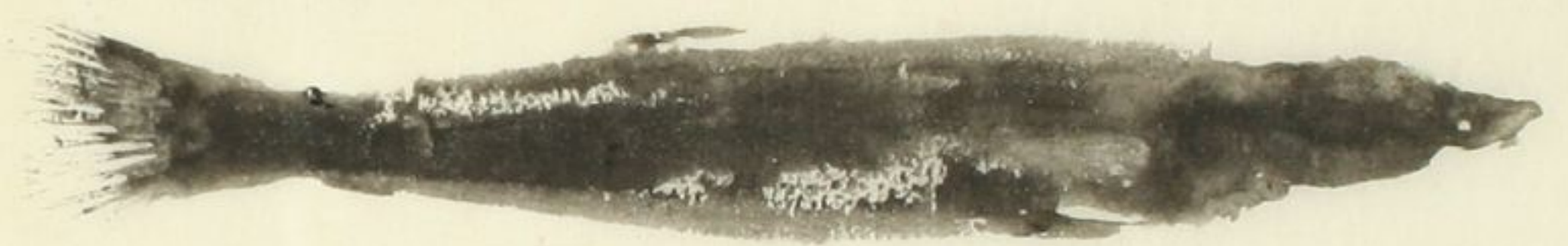


末箱

スキ 鱈



同上



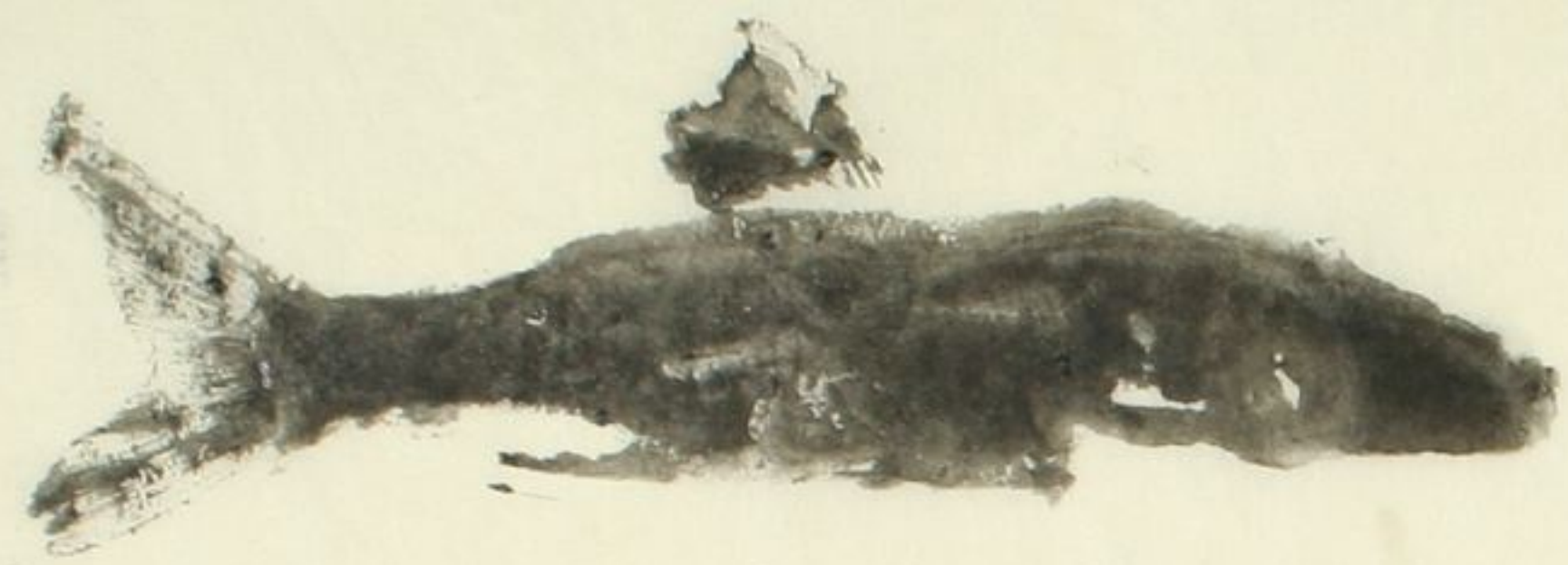
メル 夕

總身

藍色

鱗

細小



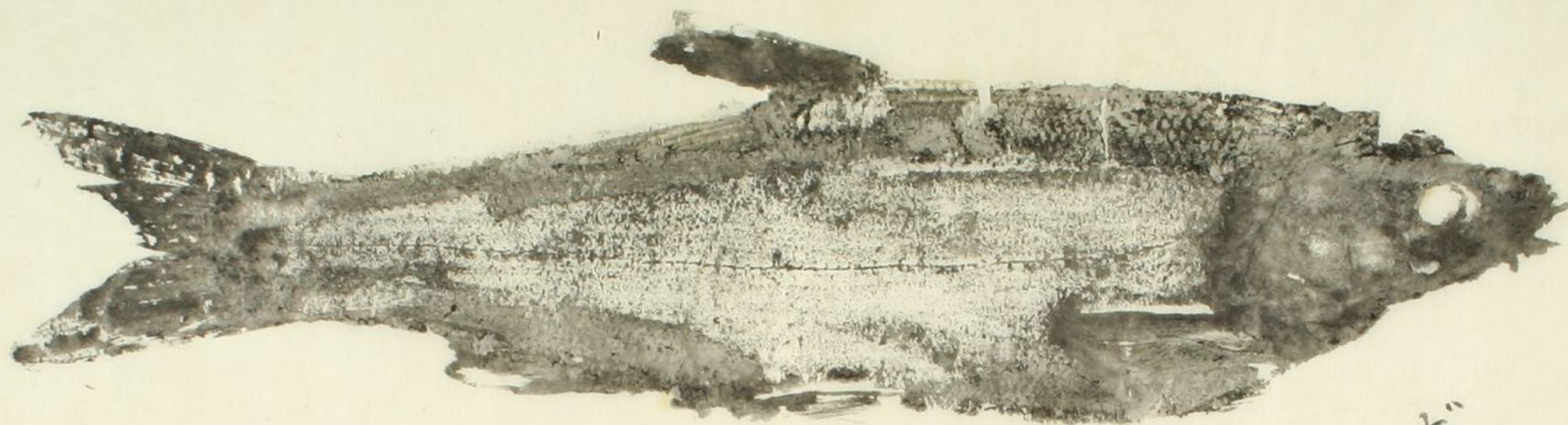
同上



明治三十七年十月二日
秋田季治友人辻武次
及其父某ト舟ヲ品川
洲等ノ漁家ニ雇ヒ
其沿岸海中ニ於テ
砂魚 鮪古 喜須古
ト云撮寫スル所ノ魚
若干尾ヲ釣獲ス

明治三十七年十月二日

マルタ



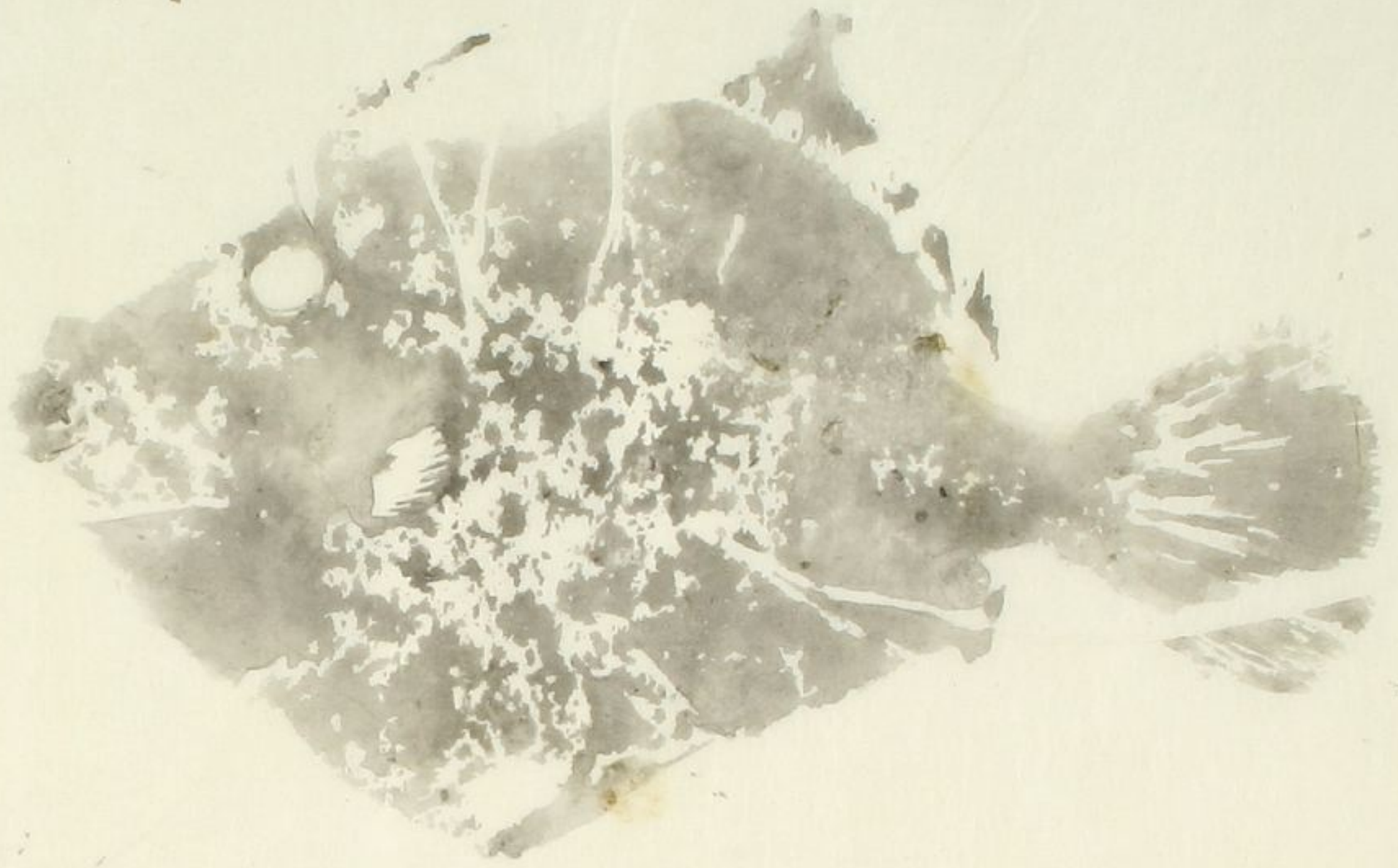
ギンボウ

此アタリヨリ尾ノ迄クニ至ル鱭ニハ悉トク刺アリ即チ護身ノ用具ニシテ天然ノ恵也ト云フバシ況ンヤ人ニ於テ自衛ノ道ヲ知ラサルハ魚族ニモ君カズ



皮剥

三島
オコチ



明治三十七年二月廿二日



三月十九日
初四日
真

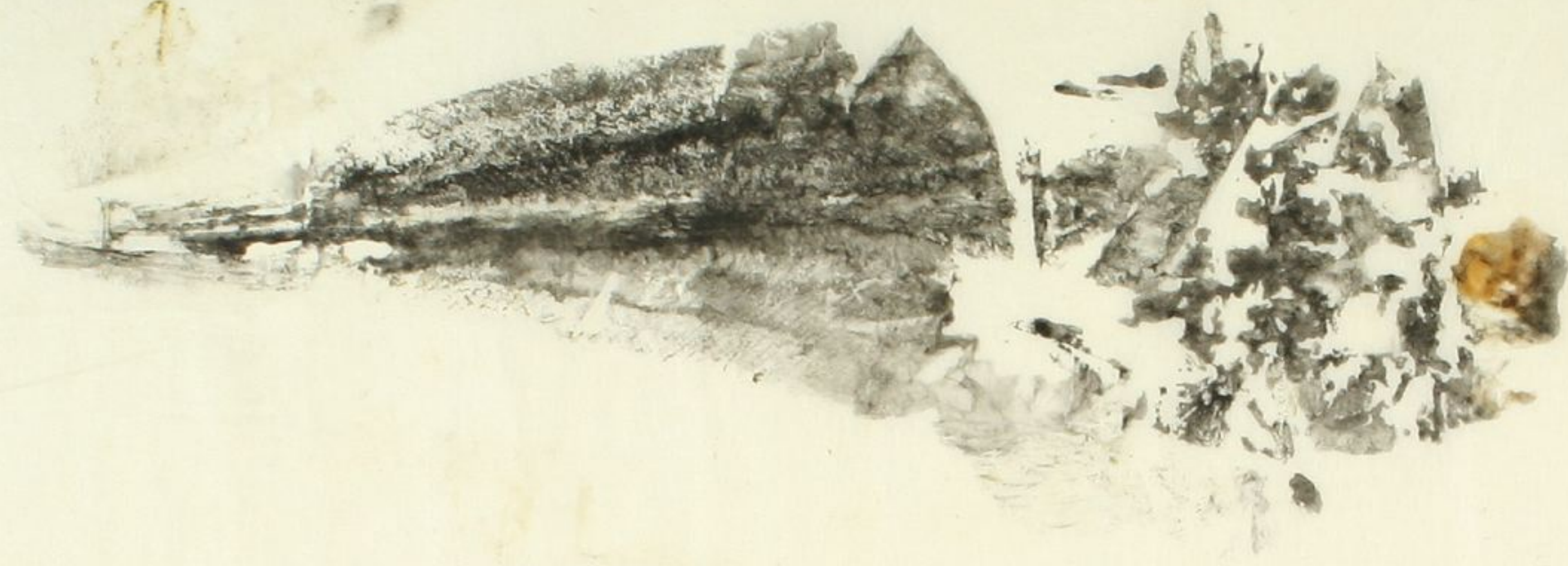
鱈

尾
尺
寸
七
右



魚
高
甲
河
尾
實
價
五
仙
捌
五

三島
オコデ
正背

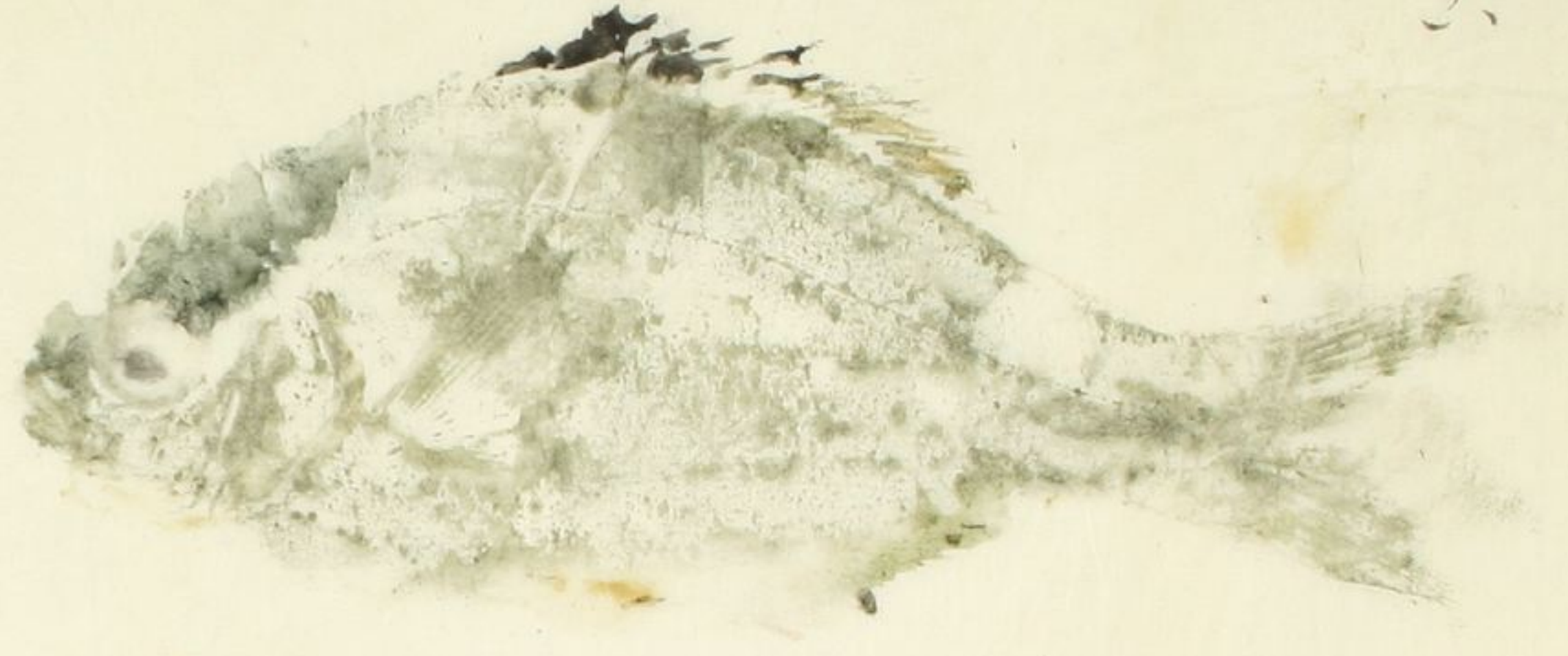


目張



明治三十七年十一月十日印真

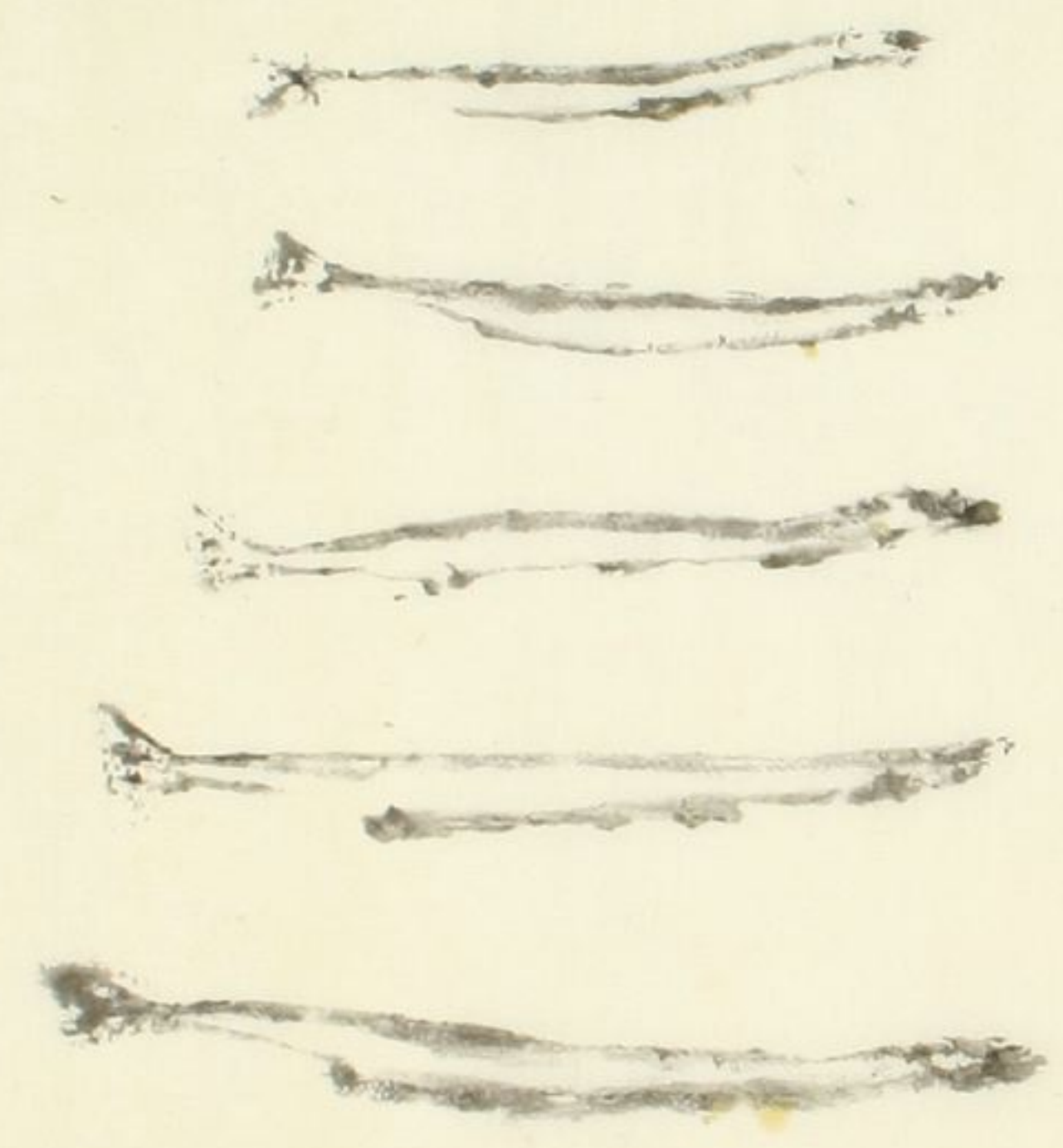
たなご



かきご



志
ま
ら
せ



俵
たのの波
奥
気
有
る
魚



たのの波

奥
気
有
る
魚



武津





阿名吳あふご 未字未字

按阿奈古狀似海鰻而色淺於海鰻不潤後項至尾有小白點如星
者兩邊相連各百有餘其味甘平脂少不美漁人灸之偽鰻

毛小與

鱗色淡紫阿良魚

似タリ味脂肪アリ
肉白色



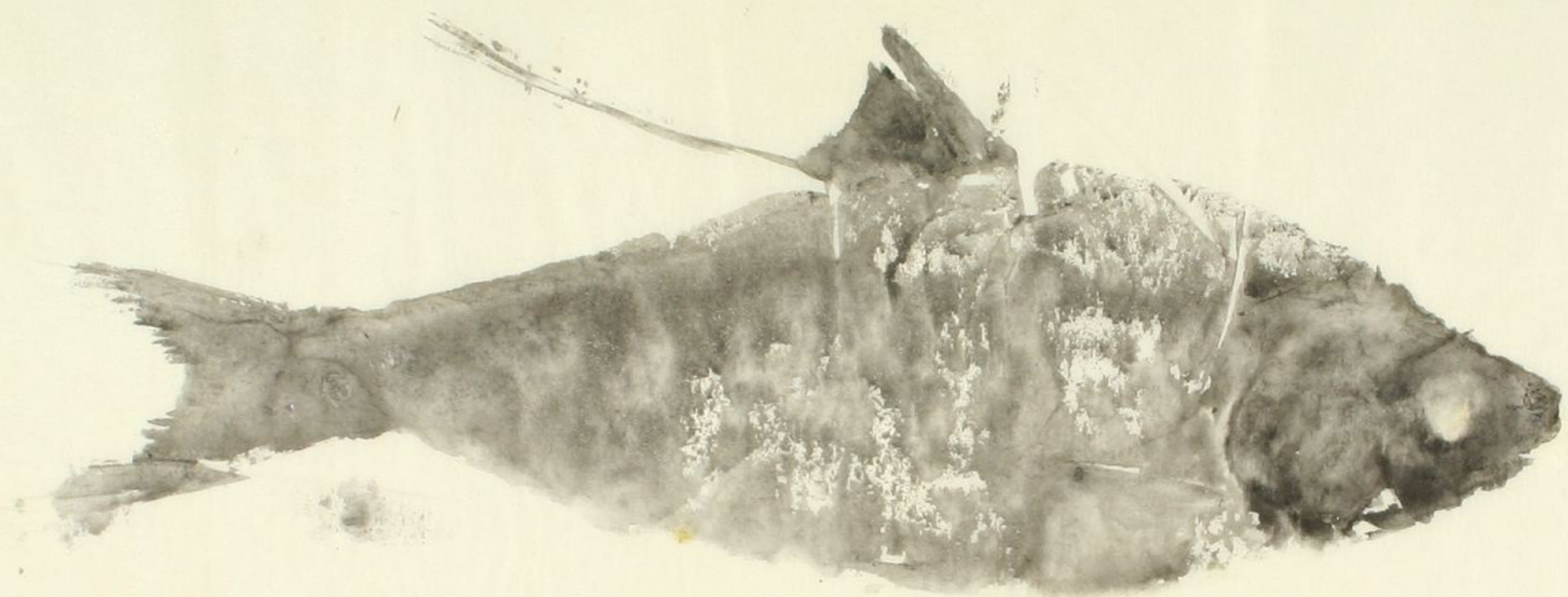
明治三十九年
十月末自購
價漆泉
魚高甲州屋

阿良魚

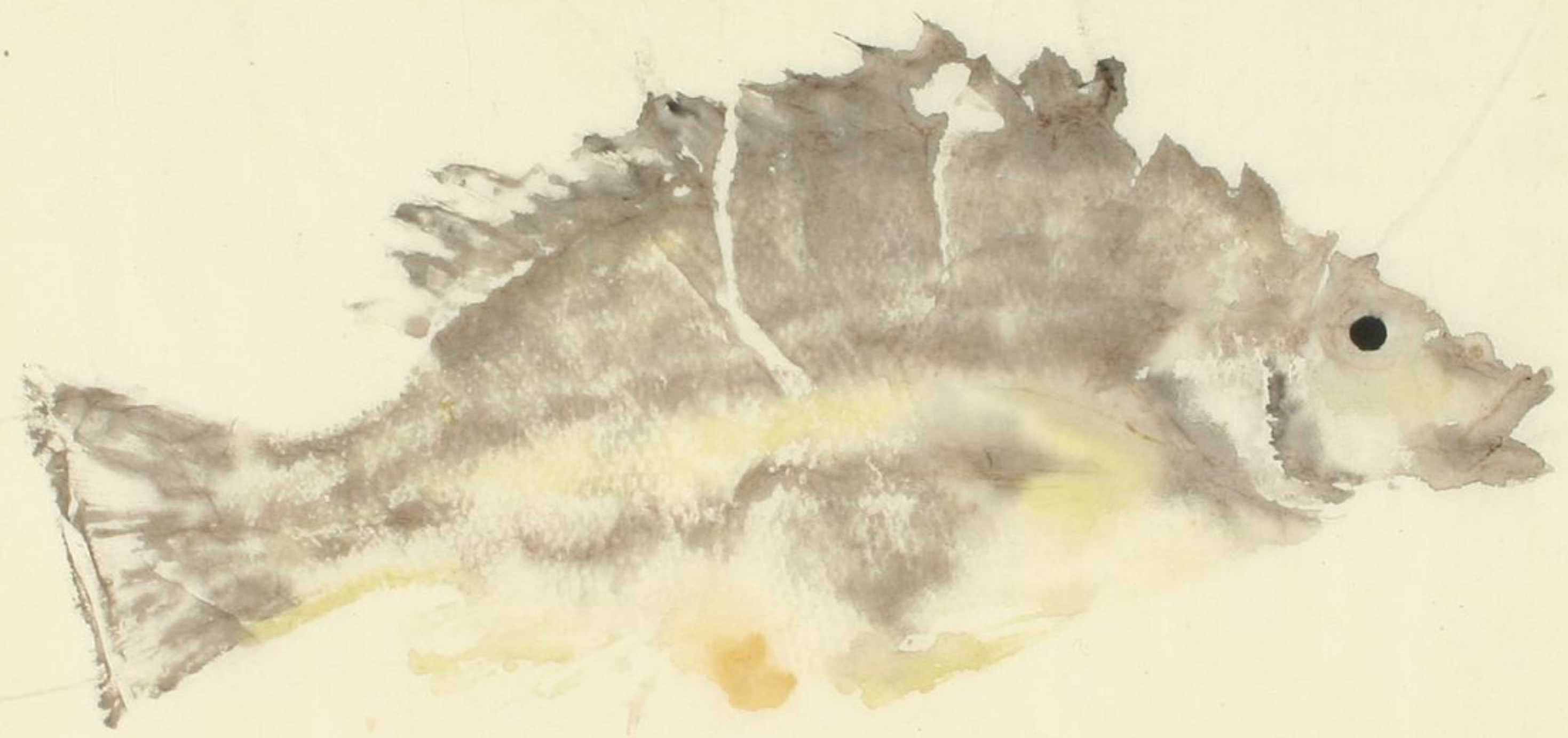
昔西の海軍及百有箱其古平胡也
其阿奈古水以海難の多海計無難
不海其買主其百六白其以里
名美魚人老之海難

明治三十六年二月音印真

ヨシロ
此城



Handwritten notes in Japanese on the adjacent page, including the characters '子' (child) and '子' (child), and other illegible text.



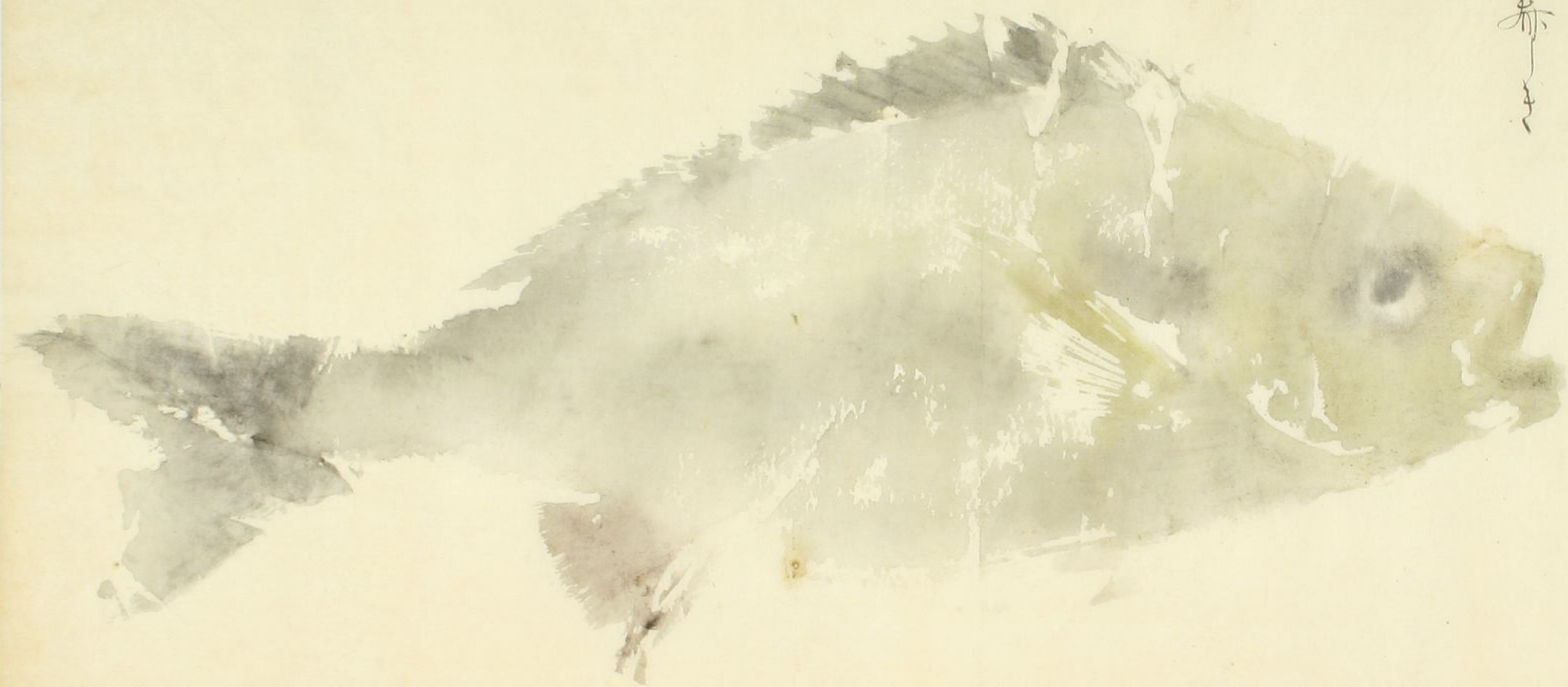
徳川幕府

明治三十八年九月三日所購價四泉東京湾東海多獲云
又漁獲後有生氣則夜中發聲鳴云 老魚商直話

鯖



又瀬川有并流過舟一棹舞亂以 其魚極細如
國治三十八年九月廿三日 岸野 龍 氏 於 京都 府 京 都 府 京 都 府 京 都 府
卷之三十一



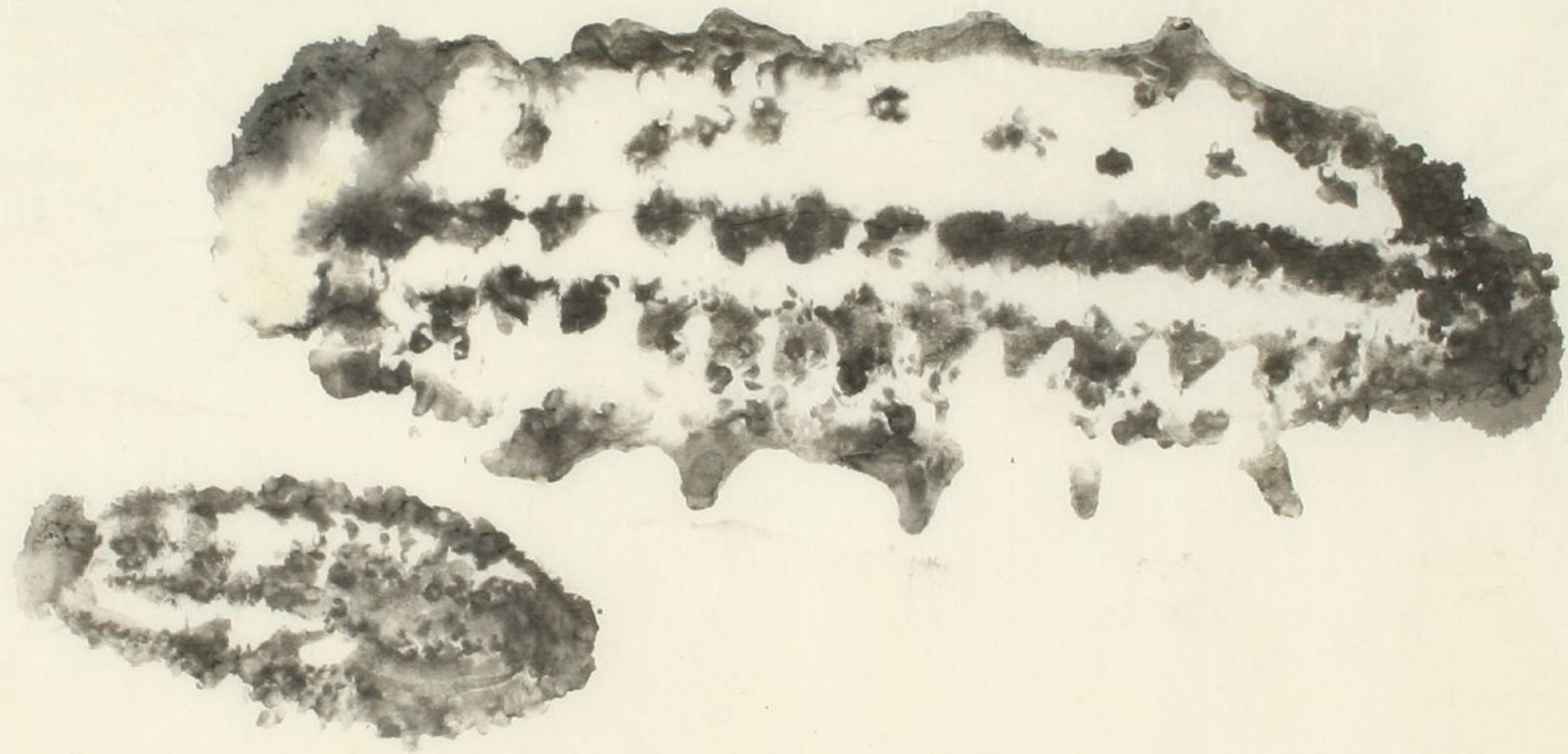
波魚
黄白之魚
魚之

伊佐木



伊佐木

海
鼠



海
鼠



明治廿九年

四月初三日

余家生誕

日兼

自轉車

來用六圓

午紀念祭日

即魚為

紀念

即

魚名

名與志

嘉名首

上卷仙傳

下卷仙漆

上娛孟

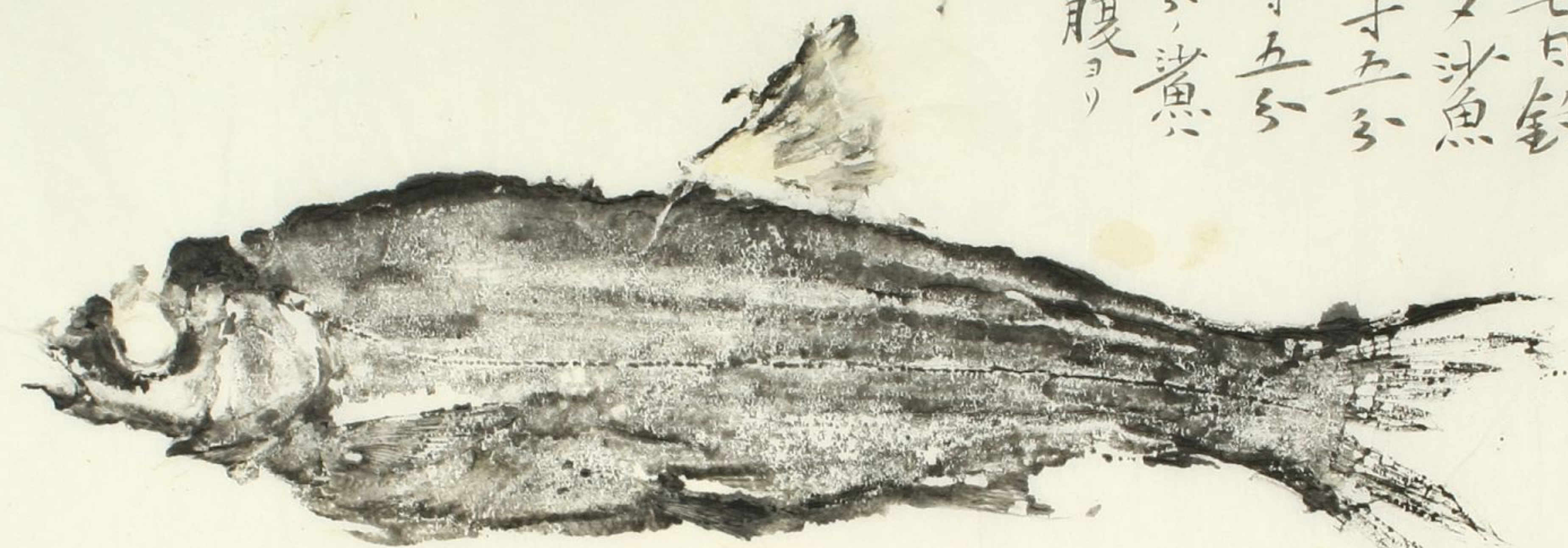


第一
未留太

第二
波世

第三
波世腹中波世

明治三十九年
十月十七日釣
所マ儿夕沙魚
首尾八十五分
六寸一寸五分
此一寸五分、鯿
他、鯿腹ヨリ
出ル所



十月十五日
明治三十九年

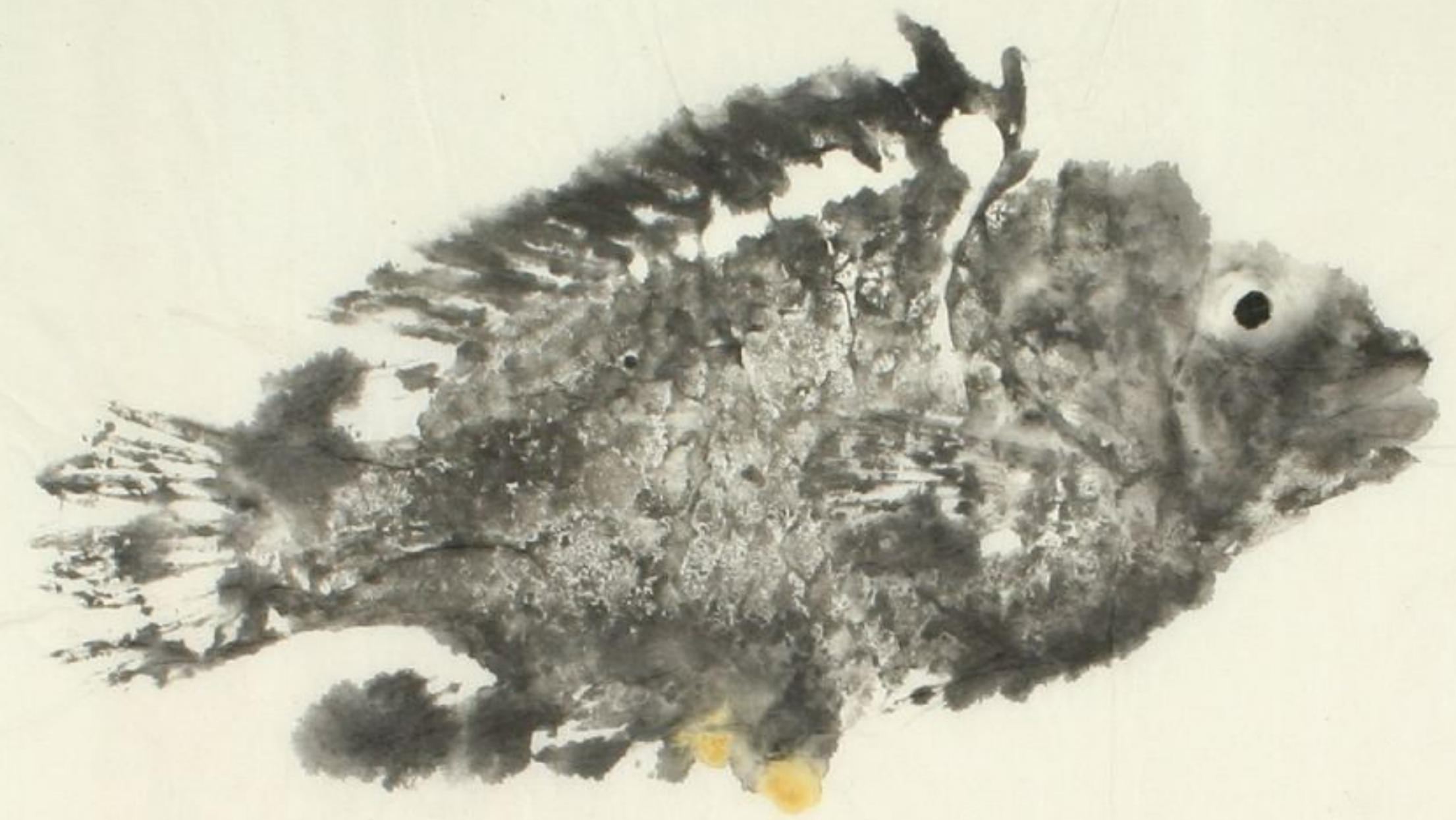
第一 未留大

第二 女世

第三 女世郎中女世

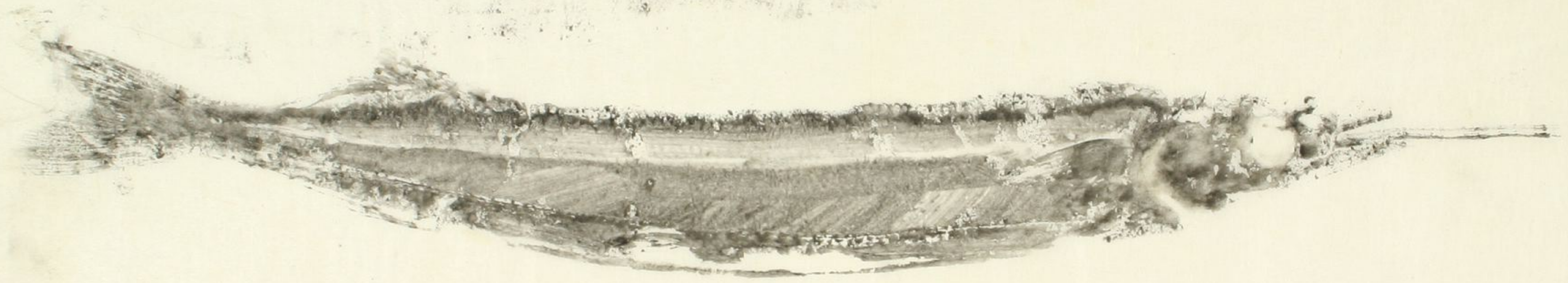
明治三十九年八月下旬寸石山人自撮

此魚形色共ブ鱈ト相似テ
横鰭下部より腹部ノ中
央ニ在リ四條紺青色ノ
星点凡一五厘許リノ
間駢ニテ多キハ長サ三テ
十一ニ点アリ其麗繪モ
如カズ 気味甘平毒ナシ



此魚体身淡至淡紫ノ
條斑三條アリ口牙作
比スルハ大ニ尖リテ細葉鋸
齒如ク又舌端ニ刺五六本
アリ肉ニ向生ズ 顔面ト体身
ト考察スルニ殆ト沙魚ト
鱈トシ混交シタルガト魚ト
気味甘温少辛 脂肪アリ





鱈カサガシ
針イナ

銅吮魚 姜公魚 針口魚
一云與呂豆 俗云 佐與利

和名 波利子

天保九年六月廿八日自啓

本館藏書

大正元年

ガツラ
魚



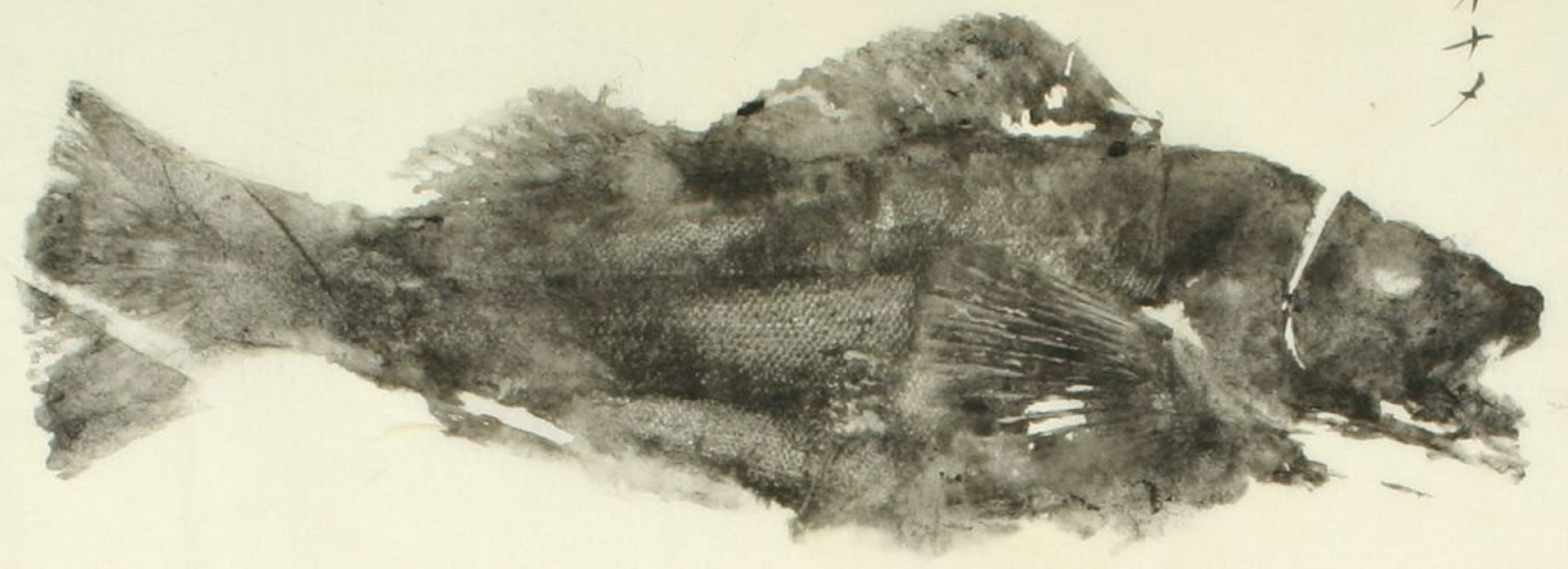
ガツラ
魚
美公魚
佳口魚
味美永味平



子ガッラ
筋魚
尾

魚
魚

ア
イ
ナ
メ



同
上



明治三十七年十月十六日大森八幡海濱に於て釣
此日輕陰西風微波起

阿海素女



阿海素女

此大ナルニ
鱈ノ身長
數尺ニ及ラズ

小鱈
吳世伊

鱈
又鱈



鱈
又鱈

魚條
セ
イ
ゴ
世
伊
子

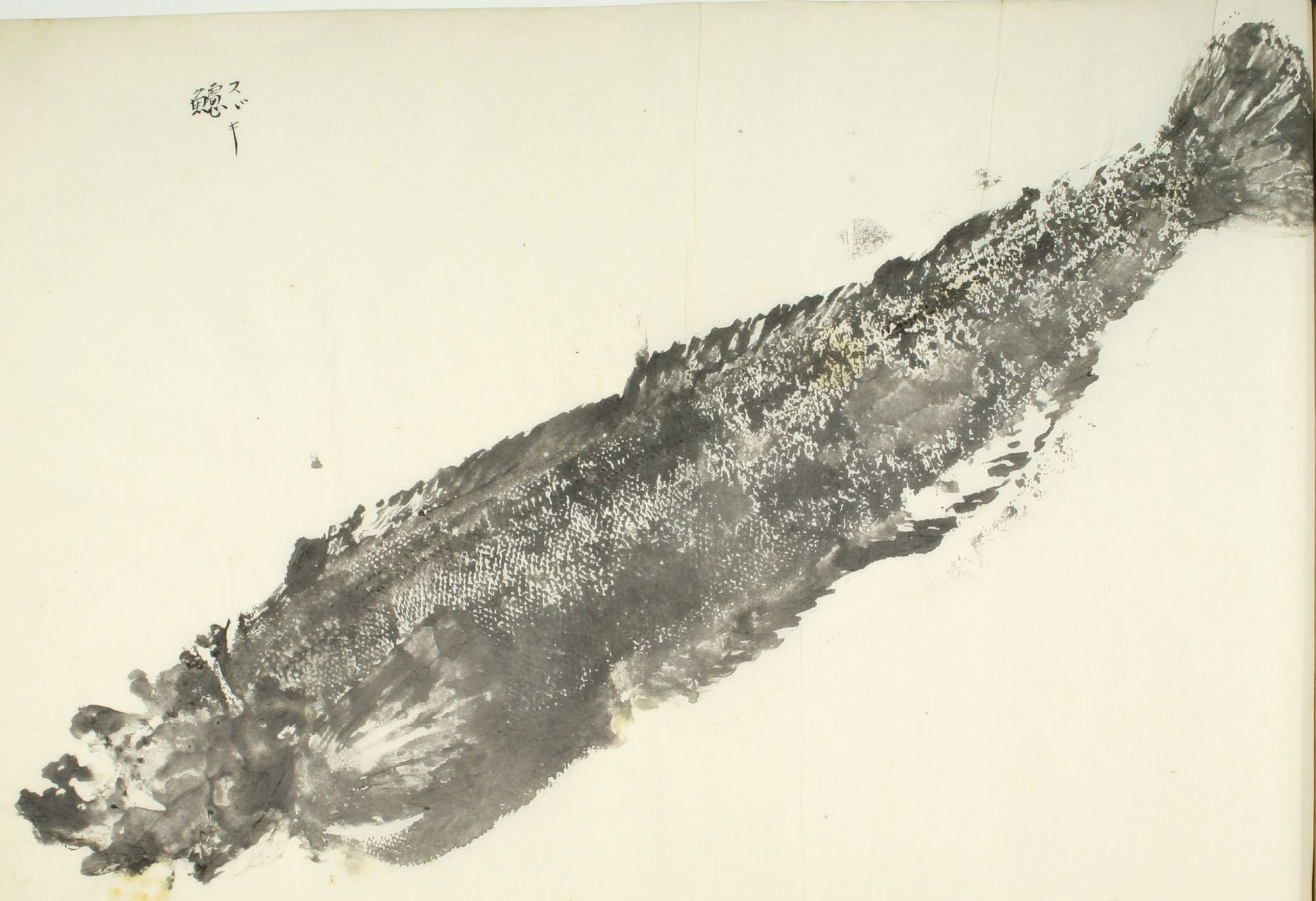


魚條
セ
イ
ゴ
世
伊
子

魚條
セ
イ
ゴ
世
伊
子

魚條
セ
イ
ゴ
世
伊
子

ス
ヒ
キ
鱈



子の鱗



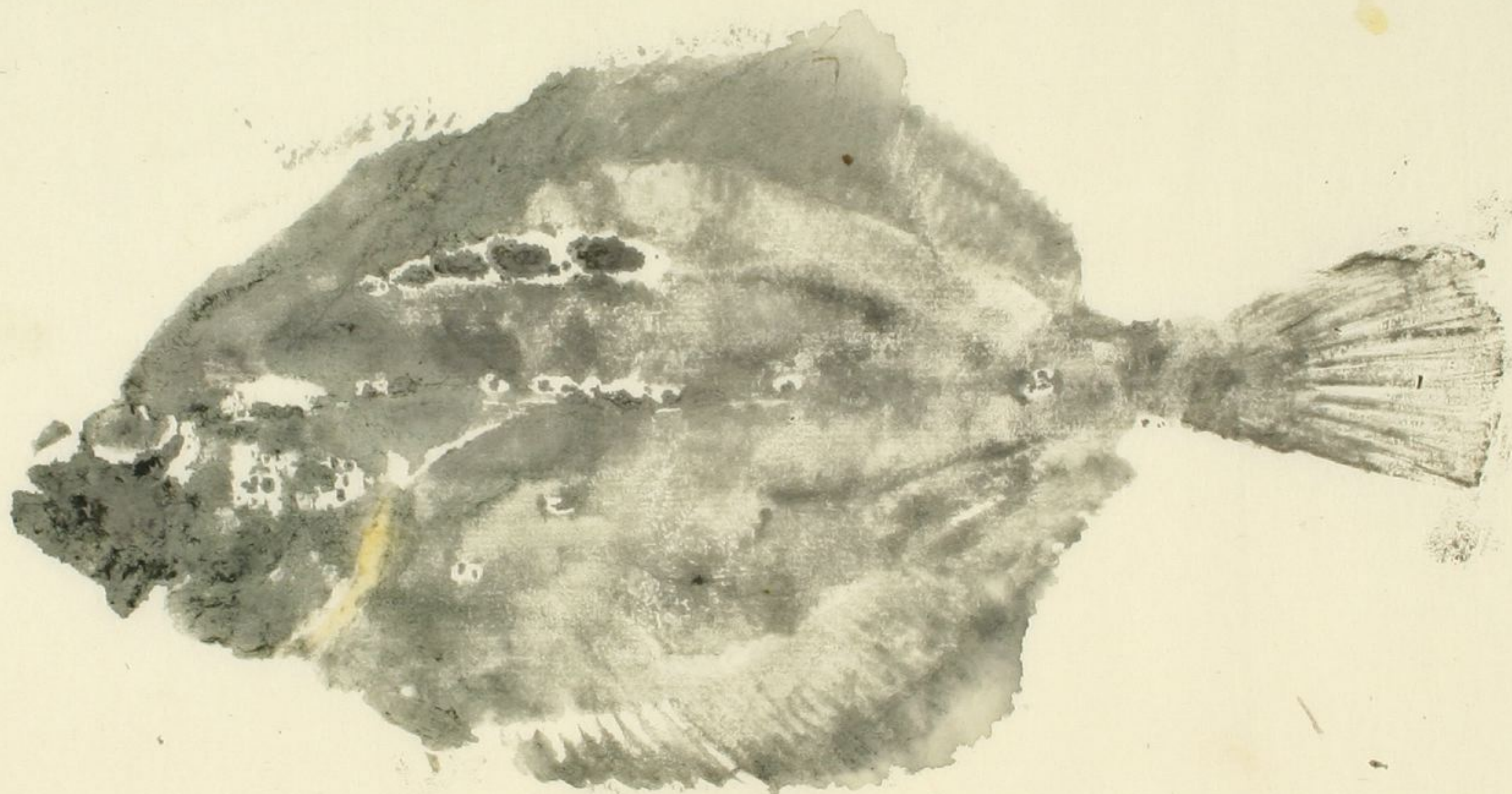
武士鯨





イモカシ
石鱗

石鰈



鰈



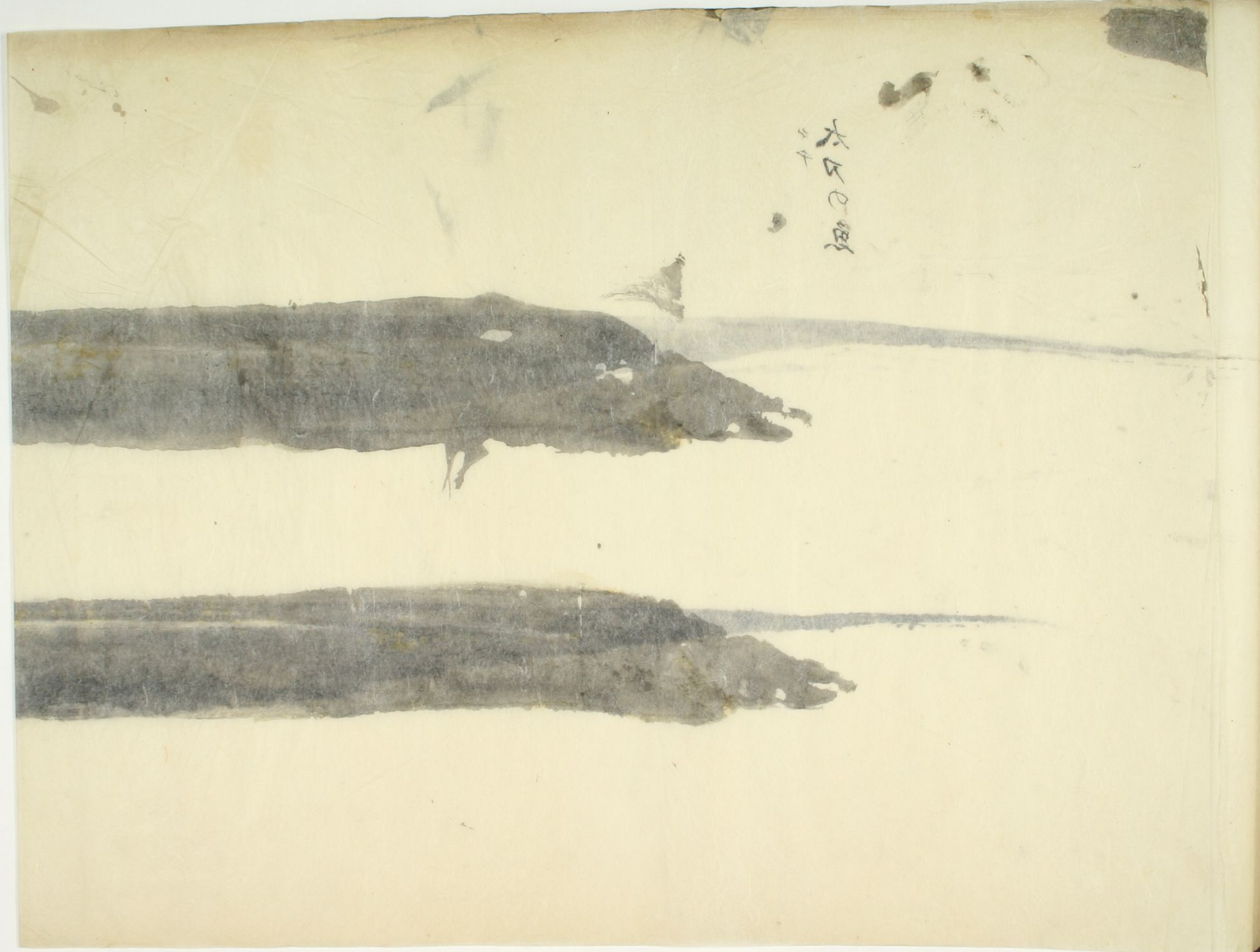
魚類



嘉礼
腹

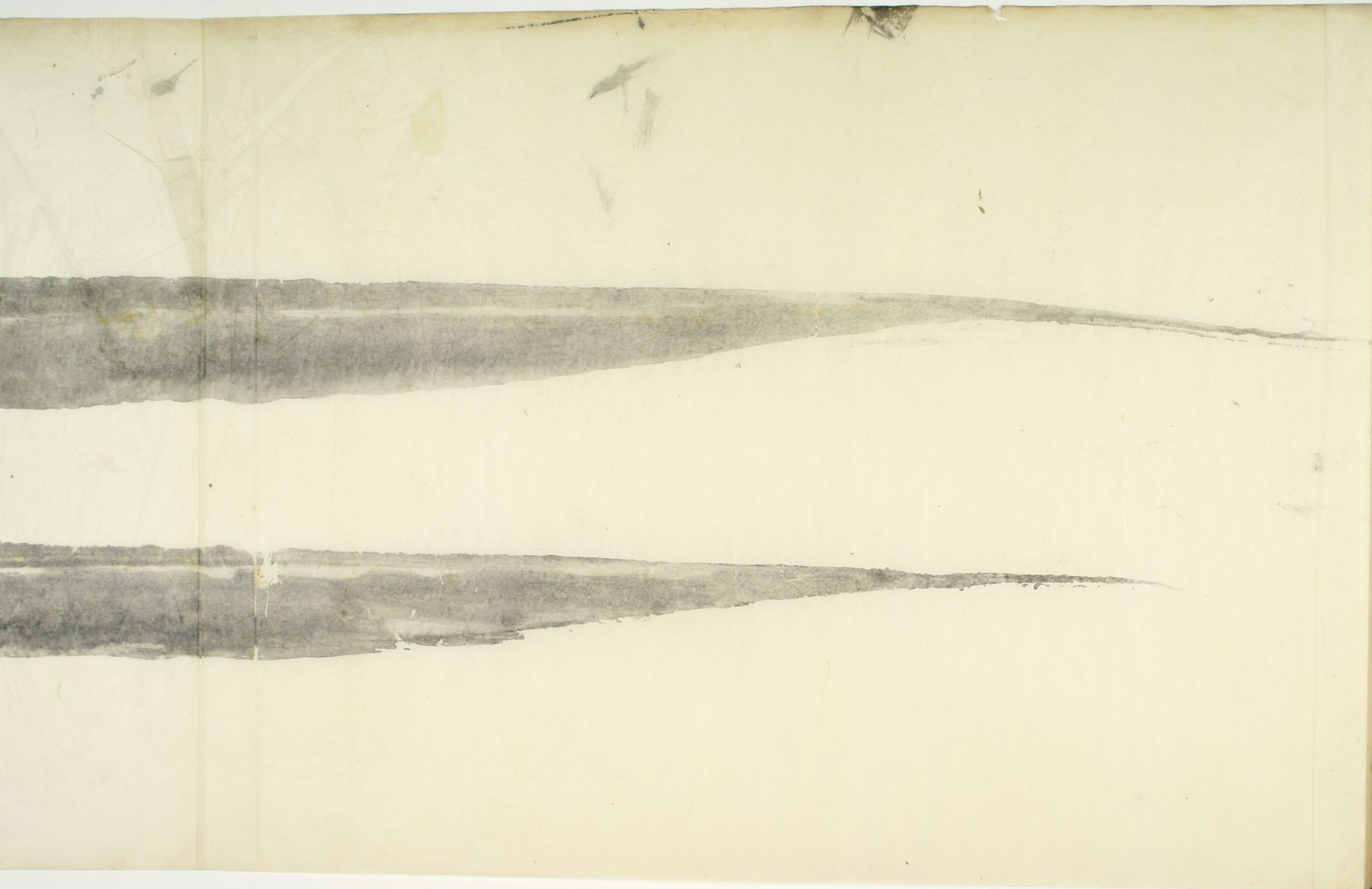
明治三十九年
十月三日
天長節
紀念
魚





大
口
の
邊

大
口
の
邊



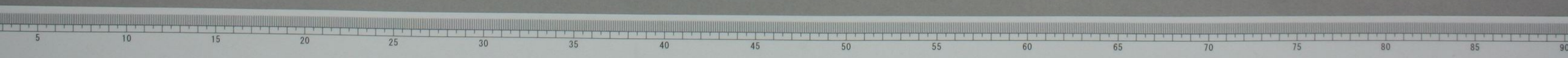
卷之二

國朝

太刀の魚

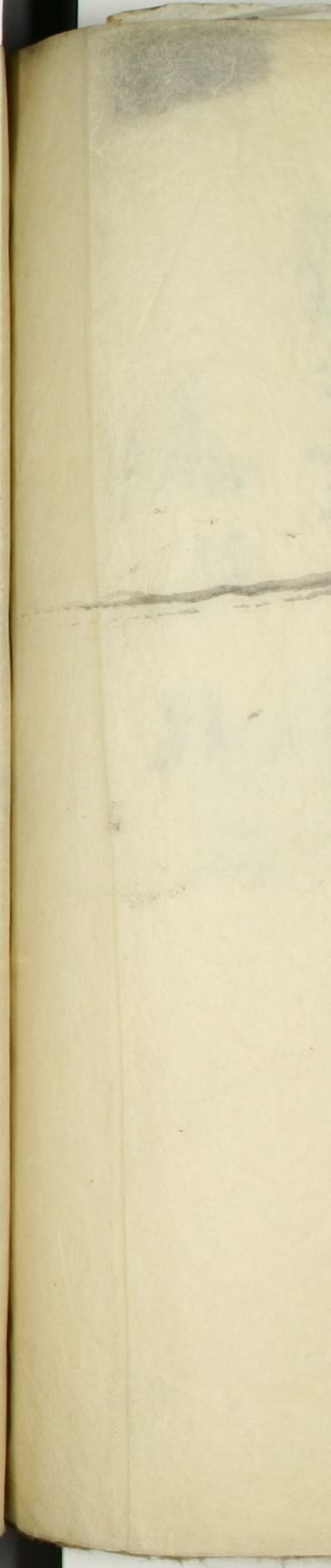
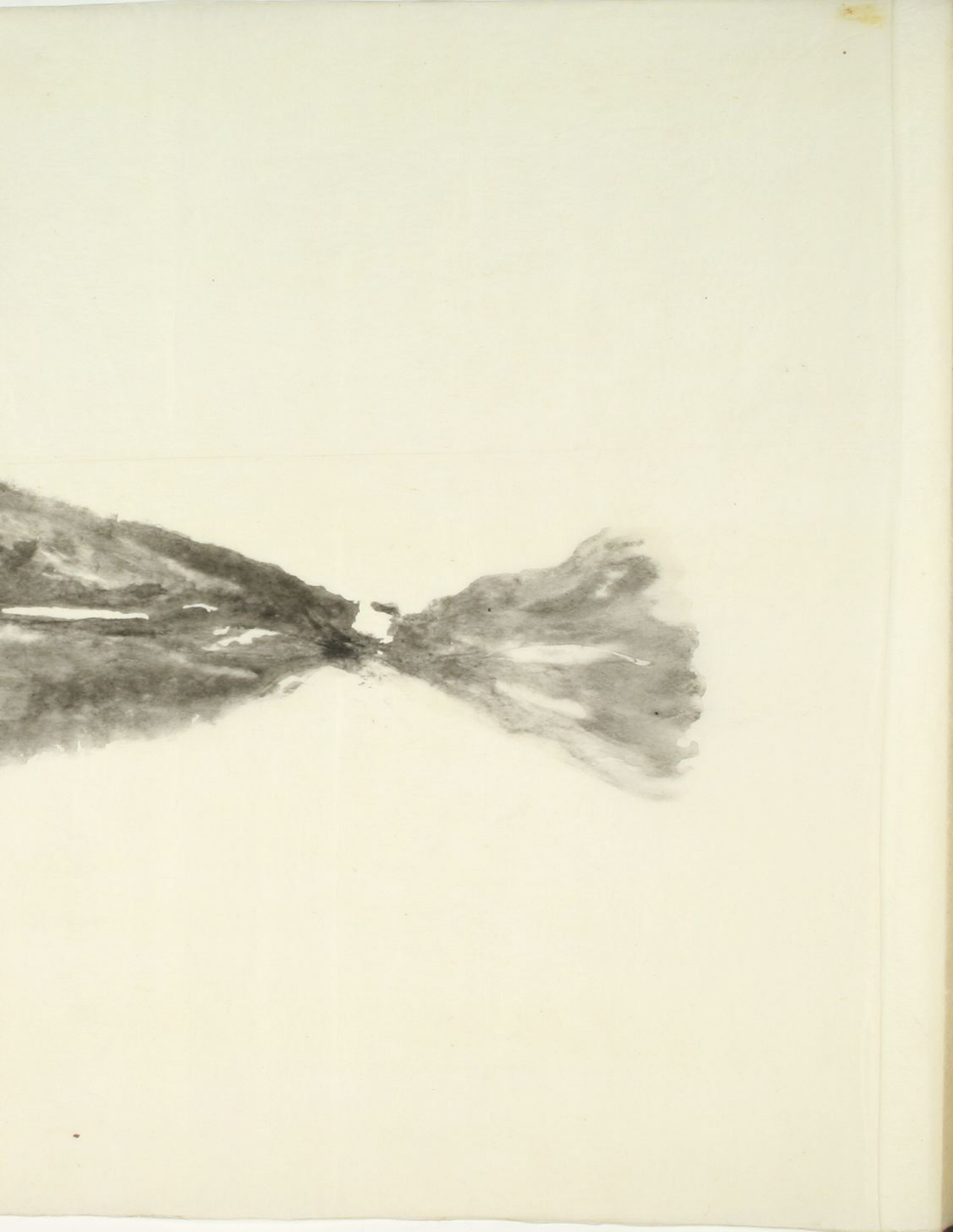


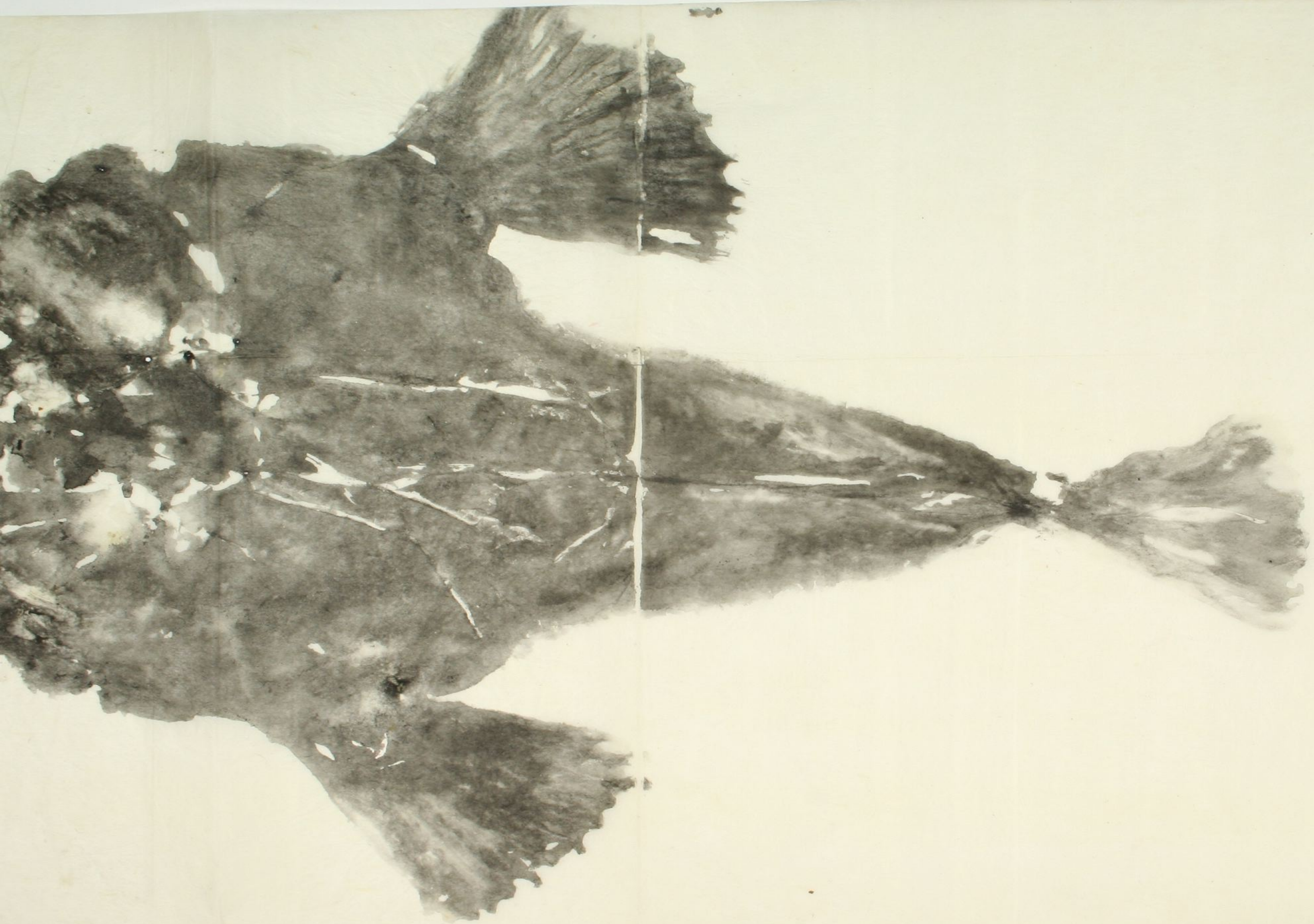
天保
三年
正月
嘉永
朝



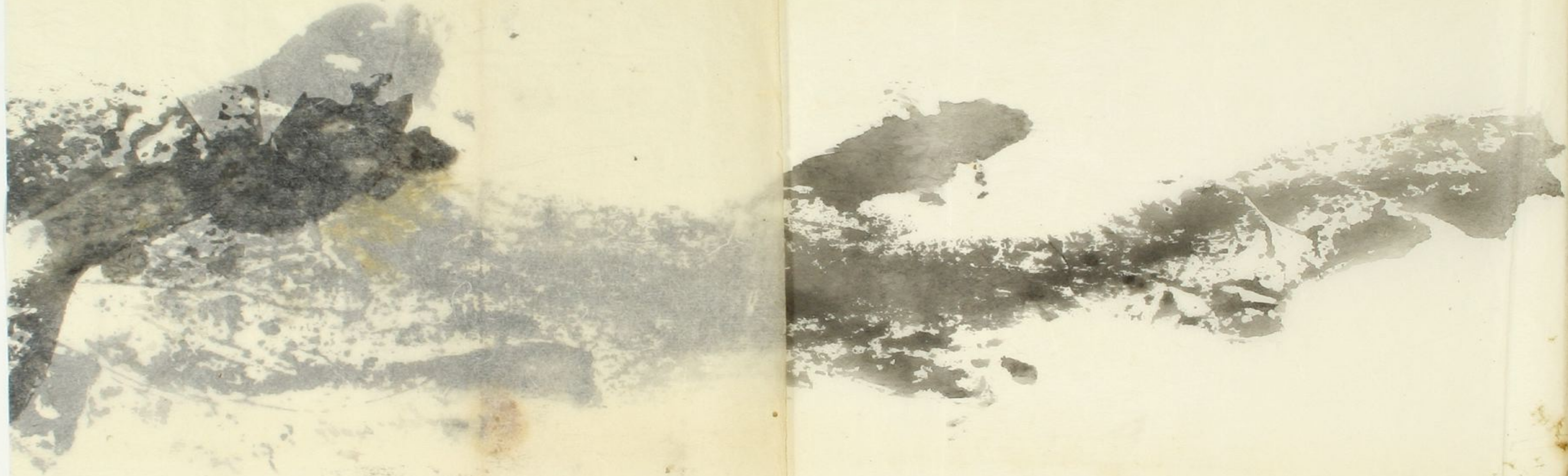


海
東
山

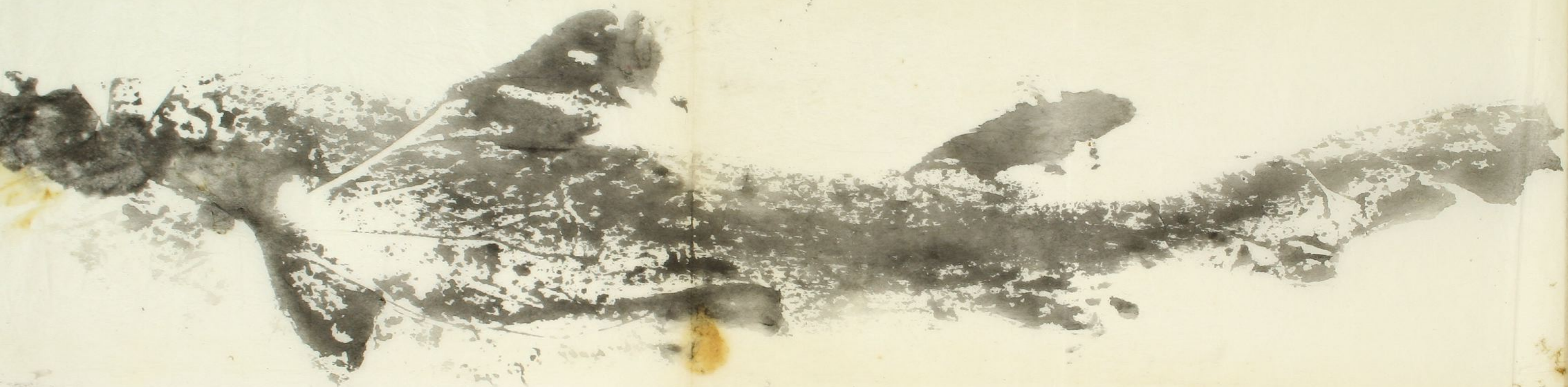




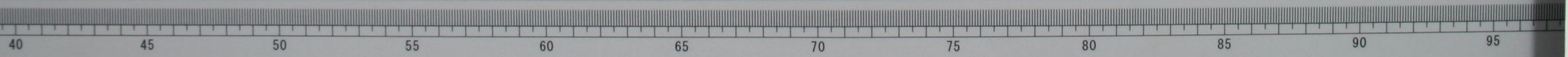
林
類



棒
鮫

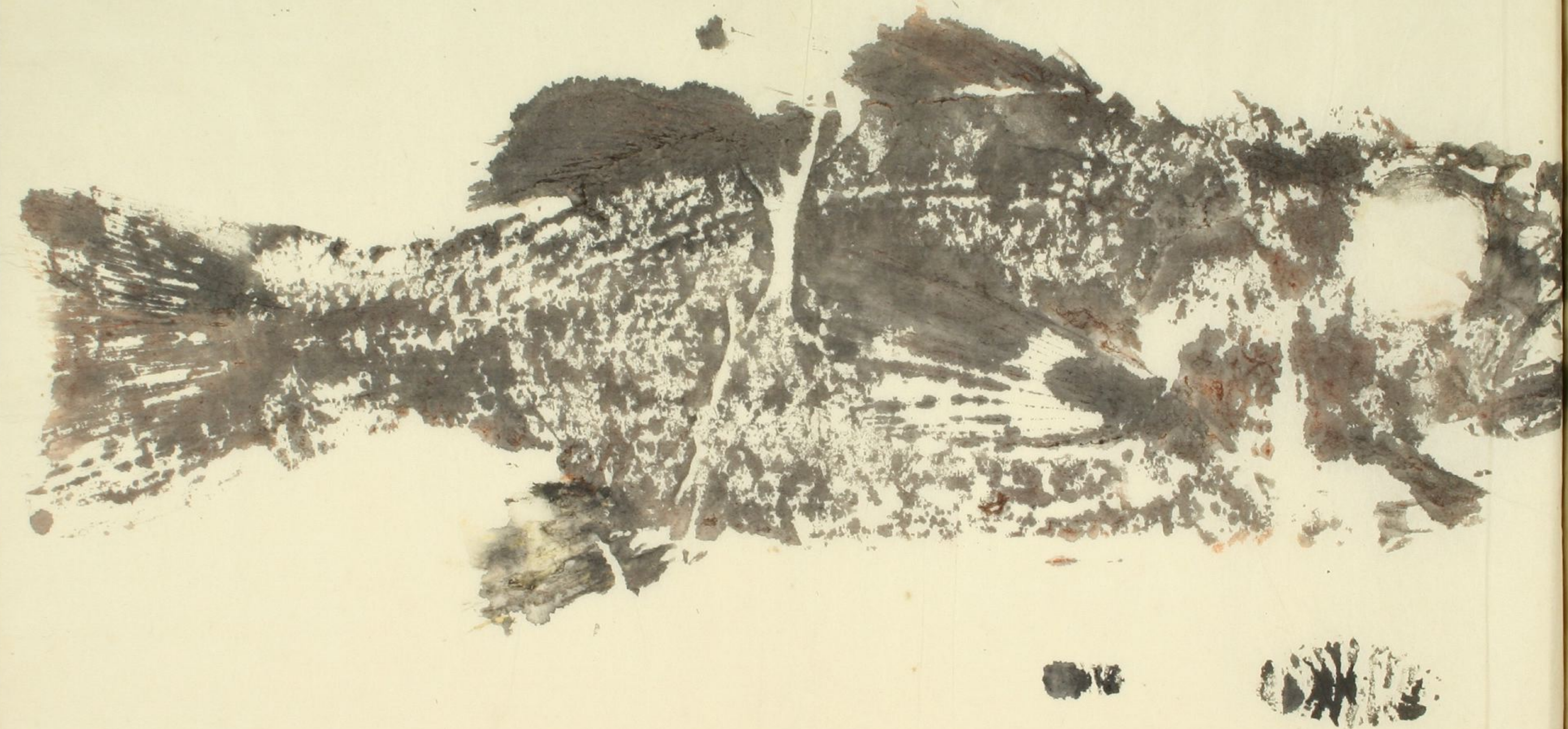


棒鮫





アカ
カ
ソ
赤
魚



ハタ 魚高ハ之ヲ
雉ハタト曰フ

全身紅を鱗

ニシテ黒點多ク數

アリ甘味濃キル下

鯛其地ノ紅を魚ト

大ニ目ニシテ一

ノ美魚ナリ

余少年ノ頃ヨリ

魚ヲ好ム病アリ

長ズルナシテ益

甚クニ老ニ至リ

膏物ヲ刷テ試

ミニニ大ニ病ヲ治

ヨク病スヨリ遠

テ魚ヲ食フ事ニ

ニ及ルル也



伊奈右

